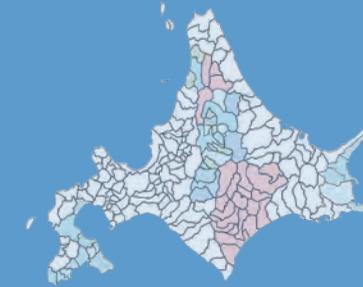




# 北海道の市と町と村を ご紹介

歴史・観光・食の情報



## 北方領土返還運動

を行っています

国土地理院電子地図より

くなしり 国後島  
しこたん 色丹島  
はぼまい 歯舞諸島  
えとろふ 択捉島

バッジ頒布について  
-1週間程度で発送します-

北方領土返還運動推進バッジ

- 「ブラウリボン」バッジ
- 「千島桜」バッジ

早期実現北海道新幹線バッジ

新幹線早期実現

### バッジお申込方法 (QRコードを読みとるかクリック)

バッジ1組1,000円(1種類ごと4個一組)  
1組ごとに、バッジの種類を明記のうえ、「1,000円分の切手」と「返信先を記入した120円切手を貼った返信封筒」を同封の上、下記住所へ郵送して下さい。(1組毎に返信用封筒が必要です。)

### 北海道倶楽部とは

北海道倶楽部は、昭和2年に新渡戸稲造博士等によって東京に設立された公益社団法人です。  
北海道の健全な発展に寄与することを目的とし、北海道等のための広報活動、地域活性化事業の支援、北方領土返還運動、ふるさと納税等寄附の推進運動、北海道新幹線早期実現運動などの事業を行っています。



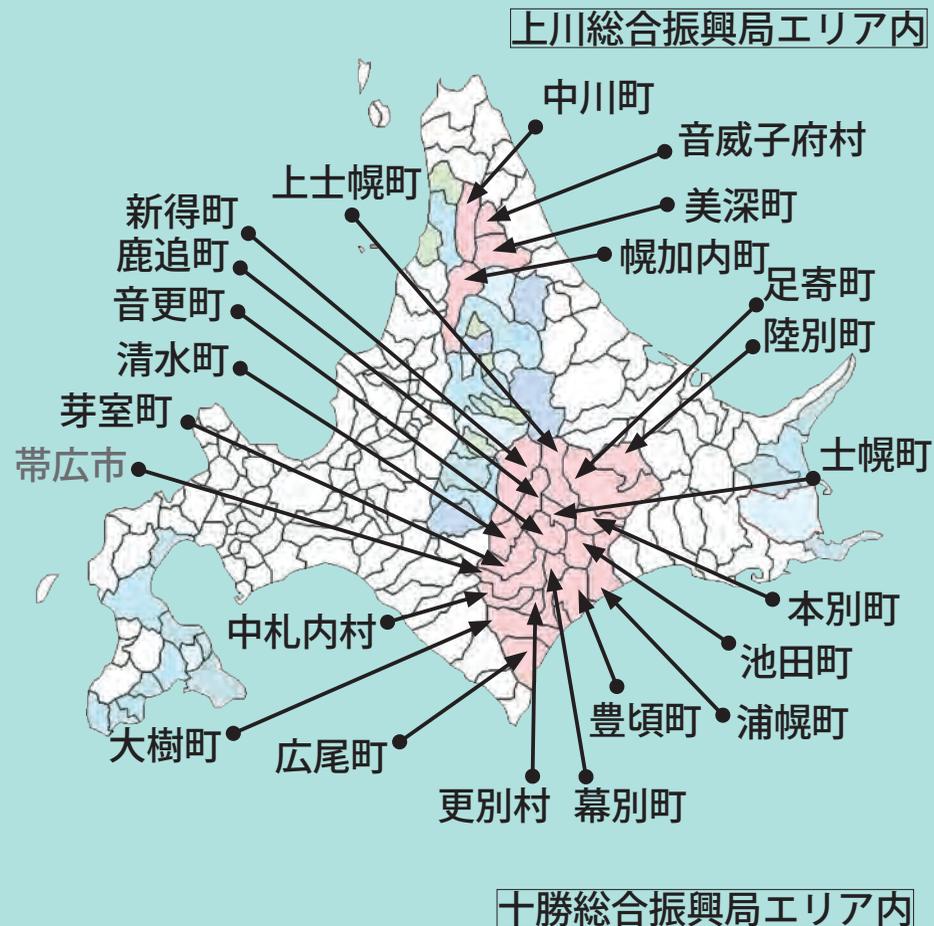
# 北海道の 市と町と村を ご紹介

## 目次

北海道 上川総合振興局	びふか 美深町のご紹介	……2
	おといねっぶ 音威子府村のご紹介	……6
	なかがわ 中川町のご紹介	……10
	ほろかない 幌加内町のご紹介	……14
北海道 十勝総合振興局	おとふけ 音更町のご紹介	……18
	しかおい 鹿追町のご紹介	……22
	しほろ 士幌町のご紹介	……26
	しんとく 新得町のご紹介	……30
	かみしほろ 上士幌町のご紹介	……34
	しみず 清水町のご紹介	……38
	なかざつない 中札内村のご紹介	……42
	めむろ 芽室町のご紹介	……46
	たいき 大樹町のご紹介	……50
	さらべつ 更別村のご紹介	……54
	まくべつ 幕別町のご紹介	……58
	ほんべつ 本別町のご紹介	……62
	いけだ 池田町のご紹介	……66
	とよころ 豊頃町のご紹介	……70
	ひろお 広尾町ご紹介	……74
	あしよろ 足寄町のご紹介	……78
	りくべつ 陸別町のご紹介	……82
	うらほろ 浦幌町のご紹介	……86
	公益社団法人北海道倶楽部のご紹介	……90

イベント等は新型コロナウイルスの感染対策のため中止になっている場合があります。

## 2021年 北海道“NOW”掲載の22市町村



この冊子「北海道の市と町と村をご紹介」は北海道情報紙の北海道倶楽部・北海道“NOW”（2021年12月号）の別冊として刊行しました。今回掲載したまちは、北海道“NOW”の2021年1月～12月（2月は休刊）に掲載した22市町村のご紹介をすべて再録したものです。なお、再録に当たり情報を一部更新しました。

北海道開拓の歴史などに関しても記され、食や観光のみならず興味深い内容が含まれております。

記事は、北海道及び掲載市町村の方のお世話になっております。御礼申し上げます。有り難うございました。

公益社団法人北海道倶楽部

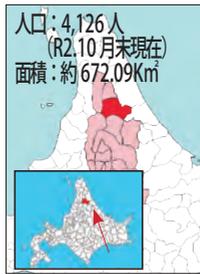
2021年12月1日

色丹島 2015年8月



# 美深町とは

○町名の由来  
町名はアイヌ語の「ピウカ」（石の多い場所）由来しています。



## ○概要

美深町の開拓は、明治32年（1899年）に富山県人の平喜三郎がピウカ原野の開拓の鉤をおろしたことから始まり、大正12年（1923年）に美深町となりました。

北海道の北部、稚内市と旭川市のほぼ中間に位置し、東部を北見山地、西部を天塩山地に囲まれた盆地を形成しており、町の中央

部を南北に北海道第2の大川「天塩川」が貫流し、日本海とオホーツク海を結ぶ交通の要衝地となつていま

天塩川流域に広がる肥沃な農地をいかにした農業と、町の大部分を占める広大な森林をいかした林業を基幹産業として発展してきました。近年では、まちの新たな産業として、チヨウザメの飼育にも力を注いでいます。将来、美深町と言え

「チヨウザメとキャビアの町」と全国の人から言ってもらえるよう事業を展開していきます。

## ○町の花 ツツジ



## ○町の木 エゾマツ



## ○気象

寒暖の差は激しく、冬の気温はマイナス30度、夏は30度を超えることも珍しくありません。風は年間通して平均2m/秒と穏やかで、降水量も年間1200mm前後です。

積雪量は多い方で、豪雪地帯の指定を受けており、最深積雪150cmを超えることもあります。気温が低いため、水分が少なく雪質の良いパウダースノーを体感することができます。

## ○農業

美深町の農業は、天塩川流域の肥沃な大地と冷涼な気候条件をいかして、水稲・畑作・酪農・畜産と多岐にわたる農業を展開し、耕地面積は5010畝、農家戸数は170戸となつていま

水稲は、日本の稲作の北限地帯に位置しており、化学肥料や農薬の使用を抑えた安心安全なもち米を栽培し、酪農・畜産も盛んで、乳牛・肉牛の飼養頭数は1万頭を数えます。畑作は、小麦・馬鈴しょ・ビート・小豆に加えて、かぼちゃやアスパラなどの路地野菜、メロンやフルーツトマトなどのハウス栽培なども行っており、中でもかぼちゃについては作付け、生産量とも全国でも有数の産地となつています。

美深では、昼夜の寒暖差が激しく、農産物には過酷な環境にあるため、糖度が高く、おいしいものが育ちます。

○特産品 (農産物)  
もち米、じゃがいも、か

ぼちゃ、メロン、フルーツトマト、ホワイトアスパラ  
美深牛、チーズ  
白樺の樹液「森の雫」  
トマトジュース「太陽の水」  
かぼちゃもち米を使った「かぼちゃどぶろく」と「かぼちゃあまざけ」  
じゃがいもとかぼちゃを使った「道の駅のコロツケ」

## ○ふるさと納税(寄付)



「森の雫」

「かぼちゃどぶろく」

# 町の取組み

「みんなで築く輝くまち美深」をまちのめざすべき将来像として、恵まれた自然環境とこれまで育んできたまちの地域資源をいかしながら、基幹産業である農業を始めとした活力ある産業の振興、豊かな自然環境と調和した居住環境、安心して暮らすことができるまちをめざし、5つの基本目標を掲げて住民と行政が一体となつてまちづくりに取り組んでいます。

1. 自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」

恵まれた自然環境の保全と循環型社会の形成、快適な生活環境を確保するための道路網や水道・下水道の整備、計画的な土地利用、防災や防犯対策などを推進

2. 資源をいかす活力に満ちたまち「美深」

豊かな自然やこれまで育んできた地域資源を最大限にいかして、農林業や商工業、観光などの産業・経済活動の振興と新たな地場産業の創出に努め、働きがいや生きがいの持てる活力に満ちたまちづくりに取り組んでいます。

3. 次代を創る人を育てるまち「美深」

学校教育や家庭・地域における子どもたちの教育の推進を図り、次代を担う人材を育成するとともに、多様な社会に対応するための生涯にわたる教育機会の提供、芸術・文化・スポーツ活動を通じて個性や創造

4. 健康で明るく暮らせるまち「美深」

子育て環境の充実や住民の健康づくり、医療体制の充実により総合的な福祉施策を展開するとともに、地域住民と行政が協力・連携した地域福祉活動を推進し、健やかに明るく暮らすことができるまちづくりに取り組んでいます。

5. みんなでつくる心かよ

住民と行政がそれぞれの役割と責任を持ち、住民一人ひとりが主人公としてまちづくりに積極的に参画できるような活躍できる機会を提供するとともに、効率的な行政経営に努め、将来を

## ○ふるさと納税(寄付)

美深町では、町内外のみならず、形でもちづくりに参画いただきながら、めざす将来像を実現するため「美深町まちづくり応援基金創設」を創設しました。基金創設の趣旨について、多くのみなさまにご理解いただくとともに、美深町への温かいご支援をお待ちしております。  
みなさまからいただいたご寄付は美深町の将来を実現するために、「未来を担う子どもたちを応援する事業」「活力ある地域産業を育てる事業」「個性豊かな人と文化を育てる事業」「元気に暮らせる健康づくり事業」「その他の事業(基金)」に活用させていただきます。  
【返礼品の紹介】  
内陸性気候による昼夜の寒暖差をいかして生産される「グリーンアスパラ」「びふかメロン」「かぼちゃ・じゃがいも」は自然の恵みがたくさん詰まっています。また、子牛から肥育まで抗生物質不使用のエサとミネラル豊富な水で愛情こめて育てた「こだわりの美深牛」など、農畜産物や町内で製造されているモツアレラチーズなど、各種チーズも人気です。



# 「農林業とチョウザメのまち美深町」 観光スポッポット

## ○松山湿原

北海道自然環境保全地域で、日本の重要湿地500にも数えられる松山湿原は、標高797m、広さ25haの日本最北の高層湿原です。麓の天竜沼から山頂までは約900mの登山道が続き、30分程かけて登る山頂の湿原には、幾百年もの歳月に耐えた矮性のアカエゾマツやハイマツがまるでオプジェのように広がる幻想的な景色を見ることが出来ます。

また、山頂の湿原には、神秘的な雰囲気漂わせる「えぞ松沼」「つじ沼」「ハイ松沼」といった個性豊かな沼や、青い花をつけるエゾアジサイやホロムイリンドウ、黄色い花のエゾノリュウキンカやコキンバイなど季節の花も咲いており、四季の移ろいを感じることが出来ます。

歩道が設置されていますので車椅子の利用も可能です。

## ○仁宇布（にうぶ）の冷水と十六滝



環境省の「平成の名水百選」に選定されている「仁宇布の冷水と十六滝」の冷水は、ミネラルが豊富でまろやかな味わいの湧水です。

きる珍しい山です。晴天の山頂からは、利尻富士、オホーツク海、大雪山連峰などを眺望することができ、広大な自然が広がる360度の絶景パノラマを楽しむことができます。全長約32kmの砂利道は、ダート道に林間、まっすぐに続くロングダートなど、ツーリングのコースとして、オフロードライダーに人気があります。

また、函岳には、「昔この付近が大津波に襲われた時、人々が舟で逃げ、わずかに出ていた函岳の頂上に舟をつけ難を逃れた。その舟に積まれていた宝物が入った函がそのまま山頂の岩となって残ったのである。このあたりの山から貝殻が出てくるのは、その津波のとき上がったものである。」という伝説があります。

また、函岳には、「昔この付近が大津波に襲われた時、人々が舟で逃げ、わずかに出ていた函岳の頂上に舟をつけ難を逃れた。その舟に積まれていた宝物が入った函がそのまま山頂の岩となって残ったのである。このあたりの山から貝殻が出てくるのは、その津波のとき上がったものである。」という伝説があります。



また、函岳には、「昔この付近が大津波に襲われた時、人々が舟で逃げ、わずかに出ていた函岳の頂上に舟をつけ難を逃れた。その舟に積まれていた宝物が入った函がそのまま山頂の岩となって残ったのである。このあたりの山から貝殻が出てくるのは、その津波のとき上がったものである。」という伝説があります。



また、函岳には、「昔この付近が大津波に襲われた時、人々が舟で逃げ、わずかに出ていた函岳の頂上に舟をつけ難を逃れた。その舟に積まれていた宝物が入った函がそのまま山頂の岩となって残ったのである。このあたりの山から貝殻が出てくるのは、その津波のとき上がったものである。」という伝説があります。



また、麓の天竜沼にはバリアフリー化された遊

また、麓の天竜沼にはバリアフリー化された遊



## ○チョウザメ館

世界三大珍味のキャビアで有名な、生きた化石とも呼ばれている古代魚チョウザメの飼育と展示を行っているのが「チョウザメ館」です。明治時代までは、美深町を貫流する北海道第2の大川「天塩川」にもチョウザメが生息していたことが松浦武四郎の天塩日誌にも記録されています。

美深町とチョウザメは、昭和58年（1983年）、三重県にある水産庁養殖研究所の飼育実験として、チョウザメ300匹を、び

また、枕木で作り置かれた駅舎を思わせる入国受付所「コタンコロカムイ駅」では、入国パスポートとともに、懐かしい記念の硬券切符が発券されます。（冬期間は運行していません）

また、枕木で作り置かれた駅舎を思わせる入国受付所「コタンコロカムイ駅」では、入国パスポートとともに、懐かしい記念の硬券切符が発券されます。（冬期間は運行していません）



また、麓の天竜沼にはバリアフリー化された遊

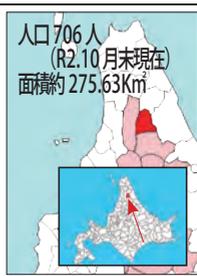
また、麓の天竜沼にはバリアフリー化された遊

また、麓の天竜沼にはバリアフリー化された遊

また、麓の天竜沼にはバリアフリー化された遊

# 音威子府村とは

概要



音威子府村は、上川管内北部に位置し、旭川市から約130km、稚内市から約120kmと、ほぼ中間に位置し、人口が道内の市町村で最少の「北海道一番小さい村」です。内陸に位置しているものの、東西ともに50kmほどで日本海・オホーツク海に達することから海洋性気候に属しています。また、盆地地形のため、寒暖の差が大きく四季が明瞭です。道内有数の豪雪地帯としても知られ、2017年(平成29年)〜

18年(平成30年)シーズンには、村内観測史上1位の記録である積雪深281cmを記録しています(気象庁が統計を開始した1982年(昭和57年)以降の記録として)。

1914年(大正3年)には国鉄天北線(当時の名称は「宗谷線」)が、1922年(大正11年)に現在の宗谷本線(当時の名称は「天塩線」)がそれぞれ開通しました。音威子府駅が両路線の分岐点であったことから、交通と物流の中継地として発展し、「鉄道の村」として知られるようになりまし。

●産業  
本村の基幹産業は農業です。中でも「そば」は、作付面積約900haにもおよび、畑作物の作付面積の約9割を占めるほどです。



●特産品  
特産品としてはそばが有名で、「音威子府そば」は黒いそばとして広く知られているほか、咲来(さつく)地区産のそば粉を使用した「咲来そば」、村内の農家が6次産業化への取組として製造した、発芽させたそばの実を使用している「初芽むらおこし」なども人気があります。

●ふるさとまつり(8月上旬)  
村内や近隣地域のグルメが集う一大イベントです。参加型のゲーム大会、歌やよさこいのステージもあり、本村の夏を盛り上げます。

高品質で、「おいしいそば産地大賞2020」(主催：日本蕎麦保存会)では第8位に選ばれるなど、高い評価を受けています。



●イベント情報  
●村民運動会(7月上旬)  
村内に住む若男女が結び、住む地域ごとのチーム対抗で競い合う運動会です。玉入れ大会期間中は、国内トップクラスの選手たちによるハイレベルな滑りを観戦できるだけでなく、全国から大会関係者が来村するところから、

切使用しない味噌、豊かな森林資源を生かした木工芸クラフト品などがあります。



●クロスカントリースキー大会(冬季)  
本村にある「チセネシリクロスカントリースキーコース」はFIS(国際スキー連盟)とSAJ(全日本スキー連盟)の公認を受けており、「全日本学生チャレンジャー大会」や「全日本クロスカントリー音威子府大会」などの全国大会が毎年開催されています。大会期間中は、国内トップクラスの選手たちによるハイレベルな滑りを観戦できるだけでなく、全国から大会関係者が来村するところから、

# 村の取り組み

村立の「北海道おといねっふ美術工芸高校」は、北海道で唯一の全日制工芸科高校で、全国から入学希望者が集まります。現在通っている生徒のほぼ全員が村外出身者で、高校寮で生活を送りながら、自己研さんにひたむきに取り組んでいます。(写真 卒業制作)



本村では、ほかの自治体にはない独自性や村の未来を担う人材を作り出すという観点から、「第2期音威子府村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、おといねっふ美術工芸高校を軸とした地域振興を目指す

●ふるさと納税の展開  
廃止候補駅存続のために駅を応援し、支えてくださる方の思いを「ふるさと納税」としてお受けし、廃止候補駅の維持管理経費に充てさせていただきます。

●駅の美化活動  
村内の有志グループの皆さんが、村内全駅を花で彩る運動「花駅長活動」を実施されています。4つの駅すべてに花プランターや花壇を設置し、駅を利用する方をもてなし、地域の皆さんにも楽しんでいただけるよう、地域の高校生などと協力しながら実施しています。



●アイデア募集・イベント協賛  
各駅の利用者は、年々減っています。駅を目的に訪れる方も多く、「列車の乗降場所」と

●ふるさと納税の展開  
廃止候補駅存続のために駅を応援し、支えてくださる方の思いを「ふるさと納税」としてお受けし、廃止候補駅の維持管理経費に充てさせていただきます。

●ふるさと納税(寄附)  
頂いたご寄付は、「自然や資源を生かした暮らしづくり事業」「福祉と教育の充実による新たな匠づくり事業」「鉄道に関する事業」に活用させていただきます。詳しくは村HPをご覧ください。\*詳しくは村HPをご覧ください。\*ふるさとチョイスで検索してください。

●ふるさと納税(寄附)  
頂いたご寄付は、「自然や資源を生かした暮らしづくり事業」「福祉と教育の充実による新たな匠づくり事業」「鉄道に関する事業」に活用させていただきます。詳しくは村HPをご覧ください。\*詳しくは村HPをご覧ください。\*ふるさとチョイスで検索してください。

●返礼品(一部)  
・音威子府そば・音威子府羊羹・木工時計セット  
・天塩川温泉源泉ラーメン・森のおとつきいせんべいセット  
・旧国鉄天北線 線路の石缶詰 など

令和2年(2020年)11月から、返礼品に「線路の石缶詰」が新たに加わりました。これは、平成元年(1989年)に廃線となった旧国鉄天北線の線路跡(村有地)にて、村民有志のグループが玉砂利を拾い、缶詰にしたものです。

担当課：総務課総務財政室総務係  
FAX ☎ 01656653311  
01656653837

# 「北海道で一番小さな村 音威子府村」

## 観光スポッポット

○北海道命名の地



「海」に改められて「北海道」と命名されました。「加伊」の字は、アイヌ語で「この地に生まれた者」を意味する「カイ」という言葉が由来とされています。その言葉がアイヌの古老から聞いたのが、安政4年（1857年）、現在の音威子府村物満内地区にて宿営した時のことであったと武四郎の著書「天塩日誌」に記されています。現在、物満内地区には「北海道命名の地」といわれています。

「オトイネツプタワ」は、村のシンボルとしてビッキ氏が制作された作品で、村のカントリーサインにも描かれています。ビッキ氏が拠点置いていた旧小学校舎は現在、「エコミュージアムおさしませセンターBIKKIアトリエ3モア」

北海道出身の著名な彫刻家・砂澤ビッキは、1978年（昭和53年）に本村物満内地区にある旧箴島小学校舎にアトリエ兼住居を構え、村の美術振興に多大な影響を与えました。音威子府駅前建っていた「オトイネツプタワ」は、村のシンボルとしてビッキ氏が制作された作品で、村のカントリーサインにも描かれています。

「メタホウ酸HBO2」を多量に含んでいることが特徴で、殺菌・コーティング効果が高く、マグネシウムイオンが炎症を抑えます。飲用においては胃酸の中和作用があり、炭酸ガスに

泉」が発見され、当時は飲用薬として販売されてきました。1973年（昭和48年）には、住民保養センターとして公衆浴場の営業が開始されました。源泉は、1億5000万年前の地層（白亜系）の断層から湧出しており、泉質は炭酸水素塩泉（重曹水）「ナトリウム・マグネシウム・炭酸水素塩・塩化物冷鉱泉」です。皮膚の表面を軟化させる作用があり、皮膚病・やけどなどに良いとされているほか、皮膚を滑らかにすることから「美人の湯」とも言われています。

り、初めての方でも指導をを受けながら制作体験ができます。また、大型工作機械も揃っていますので、テーブルやキャビネットなどの家具の制作も可能です。利用者の中には、村内に長期滞在して大型家具の制作にチャレンジされる方もいらっしゃいます。

市街地からすぐ近くにある音威子府の街並みや天塩川を眼下に臨みながらスキーを楽しめます。雪質は北海道北部地域ならではの軽やかにシュプールを描くことができます。ナイター設備も完備しており、学校や仕事が終わってから訪れる方も多くいらっしゃいます。また、「音威富士大回転競技大会」が毎年開催され、地域のスキーヤーが技術を競い合う舞台でもあります。



短期移住体験住宅 音威子府村への移住を検討されている方向けの住宅で、3戸あります。7日か（平成元年）に廃線となつた旧天北線（音威子府～浜頓別）南稚内）に関する資料や、昭和30年代の音威子府駅を再現したジオラマなどがあります。

して以降、計6回にわたって蝦夷地踏査を行いました。明治2年（1869年）、武四郎は明治政府に対して蝦夷地の新しい名称を提案する「道名の儀につき意見書」を提出しました。意見書にて提案された6つの名称案の中にあつた「北加伊道」の「加伊」が「海」に改められて「北海道」と命名されました。「加伊」の字は、アイヌ語で「この地に生まれた者」を意味する「カイ」という言葉が由来とされています。その言葉がアイヌの古老から聞いたのが、安政4年（1857年）、現在の音威子府村物満内地区にて宿営した時のことであったと武四郎の著書「天塩日誌」に記されています。現在、物満内地区には「北海道命名の地」といわれています。



より粘液を溶解、胃の幽門のけいれんを鎮める作用があるとされています。また、胃粘液の充血を促し、胃の運動を高めることから、便秘や胃腸炎、胃・十二指腸潰瘍に効果があるとされています。

ら最大3か月間利用が可能で、家具一式が完備されています。インターネット回線も開通しています（事前予約必要）。人気のあるハイスピーズ期（6月～9月）には、利用希望日の調整等を実施することがありますので、お申し込みの際は「そや」号のヘッドマークを承ってください。（利用料）家なども展示されています。賃、電気代、放送受信料含（入場無料）



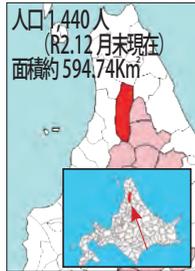
山村都市交流センター木工館 村営の木工体験施設で、入館料と材料費のみで、気軽に木工体験ができます。木工指導員が常駐して

町のカラクター紹介 音威子府村マスコットキャラクター「おとつきー」 音威子府村の森を守る木の妖精です。2013年（平成25年）に、村名改称50周年を記念して誕生しました。からだは村の木であるアカエゾマツでできており、ハート形の葉っぱと手は、音威子府村の豊かな森林をイメージしています。 とてもフレンドリーな性格で、好きな食べ物には音威子府そばです。



# 中川町とは

中川町は北海道の北部に位置し、東に北見山地、西に天塩山地が走っており、この両山地の中央を流れる天塩川とこれに合流する安平志内(あべしな)川流域にそって南北に細長くひらけています。地形は山岳地と平野地に大別され、平野地は一部の泥炭地を除き、肥沃で農耕に適しています。気候は日本海沿岸型に属し、春は雨が少なく秋に多くなります。また寒さが厳しく積雪も多いのが特徴です。



○特産品  
ソーセージ(粗びき、行者ニンニク入り、チーズ入り、ハスカップ入りの4種)、フランクフルト、サイダー(はちみつ、あやなみ、ハスカップの各種)、KIKO ORIブランド(森のはちみつなど)、カボチャ、クリンアスパラなど

○イベント情報  
・きり祭り

例年2月下旬に開催しています。昔機械化される前の林業の現場では、樵(きこり)たちが「とび」「がんだ」「バチ」とよばれる道具をもって山に入り、危険と隣り合わせの環境なか木材を運び出していました。その道具も姿を消してしまっています。

森林文化の再生に取り組



引つ張り、ゴールまでの速さを競うレースを行うイベントを行っています。レースのほかに林業体験ブースや食物や地元木工作家の作品等の販売も行っています。



・天塩川春発信なかがわ  
冬の天塩川は結氷し、川の氷が融けるころに春が訪れます。その時を教えるのは

む中川「標本木と時計」。天塩川の上には立っている標本木が融けて川が流れ始めることで、時計が止まる仕組みです。その時計が止まる日時を予想しはがきで応募するイベントです。例年1月から3月にかけて行っています。

・天塩川水切り北海道大会  
「小さ  
いころ  
に河原  
に行っ  
てよく  
遊んだな」と懐かしさを感じる遊びの「水切り」。北海道遺産でもある天塩川を舞台に、石を選び、川に向かって投げ、水を切る回数を競う。そんなイベントです。例年7月第2日曜に開催しています。令和2年度はオンラインで開催しました。



・北海道丸太押し相撲大会  
丸太押し相撲は、男子は長さ10m・重さ100kgの丸太を5名1チームで、女子は長さ6m・重さ25kgの丸太を3名1チームで互いに押し合う競技です。迫力ある気迫のこもった熱い戦いが繰り広げられます。同じ会場で同時に開催されるのが「なかがわ秋味祭り」。中川町の特産品の販売や、地元や近隣市町村からご当地グルメが数多く出店します。農産物の格安販売やサケのつかみ取り、野菜の詰め放題など秋の味覚が楽しめます。例年9月第3日曜に開催しています。



# 町の取組み

中川町では①みんなできつくるまちづくり②災害に強いまちづくり③行政と財政の健全化を基本として、「第7次中川町総合計画」に掲げる基本目標にもとづいてまちづくりを進めています。

1、健やかで安心な暮らしを実現できるまち

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしているけるよう「住民の皆様」「社会福祉を目的とする事業者」「行政」の三者が連携しながら、介護保険事業計画などの各種社会福祉にかかる計画の策定、子育て支援としての幼児センター機能の充実、地域医療体制の充実に取り組んでいます。

2、活力ある経済と賑わいを実現できるまち

中川町の各産業については、産業分野を問わず後継者、担い手、働き手の不足が大きな課題となっており、地域おこし協力隊制度の活用や新規就業制度の見直し、中川町商工業活性化推進条例の制定などにより担い手不足や就業環境の改善などを図っています。

3、自然と調和した安全な環境を実現できるまち

魅力ある自然環境の保全、環境に対して負荷の少ない、次代を見据えた自然エネルギーの活用の検討や美化活動の推進に取り組んでいます。

5、協働と信頼を実現できるまち

協働のまちづくりを進めるため、様々な施策に対する町民の意見や受益者の意見を聴取する多様な機会を作りながら、みんなで行くまちづくりを展開していきます。

4、豊かな文化と人の育みを実現できるまち

「健やかなからたづくり」「中川文化を育む」「明日を担う人づくり」を目標としてスポーツ活動の普及、地域の文化活動の確保や、エコミュージアムセンターを中心とした歴史や文化遺産の継承、学校教育や生涯学習の充実に取り組んでいます。

# ふるさと納税(寄附)

中川町では「ふるさとを応援したい」「ふるさとに貢献したい」など、納税者の方々からふるさとを思う気持ちにこたえるため、ふるさと納税制度に基づき、寄附者に対して返礼品をご用意しています。寄付金の用途につきましては選択することはできませんが「愛されつつけるふるさとづくり」のために使用させていただきます。

- ・掲載サイト  
楽天ふるさと納税・ふるさとチョイス・さとふる

# 主な返礼品

自家製ウインナーとベーコンのセット(写真)



# 「森と大地と天塩川 いいんでないかい中川町」 観光スポット

○中川町エコミュージアムセンター  
ます。道の駅の眼下には北海道遺産である天塩川が流れており、天塩川河川敷にあるパークゴルフ場もすぐそばにあります。



白亜紀(約1億7200万年前)の地層が多くみられる中川町は、世界的にも併設しており、そのほかの中川町の特産品も購入す



○北海道中川町サテライトスペース「ナカガワのナカ」

都市圏のお客様に、中川町の観光やイベントの概要を紹介し、産業振興や雇用創出、特産品開発や販路開拓など様々な面での情報を発信する拠点として、東京都世田谷区下高井戸商店街に「ナカガワのナカガワ」を設置しています。「ナカガワのナカガワ」では特産品の販売や、中川町産の牛乳を使用したソフトクリームやフランクフルトを販売しています。

ゆったりとした天塩川の流れと新緑の里山に見守られているかのような、豊かな自然と、充実した設備が自慢のオートキャンプ場で、初心者でも楽しめるカヌー体験や、レンタルサイクルを利用したサイクリングなど多彩な体験が楽しめます。



○ポンピラアクアリスイン  
オートキャンプ場に隣接する温泉宿泊施設です。円筒形の特徴的な外観の客室は和室と洋室、開放的なメゾネットがあり、窓の外には天塩川や緑の森が広がり、落ち着いた静かな環境で疲れをいやしていただくことができます。

に有名な化石の産出地として知られています。平成3年(1991年)には国内最大級のクビナガリュウの化石が発見され展示されています。

ほかにも大型のアンモナイトを中心に、化石や動植物、中川町の歴史書物などを収蔵・展示を行っており、中川町の昔の暮らしや歴史文化を学習することができます。

建物には廃校となった中学校を活用しており、体験学習や研修を目的として宿泊することも可能です。

## ○道の駅なかがわ

道の駅なかがわは町内の一般国道40号に隣接する施設で旭川市からは約3時間、日本最北端の稚内市からは約1時間30分ほどの場所に位置してい



ることができません。夏には地元農家の季節の野菜や山菜が並ぶこともあります。

トも販売しております。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

住所 東京都世田谷区赤堤4丁目42  
電話・FAX 03-6379-0165  
営業時間 午前10時から午後6時

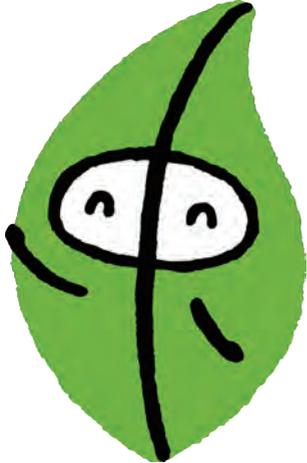
## ○オートキャンプ場ナパーク



### ○町のキャラクター紹介

・中川町のマスコットキャラクター「じゅえる」

「じゅえる」の名前には「樹植える」という意味が含まれています。妖精なので生年月日は不明、性別はありません。特技はかくれんぼ。好きな食べ物は樹液、ハスカップ、行者ニンニクのしょうゆ漬けです。ずっと昔から中川町にいましたが、誰にも見つけてもらえないので自ら出てきました。好奇心旺盛で、姿を変えて中川町の自然に溶け込みながらどこでも遊びに行っています。



# 幌加内町とは



## ・新そば祭り

今では、幌加内町の代名詞ともなった「幌加内町新そば祭り」。人口約1400人余りの町に開催期間2日間で5万人を超える方々が来場します。そばの作付面積・生産量が日本一になったのは昭和55年

(1980年)ですが、当時、道外はもちろん道内でも無名の存在だったため、日本のそばであることを活かして、地域振興・PRを図りたい！と、町の有志が集まり、平成6年(1994年)に第1回新そば祭りが開催され、現在第26回まで開催しております。(令和2年(2020年)、令和3年(2021年)はコロナウイルス感染症対策のため、止む無く中止しました。)

町内をはじめ全国から多数の店舗が集まり、そば処の食比べが楽しめるほか、「全麵協そば道段位認定会」「北海道そば打ち名人大会」「全国そば打ち女流名人大会」など、そば打ちの技術を競う大会が2日間を通して行われます。また、石臼引きの体験なども

道内唯一の高校は「そば加内高校」

町内唯一の高校は「そば加内高校」



しました。なかでも幌加内町の積雪量の多さを活かした「豪雪露天風呂」は一見の価値あります。(冬季のレストラ内にはそば打ちコーナーがあり、タイムングがよければ、そば打ちの実演見学もできます。挽きたて・打ち立て・茹でたての美味しいおそばを是非、お召し上がりください。

そばの販売、パウンドケーキ、季節の野菜など生徒たちが自ら販売しており、短時間で完売する人気のシヨップとなっています。近年では、同校のこのような学習を通して、将来「そば」に関する職業に就きたいと希望する生徒が増え、町内企業や全国のそば関連企業、海外事業への就職実績があります。

# 町の取り組み

「人に自然にやさしい故郷づくり」をまちづくりの基本理念に、1. 自然と共生したまち、2. 生きいきと健やかに暮らすまち、3. 住みやすくにぎわいと安心のあるまち、4. 誇りと活力のあるまち、5. 夢と豊かな心を育む学びのあるまち、6. みんなで築き合うまちづくりを基本目標に掲げて取り組んでいます。

## 1. 「自然と共生したまち」

自然環境を大切に保存・活用するとともに、快適な冬の暮らしを支える雪対策の充実など、地域の自然と共生したまちづくりに取り組んでいます。

## 2. 「生きいきと健やかに暮らすまち」

保健・医療・福祉・介護

の連携強化、福祉対策の充実など、安心して健やかに過ごすことができるまちづくりに取り組んでいます。

## 3. 「住みやすくにぎわいと安心のあるまち」

美しい自然環境を活かした街並みや住宅環境の整備を図り、生活環境や交通のインフラ整備、防災対策に取り組み、安全・安心のまちづくりに取り組んでいます。

## 4. 「誇りと活力のあるまち」

ソバを中心とした農産品のブランド化の推進、農業や観光とも連携した地域産業づくりによる地域活性化の充実など、魅力的なまちづくりに取り組んでいます。

## 5. 「夢と豊かな心を育む学びのあるまち」

学校教育や地域での育成

環境の充実、文化・スポーツ・レクリエーション活動の充実など、生涯にわたって学べるまちづくりに取り組んでいます。

## 6. 「みんなで築き合うまち」

コミュニティ活動の推進、住民参加と協働体制の強化に努めるとともに、まち全体としての力を強化していきます。

## 町名の由来

ほろかないの由来は、「逆戻りする川」という意味があり、町の南部を流れる幌加内川を指した、アイヌ語の「Horokanai」ホロカナイの意とされています。

## 町章



## ふるさと納税

幌加内町のまちづくりを応援していただける方々の「思い」を募っています。皆様からお寄せいただいたご寄付は、より良い町づくりに反映できるよう、「子育て支援及び子ども教育振興」「そばの振興」「イトウの保護」「朱鞠内湖周辺の観光振興」「町長におまかせ」の5つの事業に活用させていただきます。

お礼の品は、作付面積・生産量日本一の「そば」などの農産品、「朱鞠内湖レークハウス宿泊プラン」や「朱鞠内湖プライベートガイドツアー」などの湛水面積日本一を誇る「朱鞠内湖」でのアクティビティなど、幌加内町の魅力のある品を幅広く取り揃えております。



# 「3つの日本」がある町 幌加内

## 観光スポット

●そば畑の面積・生産量日本一  
●そばの歴史



1960年代に米の減反政策が進み、代替作物としてそばの作付けが始まりました。冷涼な気候、昼夜の寒暖の差、日中の気温上昇を穏やかにする朝霧などの自然条件がそば栽培に適していたことから、栽培面積が増え、昭

### ●日本最大の人造湖朱鞠内湖(しゅまりないこ)

●道立自然公園朱鞠内湖 日本最大級の人造湖「朱鞠内湖」は、まるで北欧の湖畔にいるような錯覚をもたらします。朱鞠内湖を形成する、雨竜第一ダムは発電を目的として作られ、昭和18年(1943年)に完成し、湖の面積は23.7km<sup>2</sup>、周囲約40km、水深は約40mあり、日本一の湛水面積(2373ha)を誇ります。

### ●そばの花

7月下旬から8月中旬にかけて、3400ヘクタールを超えるそば畑が開花を迎えます。遙か遠く、山裾まで続くその景色は「白い絨毯」「幌加内は2度雪が降る」などと形容されており、幌加内で見ることができない風景です。また、朝夕に表情を変えるそば畑は絶好の撮影スポットであり、「白銀の丘」「白絨毯の畑」「純白の丘」「政和展望台」などのビューポイントには写真愛好家の方が多く訪れます。



●高品質のそば 生産者が丹精込めて作る朱鞠内湖は昭和49年(1974年)に道立自然公園に指定され、周辺一帯は自然保護上の厳しい規制を受けており、今もなお自



●氷上ワカサギ釣り 冬、朱鞠内湖を包む純白の雪や、時には蒼く染まっ

●幻の魚 鯉(イトウ) 4万年も前から姿を変えてないイトウは時には2メートルにもなると言われています。15年の歳月をかけ、ようやくメーターサイズの大さきとなるその魚は、釣り師にとって「いつか出会いたい」と願う憧れの存在です。その堂々とした風貌はとても美しく、出会った人に忘れられなくなるほどの感動を与えます。ここ朱鞠内湖ではその幻を大切に

●日本最寒記録 マイナス41.2度 昭和53年(1978年)2月17日、幌加内町の母子里(もしり)地区でマイナス41.2度を記録しました。残念ながら気象庁の対象から外れている為に公式記録にはなっていませんが、戦後における日本一の最低気温です。マイナス41.2度

●北海道積雪記録 幌加内町は寒さだけではなく、道内有数の豪雪地帯としても有名で、降雪時期になると毎朝ニュースで表される降雪量・積雪量のトップランナーでもあります。平成30年(2018年)2月25日に積雪量が3m24cmに達し、北海道の積雪記録を更新しました。そんな豪雪を活かした施設として急斜面が売りのほろたちスキー場では、あえて非圧接部分を残したゲレンデ、サラフカフカの粉雪と道内外のパウダーフリークの楽園であり、混雑のないロ

●町のキャラクター紹介 頭はそばの実、そばの花をつけたそばの妖精「ほろみん」 平成25年(2013年)6月18日生まれ、名前の由来は幌加内町独自で品種登録を行い、生産しているそば品種名「ほろみのり」から名付けられました。日本一の作付面積と生産量を誇るそばの産地「幌加内町」のPRをするために、身(実)を粉にする勢いで頑張っている努力家であり、背中にはのし棒を背負ってそば打ちができることをアピールしています。●お問合わせ 幌加内町役場 TEL:0165-35-2121 FAX:0165-35-2127



●お問合わせ 幌加内町役場 TEL:0165-35-2121 FAX:0165-35-2127

# 概要



令和2年(2020年)に開町120年を迎えた音更町は、北海道の東部、十勝

勝平野のほぼ中央に位置し、南は十勝川を隔てて帯広市と幕別町、北は士幌町、西は鹿追町と芽室町、東は池田町に隣接しています。昭和40年代から積極的な宅地開発や企業誘致、居住環境の整備などに取り組み、現在、北海道の町村では最も人口の多い町となっています。

基幹産業の農業は、肥沃な土壌と基盤整備の推進、農業技術の向上などにより国内有数の生産高と高い品質を誇り、小麦、大豆、小豆、大麦、小豆、馬鈴薯、馬鈴薯などの畑作物が大規模に営まれているほか、酪農や畜産、に

菜作も行われています。町内には道東自動車道の音更帯広インターチェンジがあることから、交通アクセスの利便性も高く、インターチェンジに隣接する「音更町IC工業団地」には、製造業や物流など多様な企業が立地しています。

## 特産品

小麦、小豆、大豆などの農産物は全国トップクラスの作付面積・生産量を誇っています。小豆はその品質の良さから老舗菓子店で使用されているほか、「音更大豆」は一般的な大豆より甘みがあることから、豆腐や豆菓子の原料として高い評価を受けています。

多くの方に喜ばれています。また、十勝川温泉のモール温泉水で磨いて熟成させた「ラクレットチーズ」も人気があります。十勝川温泉街に熟成庫があり、道の駅「ガーデンスパ十勝川温泉」では、ラクレットチーズを使ったメニューを楽しむことができます。



○イベント情報  
毎年1月下旬から2月下旬にかけて、十勝川温泉にある十勝が丘公園では、「十勝川白鳥まつり彩凜華(ささきいりんか)」が開催されます。広大な雪原を舞台に無数の光源が幻想的な空間を作り出す「光と音のファンタジックショー」を目標として、道内外から多くの観光客が訪れる人気イベントとなっています。

8月下旬には、小麦の収穫を祝って小麦畑で開催される「麦感祭(ぼっかんさい)」、9月中旬には、よつ葉乳業の工場を開放して開催される「よつ葉ミルクフェスタ」、10月上旬には、地産地消をコンセプトにした「みのりくむフェスタおとふけ」が開催されるなど、季節ごとの様々なイベントが地元客や観光客を楽しませています。

# 町の取組み



令和4年(2022年)4月、柳月スイートピア・ガーデンの隣接地に道の駅「おとふけ」が移転開業します。新たな道の駅は、「食」と体験を基に人々が賑わい交流する拠点施設」として、十勝・音更町の農畜産物や加工品を販売するとともに、地元産の食材を築しめる7店の飲食店やベーカリー、カフェを設けるなど、十勝・音更町の「食」が集結する「食の聖地」を目指します。また、地域固有の魅力を発信する各種展示コーナーを設けるほか、収穫祭や演奏会、カルチャー教室などのイベントを開催し、賑わいを創出します。敷地内には、十勝を舞台にした連続テレビ小説「なつぞら」の世界観が体験できる施設も整備し、十勝・音更町の魅力を広く発信します。



結する「食の聖地」を目指します。また、地域固有の魅力を発信する各種展示コーナーを設けるほか、収穫祭や演奏会、カルチャー教室などのイベントを開催し、賑わいを創出します。敷地内には、十勝を舞台にした連続テレビ小説「なつぞら」の世界観が体験できる施設も整備し、十勝・音更町の魅力を広く発信します。

令和2年(2020年)には、道東自動車道の長流枝(おさるし)地区における「スマートインターチェンジ」設置の事業化が決定しました。これにより、十勝川温泉へのアクセス向上などの観光振興や物流の効率化といった様々な波及効果も期待されます。

○ふるさと納税(寄附)  
音更町に寄せられた皆様からの寄附金は、「子どもたちの健全育成」や「活力を育む産業振興」などの事業に活用させていただきます。返礼品は、バター・チーズなどの乳製品セット、人気のお菓子を詰め合わせたスイーツセット、黒毛和牛セット、じゃがいもなど、農畜産物や加工品を中心に100種類以上をご用意しています。また、音更町では、令和3年度(2021年度)末まで、道の駅整備事業に対する「企業版ふるさと納税」のご寄附を受け付けています。ふるさと納税制度を活用した音更町のまちづくりにご協力をお願いいたします。

## ふるさと会

音更町にゆかりのある人たちが組織する「ふるさと音更札幌会」と「東京音更会」には、合わせて140



# 「豊かな自然と都市空間が調和した みんなが住みよい選ばれるまち 音更町」

## 観光スポット

### ○十勝川温泉

町内を流れる十勝川のほとりには、植物性のモーター温泉で知られる「十勝川温泉」があります。道東十勝を代表する温泉地として多くの観光客や地元



客に利用され、令和2年（2020年）には開湯120周年を迎えました。その泉質から「美人の湯」として親しまれ、平成16年（2004年）には次

ルの「十勝が丘公園」、十勝川のほとりにあり冬はスノーモービルなどのアウトドア体験ができる「十勝川温泉アクアパーク」、自然

と人間の共生を目指す環境育成型の公園「北海道立十勝エコロジーパーク」の3つの公園があります。中でも、十勝エコロジーパークは総面積409.2haを誇り、子どもたちに大人気の「フワフワドーム」や「水と霧の遊び場」、十勝川を遡上するサケなどを間近に見ることができ魚道観察

室」ととろいど」、研修施設を備えたコテツジや十勝川河畔の豊かな自然を感じることができるキャンプ場などがあり、年間約30万



体験」、十勝川をラフティングボートで下る「十勝川ネイチャーツアー」、十勝川の水上散歩を楽しむ「スタンドアップパドルツアー」、冬は、川下りをしながらオオワシやオジロワシなど貴重な野鳥を観察する「十勝川ワシクルーズ」、

広大な雪原を自由に走る「スノーモービルオープンライド」など、経験豊富なアウトドアガイドが多様な体験メニューを用意して皆さんをお待ちしています。

○家畜改良センター十勝牧場  
音更町郊外には、明治43年（1910年）に内閣馬政局管轄の「十勝種馬牧場」として開設された「家畜改良センター十勝牧場」があります。家畜改良の推進や優良な飼料作物種苗の生産・供給などを行う独立行政法人ですが、牧場内には、北海道・十勝の大自然に触れることのできる観光スポットがあります。

る緑の葉と美しいコントラストを演出し、冬は降り積もった白い雪と一体となり幻想的な風景を創り出します。映画やテレビドラマのロケ地としても有名で、近年は、その美しさから海外の観光客にも知られる名所となっています。



牧場内の高台には、北は大雪山、西は日高山脈を望むことができる展望台もあります。周辺は放牧地となっており、タイムングが合えば草を食む馬などを見ることができま

の冬の風物詩となっています。○柳月スイートピア・ガーデン



道東自動車道の音更帯広インターチェンジの近くには、北海道・十勝を代表する菓子メーカー「柳月」の店舗兼工場「柳月スイートピア・ガーデン」があります。1階の店舗にはカフェも併設されており、購入したケーキなどをその場で楽しむことができます。北

世代へ引き継ぎたい北海道の財産である「北海道遺産」に選定されました。温泉街の中心には、令和2年（2020年）7月に道の駅に登録された「ガーデンスパ十勝川温泉」があります。モーター温泉を水着で楽しむことのできるスパや十勝の食を満喫できる飲食店、十勝の特産品が揃うマルシェのほか、十勝の食材を使ったアイスクリームやチーズなどの加工体験ができる体験工房もあります。屋外には無料の足湯や芝生広場もあり、家族や友人などと一日中楽しむことのできる施設になっています。

人が訪れる人気スポットとなつていきます。これらの観光スポットを周遊するには、フットパスコースを利用している散策や、温泉街にある「十勝川温泉観光ガイドセンター」でレンタルできる電動自転車やクロスバイクなどの利用がおすすめです。



温泉街周辺の豊かな自然を満喫したい方は、ガイドセンター内にある「十勝ネイチャーセンター」を訪れてみてはいかがでしょうか。夏は、上空30mから十勝平野を望む「早朝熱気球



牧場を訪れる観光客を迎えるのは、1.3kmにわたる白樺の並木道です。特徴的な白い樹皮は、夏は生い茂

冬期間には、馬の健康管理の一環として「馬追い運動」が行われ、1月中旬から2月末ごろまで一般に公開されます。雪を巻き上げながら、工場では銘菓「三方は、多くの写真愛好家や観光客を魅了する十勝・音更

### ○町のキャラクター紹介

音更の地名が付いた大豆、「音更大袖振大豆」をモチーフに誕生したキャラクターです。音更町の「食の大使」として、農畜産物のPRをしながら、「食」や「農」の大切さを発信しています。



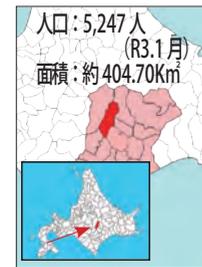
### ・モ〜るちゃん

牛と豚のハーフの女の子で、十勝川温泉の泉質「モ〜ル」と牛をかけて命名されました。十勝川温泉が大好きで、毎日どこかの温泉に入っています。



# 鹿追町とは

鹿追町は、十勝平野の北西部、「大雪山国立公園」で知られる大雪山の東山麓に位置し、農業と観光を基幹産業とする純農村地帯の町です。町の北部には大雪山国立公園に位置する然別湖や然別峡などの雄大な自然が広がり、南部には見渡す限りどこまでも続く十勝らしい美しい農村風景が広がっています。



産業については、観光は上段でも紹介しましたが、総面積404.70kmのうち農地面積が全体の約30%を占めるなど火山活動によって作られた肥沃な大地での「畑作・酪農・畜産」の農業が盛んで、畑作は、小麦・豆・馬鈴薯・てん菜のほか「とかち高原キャベツ」の商品名で全国に出荷されています。生乳は年間約11万トン生産され、酪農が盛んな十勝地域においてもトップクラスの生産量を誇ります。「鹿追生まれ・鹿追育ちの町内完結型」の生産体系を確立している「鹿追牛」は、脂の旨味だけではなく、赤肉のおいしさにもこだわった牛肉づくりを行っており、ふるさと納税などを通じて是非味わっていただきたい逸品です。また、女性を対象とした農業研修プログラム「ピュアモルト農業研修プログラム」や全国に先駆けてグリーンツーリズムを進めるなど、農業に関連した様々な取り組みを行っています。

町内には、陸上自衛隊第5旅団の第5戦車大隊などが駐屯する鹿追駐屯地と然別演習場があり、60年以上にわたり、自衛隊とともに歩む町として、駐屯地と町民が相互に協力し、防災や犯罪に強い安心なまちづくりを進めるほか、国土防衛に加え災害派遣など多岐にわたって活動する自衛隊員とその家族を支援しています。

鹿追の味覚を楽しむ産業まつり、幻想的なしかりべつ湖コタンなど四季のイベントで「鹿追ならでは」を堪能してください。

鹿追産の秋の味覚に舌づつみ。採れたて野菜や鹿追牛を目当てに多くの人が訪れます。(9月下旬)

真冬の然別湖上に現れる幻の氷の村。凍上した湖にイグルーが並び、氷上露天風呂やアイスバーが人気です。平成22年(2010年)には、一般財団法人地域活性化センターのふるさとイベント大賞の最高賞を受賞しました。(1月下旬)

イベント情報  
五感で感じる鹿追の今と心に残る特別な時間  
伝統行事・白蛇姫まつりや、迫力満点の花火大会

イベント情報  
五感で感じる鹿追の今と心に残る特別な時間  
伝統行事・白蛇姫まつりや、迫力満点の花火大会

鹿追町花火大会  
臨場感溢れる迫力の花火

鹿追町花火大会  
臨場感溢れる迫力の花火

# 町の取り組み

○バイオガスをプラントと化した鹿追型ゼロカーボンシティ

鹿追町では家畜のふん尿の適正処理と臭気対策を目的として、全国最大規模の集中型バイオガスプラントが2基稼働しており、プラントの処理過程で生産される「消化液」は畑に還元される環境にやさしい有機質肥料として用いられるほか、余剰熱を活用したチヨウザメ飼育、マンゴー栽培、水耕栽培に取り組むなど地域経済の活性化と新たな雇用の創出を推進しています。

令和3年(2021年)3月には、バイオガスプラントを核とした再生可能エネルギーの更なる有効活用を進め、SDGsが示す持続可能な国際社会の確立に寄与するとともに、脱炭素による地方創生を目指す



おい水素め「ゼロカーボンシティ」において「ファーム」を宣言しました。

○英語教育を核とした幼少中高一貫教育  
鹿追町では平成15年度(2003年度)から文部科学省の研究開発学校の指定を受けて、英語教育と環境教育を軸とした一貫教育に取り組んでいます(指定は平成29年度終了)。昨年姉妹提携35周年を迎えたカナダ・ストニブレイン町との交流を中心とした特色ある英語教育においては、鹿追高校1年生全員がストニブレイン町で2週間のホームステイを行うなど、魅力あるプログラムを展開しているほか、バイオガスプラントやジオパークと町の特徴を活用した環境教育を行っています。

令和3年(2021年)3月には、バイオガスプラントを核とした再生可能エネルギーの更なる有効活用を進め、SDGsが示す持続可能な国際社会の確立に寄与するとともに、脱炭素による地方創生を目指す

ふるさと納税  
鹿追町では、応援いただいた皆様からの寄付金を3つの事業に活用させていただいています。

ふるさと納税  
鹿追町では、応援いただいた皆様からの寄付金を3つの事業に活用させていただいています。

さらに、バイオガスから水素燃料を製造し、貯蔵・輸送・供給までの一貫した水素サプライチェーンの構築を確立するため、環境省の実証事業による「しか

さらに、バイオガスから水素燃料を製造し、貯蔵・輸送・供給までの一貫した水素サプライチェーンの構築を確立するため、環境省の実証事業による「しか

さらに、バイオガスから水素燃料を製造し、貯蔵・輸送・供給までの一貫した水素サプライチェーンの構築を確立するため、環境省の実証事業による「しか

さらに、バイオガスから水素燃料を製造し、貯蔵・輸送・供給までの一貫した水素サプライチェーンの構築を確立するため、環境省の実証事業による「しか

さらに、バイオガスから水素燃料を製造し、貯蔵・輸送・供給までの一貫した水素サプライチェーンの構築を確立するため、環境省の実証事業による「しか

# 「日本ジオパーク認定の町鹿追町」

## 観光スポット

鹿追町の観光の中心となるのは、私たちが毎日過ごす自然そのもの。太古の記憶を留めた美しい大地や動物たち、そこに住む人々との出会い、鹿追ならではの魅力を中心で感じてください。

風にとけて心を裸足に自然の息づかいを感じる。約3万年前の噴火で誕生した然別（しかりべつ）湖は、アイヌ語「シ・カリ・ベツ（自分を回す川）」が由来となっています。標高約800mと道内の最高所にあり、湖から流れる川は十勝平野に恵みを与えます。遙か昔から続く悠久の大地をお楽しみください。

### ○温泉

ここ鹿追町にもオスメの温泉がたくさん。然別湖畔ではホテル風水が温泉入浴を提供。然別峡に向かえば、然別峡野営場内にある露天風呂「鹿の湯」を楽しむことも。川にせりだすように造られた露天風呂は、

また、然別湖は、星空が美しいことでも知られています。「ナイトクルーズ」や「ナイトウォッチング」など、夜を楽しむメニューも盛りだくさん。然別湖が誇る圧倒的な星空の美しさは、空を近く感じる然別湖ならではの楽しみ方です。心躍る多彩な自然体験プログラムをプロのネイチャーガイドがご案内します。

### ○扇ヶ原展望台

が、然別湖の東側に位置する小さな湖「東雲（しのめ）湖」。鬱蒼とした大自然とは対照的に眺望が開けていて、その美しい姿で訪れる人を楽しませます。周囲の岩場斜面では、運が良ければ、あの可愛らしいナキウサギに会えることも。現地を案内してくれるネイチャーガイドの方々に色々なお話を聞くと、自然をより深く理解する良い機会になるのでオスメです。

### ○桜並木

春にオスメなのが然別川遊歩道での散歩です。遊歩道は然別川沿いに作られた5650mに及ぶ歩行者専用の道です。川のせせらぎを聴きながら、時には野鳥のさえずりに先導されることも。遊歩道沿いに植えられた18kmに渡るエゾヤマザクラの桜並木は例年5月中旬頃が見頃となる気持ちの良いスポットです。

### ○福原山荘

胸に響く感動がここに、緑に囲まれた美術館。広い空と緑のパノラマを望む美術館、開拓から現代までの軌跡を学べる郷土資料室、地元で作られた鹿追焼などから、鹿追の様々な表情を知ることができ、

火山と凍れ（しばれ）が育む命の物語  
平成25年鹿追町全域をエリアとするジオパークが誕生しました。かつて火を噴き、土深くまで凍った大地は、今豊かな自然と恵みで私たち生き物を育てています。変動する大地と生き物の物語。これまでにない視点で鹿追の大地を眺めてみましょう。

秋になると標高の高い大雪山国立公園は一気に紅葉で彩られます。紅や黄色、さらには黄金色も加わって絶景の紅葉を生み出します。国立公園に近い福原山荘では、見頃となる10月中旬に合せて毎年紅葉シーズンのみ庭園を一般公開。植えられた木々と周囲の自然が絶妙に混ざりあい、素晴らしい紅葉の庭園を演出します。

また、福原記念美術館では絵画や彫刻など150点を超えるアートに包まれ、庭園を臨む喫茶スペースでゆったりとした時間をお過ごしいただけます。

### ○然別湖

大雪山国立公園の中で、たった一つの自然の湖です。北海道にある湖では一番高い場所にあるので「天空の湖」と呼ばれることも。夏はカヌーやカヤックなどのアウトドアが盛んで、全面結氷する冬になると雪と氷で作られる幻の村「しかりべつ湖コタン」が出現します。然別湖では天望山が湖面に映り込み「くちびる」のように見えることでも有名です。

### ○とち鹿追ジオパーク

然別湖畔を取り巻く森や山には日本最古の永久凍土があつて、地質学的にもとても貴重な地域です。周辺は日本最大の風穴地帯と考

### ○東雲湖

北海道三大秘湖の一つ



北海道三大秘湖の一つ

鹿追町では、ネイチャーガイドが奥深い自然の「素晴らしさ」や「醍醐味」を様々なツールで案内してくれ、地球の不思議を感じてみましょう。



# 土幌町とは

土幌町は、十勝の北部に位置し、大雪山系から流れ出る音更川の両岸に広がる平坦な大地を中心として、周囲は大雪山系の東ヌプカウシヌプリを最高峰に、東部には丘陵が続いて居辺川が流れ、自然豊かで美しい景観が広がります。



6000人に対して牛を約70000頭飼育し、肉牛の飼育頭数は全国1位を誇っています。

町の名前になつてゐる「土幌」は、広大な土地を意味したアイヌ語の「シユウウオロ」が転訛して名付けられたものだと言われています。

明治31年(1898年)に岐阜県からの開拓団が最初の開墾を行ったのが土幌町のはじまりであり、大正10年(1921年)に音更村から分村して以来、令和3年(2021年)に「開町100周年」を迎えています。

## イベント情報

広大な畑でたくさん農作物を生産する農業のまちであり、特にじやがいもやその加工品の生産が盛んで、「東洋一のコンビナート」と称される大きな馬鈴しょ貯蔵施設などを有しています。また、人口約

・しほろつち夏祭り花火大会  
毎年7月の第一土曜日に開催される土幌町の一大イベントです。土幌町商工会



青年部が実行委員会を設立し、実施している夏イベントです。

当日は土幌町市街地の中心にあるコミュニティ広場が会場になり、縁日など場の売店が立ち並び多くの人で賑わいを見せます。メイנסテージでは、ライブ、ビンゴ大会、演奏会など見どころ満載のプログラムが用意されています。また、町長が自ら参加するお菓子まきも子供たちに変な人気となっています。フィナーレにはコミュニティ

火をすぐ近くで観ることが出来るのも魅力の一つと言えるでしょう。

## しほろ収穫祭

食料自給率1200%以上(2019年時点)の北海道十勝地方、その北部に位置する土幌町では、毎年10月に「しほろ収穫祭」が開催され、旬の地元産農作物を求めてたくさんの方で賑わいます。

イベントの目玉は、その年収穫したばかりのじやがいも・たまねぎの詰め放題！その他、肉牛を飼育して

広場横にある土幌小学校のグラウンドから「十勝で一番早い花火」が打ち上げられ、土幌町の夜空を彩ります。

町立の農業高校である土幌高校の生徒たちが作った加工品販売会も、毎回売り切れが続出する根強い人気となっております。秋の土幌町の味覚を丸ごと満喫できます。

# 町の取り組み

土幌町は「輝く未来へしほろ創生」をまちづくりのテーマに1. 子どもの笑顔が広がり学び、楽しむまち、2. 支え合いで、安心安全を共感するまち、3. 豊かな環境を守り、育てるまち、4. 安全で快適な暮らしの場があるまち、5. 活力やにぎわいを創造するまち、6. みんなで考え、行動するまち、を基本目標としてまちづくりに取り組んでいます。

## 情報通信基盤の整備

新型コロナウイルスの影響による生活スタイルの変化により、情報通信基盤の整備が急務であり、本町においても町内全域への光回線の整備及びGIGAスクール構想によるICT機

器等の整備を進めています。また、基幹産業である農業においては、農業従事者の高齢化や農業経営規模の拡大が進み、労働力不足が進む中、担い手の確保とともに今後必要不可欠となるスマート農業の推進として、GPSガイダンスシステムや自動操舵装置を装着したトラクターによる農作業の他、衛星画像やドローンを活用した施肥や収穫搾乳ロボットの導入などを行っています。

令和元年(2019年)4月、旧道の駅の建物を改修し整備した農畜産物加工研修施設「しほろキッチン」が完成しました。町の基幹産業である農業や食を通して世界に通じる人材の育成、新たな農業の展開、農畜産物加工、観光交流情報

の発信などを展開する町づくり会社の(株)CherRSに施設の指定管理業務を委託し、運営管理と地域資源である農畜産物を利用した食品の加工・製造の研究試作、技術研修を町民や地域内事業者を対象として実施し、そこから新たな商品や創業起業を創発しています。

「ふるさと納税(寄附)金は、「新しい時代を担うひとづくりに関する事業」として、中学校吹奏楽部の楽器購入、「子どもを育てやすい環境づくりに関する事業」として、町内産牛肉や野菜・土幌高校の製品など地場産食材を使用した献立を小中学校へ提供する「ふるさと給食」、「安全で安心できるまちづくりに関する事業」として「コミュニティバス運行」など9つの事業に活用しています。

令和元年(2019年)4月、旧道の駅の建物を改修し整備した農畜産物加工研修施設「しほろキッチン」が完成しました。町の基幹産業である農業や食を通して世界に通じる人材の育成、新たな農業の展開、農畜産物加工、観光交流情報

の発信などを展開する町づくり会社の(株)CherRSに施設の指定管理業務を委託し、運営管理と地域資源である農畜産物を利用した食品の加工・製造の研究試作、技術研修を町民や地域内事業者を対象として実施し、そこから新たな商品や創業起業を創発しています。

「ふるさと納税(寄附)金は、「新しい時代を担うひとづくりに関する事業」として、中学校吹奏楽部の楽器購入、「子どもを育てやすい環境づくりに関する事業」として、町内産牛肉や野菜・土幌高校の製品など地場産食材を使用した献立を小中学校へ提供する「ふるさと給食」、「安全で安心できるまちづくりに関する事業」として「コミュニティバス運行」など9つの事業に活用しています。

お礼の品は、土幌高校生徒が開発に携わった「キクチさんの畑で採れた」かぼちゃのピューレや「シーベリーソーダ」のほか、馬鈴薯・豆類など季節の農産物、「しほろ牛」など、土幌町の特産品をお届けいたします。



# 「じゃがいもと牛のまち 士幌町」

## 観光スポット

〇コリアしほろ



平成9年（1997年）に道の駅として認定され、帯広方面から北へ走る国道241号線沿いに「道の駅ピア21しほろ」があります。士幌市街の入口として、訪れたすべての人が「しほろらしさ」を十分に堪能できる魅力が

は、本格的なコーヒーを楽しめる「CAFE KANICHI 寛一」。しほろ牛を一頭買いし提供される料理が魅力的な「にじいる食堂」、士幌町内で農作物を生産している方々による「地場産品販売コーナー」、その他広々としたキッズコーナーや士幌町の旬の話題や情報が見られる大型サイネージもあり、家族そろって楽しめる観光スポットとして活躍しています。にじいる食堂では、しほろ牛と産直野菜をふんだんに使った「しほろ牛剣先ステーキ」や各種定食など充実したメニューで家族そろって士幌の味覚を楽しむことができます。しほろ牛ステーキは、本物の剣先スコップを用いて提供

【電話番号】  
01564・5・3940  
【営業時間】4月から10月9時から18時まで、11月から3月9時から17時まで  
にじいる食堂（11時から15時まで）【休日】年末年始

### 〇しほろ温泉プラザ緑風



平成18年（2006年）に道の駅として認定され、道道134号本別士幌線に「道の駅しほろ温泉プラザ緑風」があります。北海道

全ての部屋の窓からは、夏はパークゴルフ場の「緑」、冬はどこまでも続く「雪景色」を見る事ができます。併設された国際公認パークゴルフ場は全4コース36ホールで年齢問わず楽しむことができます。カラオケ施設、ゲームコーナー、宴会場など訪れた全てのお客様に楽しんでいただける施設となっています。地場産品展示販売コーナーでは、地元生産の生豆の量り売りや地場産品を購入することができます。軽食コーナーのハスカップサンデーは、地元の果樹園で収穫されたハスカップを使用したオリジナルソフトとなっており、人気商品となっています。



コテージは、全6棟（1

↑ いったいの道の駅です。

平成29年（2017年）に移転リニューアルオープンし、周辺景観になじむよう木材をふんだんに用いたマンサード型の屋根、建物内は広々とした空間で木材のぬくもりを感じられるように、こだわりをもった設計となっています。



令和元年（2019年）8月には、リニューアル以降の来場者が100万人を達成しました。施設内に

されているのが魅力です。



CAFE KANICHI 寛一

は、じゃがいもが特産の町ならではの地元企業と共同開発した究極のフライドポテトやしほろ牛100%のハンバーガー、士幌の季節の野菜を使ったピザなど、こだわりの本格的なコーヒーと一緒に楽しめます。地場産品コーナーでは、大人気のソフトクリームや地元の素材を加工した「じゃがいも大福」がお土産としてお勧めです。

屋外には、足湯も併設されており、ドライブの途中でもゆっくり休むことができる憩いの場として人気があります。各室総数23室（洋室3室、和室17室、和洋室1室、その他2室）で、バリアフリー対応の客室も多く安心してご利用することができます。また、メゾネットタイプの客室も備えており、ファミリーに大人気の部屋となっています。

【軽食コーナー】11時から21時まで（ラストオーダー20時半）【休日】無休  
【電話番号】  
01564・5・3630

### 〇士幌高原ヌプカの里

豊かな自然にかこまれた、山の中の隠れ家である「士幌高原ヌプカの里」。士幌市街から車で20分、ゆるやかな坂を気持ちよく走ってゆくと大雪山系の東ヌプカウシヌプが近づいてきます。その雄大さに心を奪

棟6名から11名まで宿泊可能）あり、バス・トイレ・キッチン・寝具などの設備を一通り備えておりますので、短期でも長期でも別荘感覚で滞在することができます。焼肉ハウスでは、ジンギスカンやしほろ牛を味わえます。また、ご飯を食べた後には、子供達に大人気の木製トリム遊具で遊ぶこともでき充実した時間を過ごすことができます。早朝、運が良ければ目の前に広がる雲海に出会えます。キャンプサイト場は1張1泊500円で利用できます。

【電話番号】

01564・5・4274

【営業時間】10時から16時

【休日】4月中旬から11月の毎週火曜日（祝日、ゴールデンウィーク、7月第3

週から8月除く）12月から

4月中旬は冬期休業

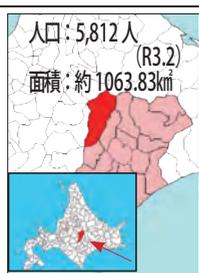


### 新得町とは

農業、林業、観光を基幹産業とし、小麦、じゃがいも、豆などの栽培が盛んです。特に、昼は暖かく夜は涼しい内陸性の気候を活かした高品質な「そば」が有名です。

### 町名の由来

アイヌ語で「シットク・ナイ」がなまったもので、「山の肩、または端」を意味しています。また、アイヌの人々がお酒を造るための漆器「シントコ」を作るための土地だったとも言われています。



### イベント情報

●「しんとく新そば祭り」  
毎年9月に開催される新得町最大のイベントです。その年に収穫された新そばを堪能することができ、町内のそば店舗等によるそばの提供やステージイベントなど、盛り沢山の内容で終日楽しめるお祭りです。(2020年は中止)



### 大雪まつり

毎年10月に開催される地元食材を味わえるイベントです。農産物の詰め放題や軽トラ市、お楽しみ抽選会

など、楽しい食のお祭りです。(2020年は中止)

### アクティビティ

トムラウシ山や佐幌岳のトレッキング、冬の風物詩「ワカサギ釣り」、サホロスキー場でのスキー・スノーボード、山道を下るダウンヒル、カヌーやラフティング、冬の森の中を巡る霞の滝スノーシュー等新得町の豊富な自然を活かしたアクティビティ体験が数多くあります。

### 乗馬体験



お子さんや初めて馬に乗る方も安心して体験できます。

### カヌー・ラフティング

十勝川では、スリリングなラフティングが、そして屈足湖ではのんびりとしたカヌーが楽しめます。



<ラフティング>

### サホロリゾートベア・マウンテン

ヒグマを自然に近い状態で観察できるヒグマのサファリパークです。



### その他のアクティビティ

- SUP (サップ)
- ゴルフ (サホロカントリークラブ)
- そば打ち体験
- ベリー狩り体験
- 野菜収穫体験
- 陶芸体験
- ステンドグラス体験
- 羊毛クラフト体験

### 酪農体験

牧場では、乳搾りや仔牛の哺乳体験、チーズやバター作り体験などができます。(2020年は体験の受け入れ中止)

### 町の取り組み

#### 地域おこし協力隊

新得町の「移住定住」の中でも、地域おこし協力隊は道内でもトップクラスの隊員数を誇っており町の魅力ある取り組みとなっております。実際に地域おこし協力隊の任期満了者が、「飲食店の経営」、「就農」、「協力隊員として活動していた事業所・企業での就職」など、移住定住の取組みとして少しずつ効果が出始めています。

また、地域おこし協力隊の魅力発信ツールとして「町公式YouTubeチャンネル」を開設し、PR動画を投稿したり、SNSで活動の様子を投稿するなど積極的に取り組んでいます。

地域おこし協力隊の仕事は都会ではなかなか経験す

ることのできないものがたくさんあります。「北海道で働くタイミングがない」、「新得町に住むイメージが湧かない」などの不安な点があると思います。そんな時、新得町には短期間で移住体験ができる「お試し暮らし住宅」や働きながら休暇を満喫する「ワーケーション」など、皆さんが住んだときのイメージや不安を明確にする取組みもあり、チャレンジするには申し分ない町です。一度訪れた時に新得町の素晴らしさや皆さんのやりたいこと、やりたかったことがきつと見つかるはずです。

現在も地域おこし協力隊員を募集しています。ご興味のある方は新得町ホームページをご覧ください。

#### ふるさと会

新得町にゆかりのある方々で構成されている団体として「東京ふるさと新得会」及び「札幌新得会」がそれぞれ東京近郊及び札幌を拠点として活動しています。会員相互の交流や親睦の他、広報活動や新得産物販活動など町外から新得町のPR活動を実施していただいています。

両団体において、新規会員の募集を行っていますのでご興味のある方はふるさと会担当課(☎0156・64・0522)までお問い合わせください。

新得町はみなさんの「やりたい」を応援します。ぜひ、新得町に足を運んでください。

#### ふるさと納税

大雪山系、日高山脈に囲まれた北海道のどまんなか新得町には、ラム肉ジンギスカン、エゾ鹿肉、和牛、高品質な十割そば、麦とそばのホップの発泡酒をはじめとするおいしい特産品がございます。

他にも、温泉やラフティングなどのアクティビティ体験も返礼品にありますので、ぜひご利用下さい。

寄付金の使い道としては、「森林、水資源等に関する事業」、「街並みの美化に関する事業」、「公共施設に関する事業」、「地域振興に関する事業」、「町長に委任する事業」、「歴史的な建物の保存」があります。



<お礼の品の一例>

詳細はホームページをご確認ください。

# 「北海道のどまんなか 新得町」 観光スポット

北海道のどまんなかには位置している新得町は、美しく雄々しい東大雪の山々と日高山脈に囲まれ、素晴らしい四季の風景、旬の食材、温泉、乗馬やラフティングなどの豊富な観光資源があります。



スノーボードだけでなく、夏も様々なアクティビティが楽しめ、通年型のリゾート施設になっています。

## 【名所：山、峠】

北海道の中央部、大雪山国立公園の中心に位置し、標高は2141mで日本百名山にも選定されています。昔から「カムイミンタラ」（神々の遊ぶ庭）として崇められ、広大な花畑や湖沼などの大自然が残されています。山頂部の溶岩台地はロックガーデンと呼ばれ、ナキ

### ○十勝岳

日本百名山に選定されている標高2077mの活火山です。秘奥の滝などの名所も多く、日本庭園を思わせる景観です。

ウサギの生息地にもなっています。



### ○オダツシュ山

標高1097mで、初めての人でも登山を十分に感じるこのできる山です。山頂では周囲の山々を望む事が出来るため、気持ちよい達成感が味わえます。秋には山ブドウ等の味覚も楽しめます。

### ○新得山

標高455mの小高い山で、神社境内があり、石仏が約200体安置されている参道（新四国八十八か所）を備えています。桜の季節は絶景です。冬にはスキー場が開かれます。

### ○望岳台

眺望抜群の展望台で、トムラウシ山をはじめとした大雪山の山岳パノラマを堪能できます。

## 【名所：滝】

### ○霞の滝

高さ約15mの幻想的な滝です。スノーシューを履いて冬の森の中を巡るトレッキングが人気です。

### ○狩勝峠

南富良野町と新得町の町境にある峠ですが、石狩と十勝の堺でもあります。昭和2年（1927年）に「日本新八景」に選ばれて有名になりました。標高644mの展望台からは広大な十勝平野が見渡せます。

## 【名所：湖】

### ○サホロ湖

佐幌ダムにより形成された人造湖で、周辺にはホテルや無料のキャンプ場などがあります。

また、冬の風物詩、サホロ湖でのワカサギ釣りは、例年1月中旬から2月下旬まで体験できます。



### ○屈足（くつたり）湖

屈足ダムによつて塞ぎ止められ、できた湖です。周辺施設も充実しており、宿泊施設や温泉、ラフティングやカヌー、収穫体験などができます。

### ○東大雪湖

十勝ダム建設によつて形成された人造湖で、大雪山国立公園内に位置します。湖の中央の大きな橋からトムラウシ温泉へと向かうことができます。

### ○青い滝

凍った湧水が折り重なり、幻想的な青い滝が出現します。1月中旬〜2月末が見頃です。

## 【名所：温泉】

### ○トムラウシ温泉

トムラウシ山の登山口の近くに位置し、「十勝の奥座敷」と呼ばれています。「国民宿舎東大雪荘」は秘湯の一軒宿です。



### ○オソウシ温泉

大雪山国立公園の山の中に一軒宿の鹿乃湯荘があります。露天風呂は国内でも有数の強アルカリ性です。

### ○くつたり温泉

屈足湖畔にあり、露天風呂から屈足湖を眺めることができます。周辺のアクティビティも充実しており、遊び疲れた体を優しく癒してくれます。

## 【その他名所】

### ○そばロード

狩勝峠から新得町市街をつなぐ38号線沿いは約1.5kmにわたつてそば畑が広がり、「そばロード」の愛称で親しまれています。7月



中旬から8月中旬にはそばの白い花が見頃を迎えます。

### ○狩勝高原園地梅園

標高が高く冷涼な場所にもかかわらず約1000本もの豊後梅が咲く梅園は珍しいため、「奇跡の梅園」と呼ばれています。5月下旬から6月上旬が見頃です。

昭和41年（1966年）に使命を終えた旧狩勝鉄道遺構群があり、鉄道の町として繁栄した形跡をみることができます。

### ○狩勝ポツポの道

約100年前に作られた旧狩勝線の散策路です。レンガアーチ橋やレンガの橋脚、旧駅の石組みホームなどの貴重な遺産を見ながら、また野草・葉草を見ながら散策できます。

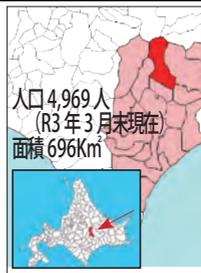


### ○ロケの町

TVや映画のロケ誘致活動にも取り組んでおり、2019年にはNHK連続テレビ小説「なつぞら」のロケ地としても活用されました。「柴田牧場への道」や「柴田家の玄関」等、当時のロケセットを見学することができます。

# 上士幌町とは

○上士幌町(かみしほろちよう)は、北海道十勝地方の北部に位置し自然豊かな町です。



など、だれもが生涯活躍できる取り組みを展開することにより、人口減少に歯止めをかける成果を得ることができています。

## ○歴史

1907年(明治40年)に安村治高丸をはじめとした移転開拓者たちが、上士幌地区の原野の各地を開拓していきましました。1926年(大正15年)に帯広駅から上士幌駅までの士幌線が開通したことにより、上士幌地区への入植者が増加していきましました。1929年(昭和4年)になると、士幌村(現在の士幌町)から分村する機運が高まり、1931年(昭和6年)4月1日に上士幌村が誕生しました。

誇り、年々生産規模も拡大しています。肉牛については、上士幌町で手間を惜しまず大切に育成し、4、5等級の認定を受けた「十勝ナイタイ和牛」や、和牛とホルスタインをかけた合わせ、天然のハーブを配合した飼料で育成された「十勝ハーブ牛」といったブランド牛が人気です。他にも貴重な国内生産のはちみつや、ジェラート・アイスクリーム・ミルクジャムといった乳製品など、多くの



特産品は「ふるさと納税」の返礼品として全国各地の皆様にも喜ばれています。

## ○ふるさと会



上士幌町の出身者や縁のある方々が構成されるふるさと会は、「上士幌町東京会」「帯広上士幌会」「札幌上士幌会」の3団体が活動しています。  
(ふるさと会の問い合わせ: 企画財政課 01564・2・4290)

# 町の取組み

## ○まちづくりの事業

上士幌町では、これまで移住定住の取り組みを継続的に進めており、平成17年(2005年)より、移住希望者が「お試し暮らし」ができる環境整備を始めました。これまでお試し暮らしにより上士幌町へ移住された方は、約200名にもなり、交流によるまちの活性化が創出されています。

ふるさと納税の取り組みにもいち早く着手しており、令和2年度で10万件以上の申込をいただいています。  
ふるさと納税の取組みを通じて、税を納めて関わり合いを持



つことができた方々を「応援人口」と捉え、これまで首都圏等で開催した「上士幌まるごと見本市」へ参加など、全国各地から上士幌町を応援してくれる方々の関係性を構築していきます。また、首都圏等の企業誘致を目的とし、テレワーク拠点となる「かみしほろシェアオフィス」を整備し、企業連携によるまちの発展を目指した取り組みも行っています。

成、人材センター事業による仕事・困りごと解決や健康ポイント事業による健康増進などの取り組みを展開しています。もう一つのまちづくり会社である「株式会社 Kachi(カーチ)」は、観光分野を担い、「道の駅かみしほろ」の運営をはじめ、体験型観光の開発やDMO・観光戦略など、地域のみなが関わる「観光地域づくり」を掲げ、取り組みを推進しています。

スピード感のあるまちづくりを行い、町民やまちを訪れる人へのサービス提供を充実させるため、町が出資して設立されたまちづくり会社が二つあります。ひとつは「株式会社 生涯活躍のまち かみしほろ」で、誰もが健康で充実した生活を送るために、医療・福祉の支えあいや介護人材の育

元年度に全地域に整備した光回線を基盤とし、Masづくりの事業展開は、よりによる移動利便性向上に向けた実証実験やスマート農業の推進、ドローンによる山岳救命救助コンテストなど捉え、これからも持続可能に向けて取り組みを進めていくことを目指しています。

## ○ふるさと納税(寄付)

皆様からいただいた寄付のおかげで、2016年から町内にある「認定こども園」の保育料・給食費を完全無料化し、高校生までの医療費の全額助成も実現しました。また、住民の健康増進のために歩くことや運動教室、健康診断受診などでポイントを貯めて、地域内商品券などに交換できる「上士幌町健康ポイント事業」の取り組みも実施しています。他にも、農林業、医療、福祉、介護、観光など、多くの用途に活用させていただいています。全国の皆様からのふるさと納税が後押しとなり、町が元気になっています。

(ふるさと納税のお申し込みは「コチラ」※↓)



# 「誰もが生涯活躍できる 北の元気まち 上士幌町」

## 観光ス・ポット

○道の駅かみしほろ

令和2年(2020年)に新しくオープンした「道の駅かみしほろ」は、帯広方面から阿寒・釧路方面と層雲峡・旭川方面に向かう国道の分岐点に位置しています。木のぬくもりと大きなガラス窓が特徴の解放的な空間で、十勝の食材をふんだんに使用したレストランやテイクアウトグルメ、スイーツでお客様をお迎えします。

売店では道の駅オリジナル商品の他、産直野菜や土産品も取り揃えています。夏季には熱気球の体験、搭乗やレンタサイクル、

ています。

牧場内には町内外から預かった約2000頭の牛が飼養されており、入口ゲートから標高800mまで駆け上がるワインディングロードはまさに絶景です。夏には牛たちがのんびりと草を食む牧歌的な光景も見られる十勝随一のスポットです。

ナイタイ高原牧場の頂上には、カフェ「ナイタイテラス」が営業しています。足元から天井まであるワイドな窓からは、ナイタイ高原牧場と十勝平野を見下ろすことができ、遠くには阿寒の山並みを眺めることができます。ナイタイテラスの名物として、牛をイメー

かりや  
すく学  
ぶこと  
ができ  
る博物  
資料館  
です。



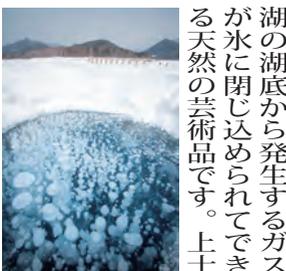
および観光資源として活躍し続けてくれています。中々川橋梁も結氷した湖から顔を出し、夏とは違った景観を見せられます。その他、湖上にいくつも出現する不思議な「キノコ氷」やパウダースノーが自慢のスキー場など、冬ならではの楽しみがたくさんあります。

員や知識豊富なスタッフが来館者の皆さまの疑問にお答えいたします。自然観察会や子ども向けのイベントも開催している他、観光案内やお土産販売、レンタサイクルの貸出も行っています。

○ぬかびら源泉郷



大雪  
山国立  
公園の  
豊かな  
自然に  
囲まれ  
た静か  
な温泉



先に紹介したタウシユベツ川橋梁も結氷した湖から顔をだし、夏とは違った景観を見せられます。その他、湖上にいくつも出現する不思議な「キノコ氷」やパウダースノーが自慢のスキー場など、冬ならではの楽しみがたくさんあります。



ドッグランなどのアクティビティのほか、観光案内や地方発送、ふるさと納税・移住定住・町内案内事業所の求人情報もインフォメーションでご案内します。

○北海道バルーンフェスティバル  
上士幌町では毎年8月に北海道バルーンフェスティバルを開催しています。(昨年度はコロナ情勢により中止)このイベントでは、全

める、「旅の目的地となる道の駅」がコンセプトです。



○ナイタイ高原牧場

ナイタイ高原牧場は1700haの広さをもつ日本一広い公共牧場です。「ナイタイ」とはアイヌ語

○ひがし大雪自然館  
大雪山国立公園をはじめ、北海道の自然を広く製



森林資源の開発に貢献した鉄道でした。昭和62年(1987年)に廃線となり、アーチ橋としての使命が終わった後も、産業遺産

街で、先に紹介したひがし大雪自然館やスキー場などの観光施設も充実しております。

○コンクリートアーチ橋梁群  
今は廃線となっている旧国鉄士幌線のコンクリートアーチ橋が国立公園内に今でも産業遺産として多数が残されています。

国鉄士幌線は十勝北十勝の農産物や森林資源の開発に貢献した鉄道でした。昭和62年(1987年)に廃線となり、アーチ橋としての使命が終わった後も、産業遺産

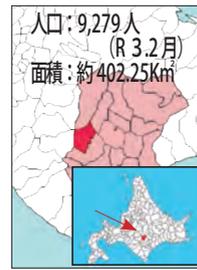


○町のキャラクター紹介  
ゆるキャラ(ほろんちゃん)  
上士幌町の空と大地に育まれた妖精。生まれたときは親指くらいだったのに、上士幌町のおいしいものをたくさん食べて、あつという間に熱気球のように大きく膨らんじやいました。

プロフィール  
生年月日…2008年12月1日生まれ  
生息地…北海道上士幌町  
種族…空と大地の妖精  
性別…女の子  
身長…その日の気分や体調によって、最大180cmまで大きくなるよ！  
体重…ヒミツ  
性格…恥ずかしがり屋  
特技…熱気球の操縦  
趣味…ぬかびら源泉郷の温泉巡り、自然散策  
好きな食べ物…十勝ナイタイ和牛、十勝ハーフ牛、その他上士幌町産の野菜や豆、ハチミツ、鹿肉、乳製品など  
夢…インターネットやテレビ・雑誌を通して上士幌町がもっと有名になること  
最近の悩み…美味しい物を食べすぎてしまうので、これからダイエットをしようかと…

# 清水町とは

アイヌ語で「ペケレ・ペツ」(明るい川)、「ペ・ペケレ・ペツ」(水・清い・川)から「ペケレペツ」と称されたこの地は、明るく清らかな流れという意味の「清水」に意訳されたといわれています。(諸説あり)



清水町は、新一万円の肖像画に決定をした渋沢栄一と渋沢栄一が中心となって設立した「十勝開墾合資会社」によって、開拓された町です。学校やお寺(現・寿光寺)、神社(現・大勝神社)の建設を支援し、入植者の教育や福祉などま

づくりの基礎を築かれました。当時建築したものが、今も牛舎として使われています。

町内には、2本の国道に加え、高速道路のインターチェンジや、札幌や旭川へ向かう都市間バスの停留所、さらに特急が停車するJRの駅もあり、交通アクセスに恵まれた道東の玄関口でもあります。帯広市までは車で約40分、札幌市までは車で約2時間、とち帯広空港までは車で約1時間と北海道の拠点として清水町は最適な町です。

清水町は清らかな水の恵を受け、生乳や肉用牛、小麦、豆類、てん菜、馬鈴薯のほか、近年はにんにくやアスパラの生産も盛んな町で、日高山脈の麓に広がる酪農と農業の町といえます。現在人口が約9千人

の町ですが、牛の数は約58700頭と人口の約7倍にもなる町なのです。

また、日本甜菜製糖(株)、プリマハム(株)北海道工場、ホクレン清水製糖工場など、それらを加工する農産加工も盛んです。

さらに、昭和12年ごろから地域に広がったアイスホッケーが盛んなまちです。昭和7年、御影小学校の教師だった加藤光也氏が池をスケートリンクにして子どもたちに教えたのが始まりといわれています。平成4年に町村では全国初めての屋内リンク「清水町アイスアリーナ」が建設され、清水高校アイスホッケー部は平成17年インターハ



アイスアリーナが建設され、清水高校アイスホッケー部は平成17年インターハ

イで準優勝、平成20年北海道高等学校アイスホッケー選手権大会で優勝を果たすなど、「アイスホッケーの町清水」を全国に発信しています。平成30年2月に韓国で開催された平昌オリンピックでは、小野将史選手と近藤真衣選手の2名が女子アイスホッケー日本代表に選出されました。清水町から冬季オリンピック選手が誕生したのは初めての快挙であり、「アイスホッケーのまち」として新たな歴史が刻まれました。

また、昭和55年に初めて交響曲第九演奏会が開催され、この演奏会をきっかけに「第九のまち清水」として、全国へその名が広く知られるようになりました。それ以来演奏会は5年ごと開催され、「第九」とい

う文化は根付き、子供た



ちはドイツ語で第九を歌えるようになりま。現在も、大人から子どもまで多くの町民が同じ歌を口ずさめる程、町民にとって馴染みの深い曲となっています。

7月…清流まつり、みかげふえすていばる、清水バルはしご酒  
8月…清水公園 Festival 盆踊り(清水・御影)  
9月…十勝清水肉・井まつり、秋まつり  
10月…とち清水にんにく肉まつり  
1月…新年水まつり、しみずしゃっこい祭り

# 町の取り組み

「まちに気づく、まちを築く」とち清水の想いをミライへ繋ぐまち

清水町第6期総合計画において掲げた将来像には、豊かな自然と、先人により培われた歴史や地域性豊かな資源を尊重し、郷土愛を醸成するとともに、人との絆や心のつながりがある地域コミュニティで住み続けたいと思えるまちを築いていくという想いが込められています。

総合計画が、町民にとつて身近な存在となるよう町民アンケートや無作為抽出による住民協議会、地域や各種団体とのまちづくり懇談会など多様な住民参加を通して共有できる計画として策定しました。

町民一人ひとりがまちづくりを自分ごと化し、「自分ができること」、「行政の役割」を考え、協働のまちづくりを推進していきます。

○移住・定住  
清水町では、町と清水町建設業協会がタッグを組み、官民一体となって家探しの様々相談に対応しています。清水町が制度上の手助けを、清水町建設業協会が制度上対応できないきめ細やかなサポートを提供しています。また、家を建てたい、中古住宅をリフォームしたいといった時には、様々な助成制度があります。また、清水町の生活を体験してみたいといった方には、「お試し暮らし住宅」をお貸しします。リーズナブルな価格設定と居心地の

良さが好評です。

○出産・子育て支援  
清水町では、まちぐるみで子育て世帯を支え、応援するまちづくりをしています。妊婦検診費用の無料化に加えて、妊産婦健診及び出産時の交通費を助成しています。また、ママ・パパ学級の実施、妊産婦相談新生児訪問、産後ケアなどを実施し健やかな出産及び育児ができるように支援を行っています。

他にもチャイルドシート、ベビーカー、ベビラックの無償貸し出しや多子世帯において第2子以降の保育料、保育所通所タクシーの無料化、18歳以下のお子様の医療費全額助成など経済的負担軽減を図っています。

また、町民の出産に感謝

し、子どもの健やかな成長と子育てを応援するために、出産祝い金を贈呈しています。

○ふるさと納税  
清水町におきましては、ふるさと納税による6つのまちづくり事業を設置し、皆様から寄せられました寄付を活用させていただきます。活力あるまちづくりを図っています。皆様の温かいご支援をお待ちしております。

- ①安全・安心に暮らしつづけるまち事業
- ②健やかで笑顔あふれるまち事業
- ③学びから生きる力を育むまち事業
- ④地域資源と産業を活かし挑戦するまち事業
- ⑤快適で安らぎを感じられる住みよいまち事業
- ⑥多様なつながりで協働するまち事業

○寄附者へのお礼  
ふるさと納税を頂戴した方への感謝と地場産品の発展のため、特産品贈呈を実施しております。  
詳しくは北海道清水町のHPをご覧ください。



# 「食のまち 十勝清水」

## 観光スポット

★十勝清水四景十ラズ1  
清水公園（パークゴルフ場）、日勝峠展望台、清水岡山展望台（岡山牧場内）、美蔓パノラマパーク、十勝千年の森から見える十勝平野ならではの景色は絶景です。



★清水公園  
春の桜をはじめ四季折々の景観を楽しむことができ、夏季期間はパークゴルフや池で手漕ぎボートまたはペダルボートを体験することができます。



★十勝千年の森  
豊かな自然環境にインスピレーションを喚起され作り上げた独創的な庭園です。2012年には、日本では初となる英国ガーデンドesignアワード協会（The Award）大賞を受賞しております。「世界で最も美しい庭」として北国の新たな庭園文化を世界に発信しています。

園内では、アースガーデンから千年の丘まで上る日

○ミニ馬の郷ムーミン牧場  
世界最小級の馬、体高50mの「スギタスパーミニホース」と触れ合えることができます。抱っこや散歩、ブラッシングなどの体験メニューがあり、珍しい動物を見ることが出来ます。

### ○美蔓めん羊牧場

日本には約17000頭の羊がいると言われておりますが、これはオーストラリアの羊飼いがひとりで飼う頭数です。そんなめずらしい羊たちと触れ合える牧場になっています。羊毛の糸紡ぎやフェルトづくり、春には毛刈りを体験することができます。

### 清水町の魅力

#### ○食の宝庫

清水町は豊かな自然を体験できるだけでなく、新鮮な食材が豊富な「食」の町



「十勝牛玉ステーキ丼」（写真上）と「牛とろ丼」（写真下）

### ○公式YouTubeチャンネル「うっちゃんねる」

清水町には清水町の鳥の「うぐいす」をモチーフにした「うっちゃん」がいます。清水町で盛んなアイスホッケーが得意で、趣味が品にもなっており、人気ナンバー1の商品です。



清水町では少子化対策の前後の出会いと結婚を応援するコイノヨカンプロジェクトというものを平成30年（2019年）から始めました。コイノヨカンプロジェクトとは、清水町役場職員のワーキングチームメンバーと町民の出会いをサポートがタッグを組み、出会いを求める单身男女の背中を後押しする活動です。单身男女が家でも職場でもない第3の場所（サードプレイス）で気軽に集いコミュニケーションを深める多数のイベントを展開中です。今まで開催したイベントでは、パークゴルフやアイスホッケー、焚火、バーベキューなど様々な出会いの場を提供しています。出会いのサポートだけでなく、お見合いイベントの企

★美蔓パノラマパーク  
十勝平野の農村風景のバックに日高山脈が連なっている景色が絶景です。特に5月初旬の残雪の山並みが美しく、より幻想的に見えます。



★日勝峠展望台  
峠の5合目にある展望台から眼下に広がる十勝平野を一望でき、秋は日高山脈の紅葉が綺麗です。

### ★清水岡山展望台

広大な牧場の中にあり、十勝平野を一望できるだけではなく、空気の澄んだ日は遠くの阿寒の山並みまで見えることもあります。また、岡山展望台は、

本初のセグウェイツアーを体験でき、森が育む澄んだ空気や雄大な土地の持つ雰囲気、十勝の自然の魅力を感じることが出来ます。また、チーズ作りを体験することができ、作ったチーズをその場でピザにして食べるなど楽しくておいしい体験メニューが揃っています。

### ○とかちしみずフルーツガーデン

さくらんぼをはじめ、すももやブルーベリー、りんごなど季節ごとにフルーツを味わうことができ、6月～10月の間フルーツ狩りを体験することが出来ます。保存料や添加物を一切使用しない果実本来の風味を楽しむことができるフルーツジャムも販売しています。

でもありません。地元産の食材を使った新・ご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ丼」は、新・ご当地グルメグランプリ北海道で3連覇を果たし、「牛とろ丼」は満腹博覧会で3年連続総合1位を獲得しました。清水町の「食」は全道・全国で大好評です。

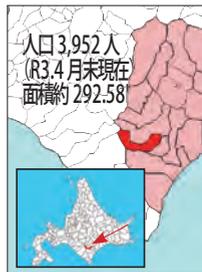
### 「十勝牛玉ステーキ丼」

は特産の十勝若牛と道内多数の生産量を誇る卵を使ったご当地グルメでふわふわのスクランブルエッグの上にカットステーキが豪快にのった丼です。土、えさ、育て方にこだわった牛肉だけを使用し繊細な職人技により、厳しい衛生環境の下で加工されている「牛とろ丼」は特徴的な舌の上でとろけるような食感から、「陸のまぐろ」ともいわれています。牛とろ丼はふるさと納税の返礼

第九の合唱、好きな食べ物「牛玉丼」のキャラクターです。YouTubeに「うっちゃんねる」という清水町公式チャンネルを開設しております。「うっちゃん」が清水町の魅力をたくさん紹介しています。今までに投稿された動画には、アイスホッケーの動画や先ほど紹介した十勝清水四景十1の紹介動画、渋沢栄一ゆかりの地の紹介動画、にんにくの収穫体験動画などをアップしています。令和2年（2020年）9月10日に、専用チャンネルを開設してから登録者数233人、視聴回数計6167回を超えています。「おうち時間」が増えた今こそ、パンフレットや町のホームページとはひと味違った魅力を発信したいと考えています。



# 中札内村とは



**○村の概要と歴史**  
中札内村は帯広市からおよそ28キロ、帯広空港から車で10分程度に位置しており、日高山脈を源とする「清流 札内川」の流域に広がる村です。

村の始まりは明治38年(1905年)で、道もない原野でカシワやミズナラが空を覆う厳しい自然と闘いながら開拓のクワが下ろされました。昭和22年(1947年)には大正村から分村し、中札内村が誕生しました。村名の語源はアイヌ語で、「乾いた川」

を意味する「サチナイ」とされています。

## ○産業

基幹産業は農業で、小麦・馬鈴薯・てん菜・豆類などの生産が盛んです。特に枝豆については近年国内や海外への出荷が増えており、関連商品が製造されるなど大人気の作物になっていきます。畜産も盛んで、生乳・鶏卵・鶏肉・豚肉生産などが行われています。観光産業にも力を入れており、観光の発信基地である道の駅はいつも人で賑わっています。

## ○特産品

若どり、卵、枝豆、チーズなどがあり、ふるさと納税の返礼品としても人気です。

## ○イベント情報

**核のある休日(5月上旬)**  
約1000本のエゾヤマザクラが咲き誇る桜六花公園で、音楽や十勝のグルメを楽しむことができます。イベントです。

**やまべ放流祭(7月1週目)**  
札内川園地で開催されており、ステージイベント、飲食ブース、やまべ放流など様々な催しが行われます。放流されたやまべを手づかまえて持つと、その場で調理してもらい、やまべの塩焼きを食べることができます。

## ○グルメファン(7月中旬)

美味しい空気と食べ物を楽しみながら、美しい風景の中をサイクリングできるイベントです。初心者から本格的に取り組みたい方まで対応できるように複数のコースが設定されており、途中にあるエイドステーション(補給所)ではそれぞれ地元『食』を堪能できます。前夜祭や参加者同士の交流企画などあります。

**道の駅フェア(10月1週目)**  
道の駅なかさつないで「秋の味覚を楽しむ」をテーマに、収穫したての野菜の詰め放題やとれたて野菜の味覚市などが催され、中札内村の旬の味覚をたっぷり味わうことができます。イベントです。ガラポン抽選会、こども縁日などもあります。



**・スノーアートヴィレッジ**  
なかさつない(2月中旬) 足を使って一歩一歩雪面に描かれた巨大スノーアートを楽しむことができます。イベントです。スノーシュー体験や冬のアクティビティなどもあり、冬の中札内の楽しさを味わい尽くすことができます。

※新型コロナウイルスの影響により、一部内容が変更になる可能性があります。お問い合わせ先  
中札内村観光協会  
0155・68・3390

# 村の取組み

## 「健康で文化的

美しい村」を目指して

・健康増進を図る「七色献立健康プロジェクト」  
ウォーキングや健康診断の受診など、住民が行う健康づくりの取組に対する健康ポイントの付与や、地場産野菜で作るレシピの考案、各種セミナーの開催などを行っています。

・文化事業を推進する「音まちプロジェクト」  
音楽を通じたまちづくりを推進するため、様々な音楽団体やアーティストとのコラボレーション企画やコンサートなどを行っています。村の豊かな芸術文化の醸成や人材育成につなが

※QRコードをクリックもしくは読み込みをお願いします。



※クラクラプロジェクト  
まちづくり  
動画

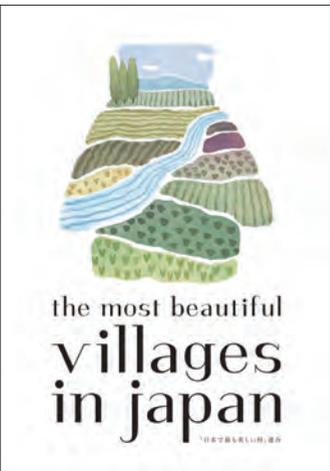
会での活動など、村の美しい景観を守っていくために様々な取組を行っています。

## ○ふるさと会

東京・中札内ふるさと会  
札幌・中札内ふるさと会

帯広・中札内会  
【お問合せ先】  
総務課

0155・67・24  
91



「日本で最も美しい村」連合

- ふるさと納税(寄附)  
中札内村ではふるさと納税でいただいた皆様からの寄付を次のように活用しています。  
1「文化や芸術・教育の振興のために」  
活用事業例「音まちプロジェクト」/通学費等の助成/山村留学 など
- 2「豊かな自然環境や美しい景観の維持保全のために」  
活用事業例「日本で最も美しい村」づくりの活動/桜六花公園の整備/花づくりの活動 など
- 3「誰もが安心して住み続けられるまちづくりのために」  
活用事業例 保育料の無料化/高齢者民間バス運賃の助成/診療所の医療機器の更新 など

○寄附者への御礼  
日頃より中札内村を応援いただき誠にありがとうございます。皆様からの支援を活用し、本村の様々な事業を推進することができました。今後もさらに魅力的なまちづくりを進めてまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。



返礼品一例 豚肉のスライス

# 中札内村

## 「花と緑とアートの村 中札内村」

### 観光スポット

○道の駅なかさつない

「じゃらん道の駅ランキング」で上位にランクインしたこともある、観光客に大人気のスポットです。



新鮮な地元食材を使ったグルメや名産品がいっぱいで、食べ歩きができます。毎年夏に登場する茹でたてのスイートコーンは絶品で行列ができるほど！他にも、お土産の販売店やレストラン、そば店も併設されています。近くには旧開拓農家住宅を復元した「開拓記念館」や、架空人物「豆畑拓男（まめはた たくお）」の自宅兼研究所の設定で豆に関するさまざまな資料を展示している「豆

資料館（ビーンズ邸）」などもあり、見どころ満載です。今年度は一部をリニューアルし、村の観光情報をより広く発信できるように整備する予定です。中札内村へお越しの際は、ぜひ最初に立ち寄っていただきたいスポットです。

豊富な自然を遊ぶことができます。日高山脈山岳センターでは日高山脈の自然や動植物を紹介する展示コーナーや休憩コーナー、シャワー室などもあり、ご自由におくつろぎいただけます。また、登山に関する情報交換の場にもなっています。

豊富で、自然を遊ぶことができます。日高山脈山岳センターでは日高山脈の自然や動植物を紹介する展示コーナーや休憩コーナー、シャワー室などもあり、ご自由におくつろぎいただけます。また、登山に関する情報交換の場にもなっています。

豊富で、自然を遊ぶことができます。日高山脈山岳センターでは日高山脈の自然や動植物を紹介する展示コーナーや休憩コーナー、シャワー室などもあり、ご自由におくつろぎいただけます。また、登山に関する情報交換の場にもなっています。

豊富で、自然を遊ぶことができます。日高山脈山岳センターでは日高山脈の自然や動植物を紹介する展示コーナーや休憩コーナー、シャワー室などもあり、ご自由におくつろぎいただけます。また、登山に関する情報交換の場にもなっています。

豊富で、自然を遊ぶことができます。日高山脈山岳センターでは日高山脈の自然や動植物を紹介する展示コーナーや休憩コーナー、シャワー室などもあり、ご自由におくつろぎいただけます。また、登山に関する情報交換の場にもなっています。

豊富で、自然を遊ぶことができます。日高山脈山岳センターでは日高山脈の自然や動植物を紹介する展示コーナーや休憩コーナー、シャワー室などもあり、ご自由におくつろぎいただけます。また、登山に関する情報交換の場にもなっています。

リーや彫刻のモニュメントなどが点在し、アートの世界を感じることもできます。併設された施設には、お菓子など六花亭商品を購入できる売店とカフェがあります。

2020年には公益社団法人企業メセナ協議会により、芸術文化を通して豊かな社会づくりを推進する事業として「THIS IS MECENAT」に認定されました。

### ○十勝野フロマージュ

十勝野フロマージュはチーズとアイスクリームを販売するお店です。カマンベール、ブリーなどの白カビタイプチーズを中心に、ラクレット、クリームチーズなどの各種ナチュラルチーズやバター、地元素材を生かしたアイスクリー

ム、チーズケーキなどを製造・販売しています。



オールジャパンナチユールチーズコンテストで何度も入賞するほどの実力を持っており、JAL国際線機内食に採用されたことや洞爺湖サミットでの提供品に選ばれたことも。

アイスクリームの1番人気はカマンベールチーズ味で、中札内産の高品質な生乳を用いて製造された濃厚な味わいを楽しめます。

○グランピングリゾート フェーリエンドルフ

十勝を代表とする大型グランドホテルの自家製ラクレットをとり、2021年4月にリニューアルオープンしているニューアルオープンしていただいた「ラクレットカフェ」です。施設名はドイツ語「フェー」や、動物とのふれあいやショーを行っている「ファームランド」なども併設されています。

様がゆったりとお休みできるような環境が整った施設です。

### ○柴田農園



柴田農園では、とうもろこしの収穫シーズン中に（7月中旬頃）収穫体験ができます。農園オーナーからとうもろこしのもぎ取り方について簡単な説明を受けた後に実際に収穫し、試食することができます。新鮮なとうもろこしは生で食べても皮が柔らかく、とても甘くジュースでもとて美味しくいただけます。ぜひとれたてのスイートコーンの美味しさを味わってください。

### ○一本山展望タワー

約10万坪もの敷地面積を持ち自然あふれるこの場所です。都会では味わうことができない「非日常」を体験することができます。ドイツ風コテージには専用テラスがあり、屋根付きの広いウッドデッキとBBQセットが全棟に配備されています。材質にこだわったベッドやダイニングキッチン、本格的な暖炉も設置されており、贅沢な時間を過ごすことができます。

自然豊かな西札内地区の一本山にある展望タワーで、その頂上からは日高山脈や十勝平野の大パノラマを望むことができます。山脈や十勝平野の大パノラマを望むことができます。山脈や十勝平野の大パノラマを望むことができます。山脈や十勝平野の大パノラマを望むことができます。

### ○花畑牧場

タレントの田中義剛さんが牧場長を務める、全国的にも有名な観光牧場です。「花畑牧場ショップ」では限定商品の他、すべての花畑牧場の商品を購入すること

### ○村のキャラクター紹介

村のマスコットキャラクターの「ピータン」は村特産品のため「豆・いもを組み合わせ」てできています。手に村の花のスズランを持ち、シルクハットをかぶっています。ピヨピヨひよこの「ピー」と中札内村の景勝地ピヨウタンの滝の「タン」を組み合わせて「ピータン」という愛称で親しまれており、村のいたるところで見つけることができます。



# 中札内村

# 芽室町とは

「根室じゃないよ、芽室だよ。」

時には、根室市と間違われる芽室町は、十勝平野のほぼ中央に位置し、十勝の中心都市・帯広市に隣接した農業王国です。

芽室とは、アイヌ語で「メム・オロ」が転化したもので、「川の源の泉や池から流れてくる川」という意味です。その語源のとおり、十勝川、芽室川、美生川などに囲まれ、肥沃な大地には、小麦、じゃがいも、小



- ① 新嵐山展望台からの風景
- ② 芽室公園と柏の木
- ③ 花萼蒲園
- ④ 10線防風林
- ⑤ 松久園の母屋
- ⑥ 芽室町発祥のゲートポール

豆、ビートなどの作物が広がる畑で育ち、スイートコーンの生産量、10線防風林の長さは、共に日本一を誇ります。

○芽室遺産  
次世代に引き継ぎたい「芽室の宝物」を2001年に芽室遺産に選定しました。芽室町の豊かな自然や町民によって築き上げられてきた文化や産業、生活などの様々な価値の中で、次世代に引き継ぎたい有形・無形の財産の中から町民により6点が選定されました。

○イベント・アクティビティ  
イ  
・氷灯夜  
毎年2月上旬に、芽室公園には、約3000個のアイスキャンデルが灯され、柔らかなあかりに包まれ、幻想的な空間が創り出されます。冬の空に火花が打ちあがり、イベントは最高潮を迎えます。

・サイクルツーリズム  
「めむろ散歩(さんそう)」をコンセプトに、基幹産業である農業や自然の中で生き生きと暮らす人々の日常生活など「芽室らしさ」を自転車を使って五感で感じてもらおうとアクティビティです。



※このほか、例年は、めむろトポール大会などが開催されるまちなかマルシェ、華音れませんが、新型コロナウイルス感染症の関係で開催はスタ、発祥の地杯全国ゲート流動的となっています。

# 町の取り組み

## ○魅力創造課の新設

令和3年4月、町の機構改革により、魅力創造課が新設されました。住民活動や町内会活性化、ふるさと会、国際交流・市町村間交流、人材育成などの町内向きの政策を担う魅力創造係と、移住・定住、観光物産振興、ふるさと納税、新嵐山スカイパーク再生など、町外向きの政策を担う魅力発信係の2係で構成されています。内向きには、郷土愛の醸成、外向きには関係人口の創出など、両政策を運動させ、シティープロモーションを展開していきます。町民の皆さん方と一緒に、芽室町の魅力を創造し、発信していきます。

## ○ふるさと会

東京都、札幌市、旭川市、大樹町に、それぞれふるさと会があり、会員数は総数約400人。各ふるさと会の総会には芽室町から町長ほか関係者が出席し、まちの近況報告や思い出話に花を咲かせています。会員の高齢化などの課題もあり、興味のある方は、是非新規会員になつていただければと思います。

## ○サテライトオフィス推進

大自然と美味しい食材に囲まれ、素敵な景観の中、リフレッシュしながら仕事をしてみませんか。芽室町では、今年度、内閣府の事業採択を受け、サテライトオフィスを推進していきます。町外の企業の方々に来ていただき、通常とは違う

仕事環境を提供するとともに、滞在中には芽室町の産業・観光・人に触れる機会を創出します。サテライトオフィス、ワーケーションに興味のある方は、是非ご一報ください。全力でおもてなしいたします。



いずれも問い合わせは、芽室町魅力創造課  
TEL 0155-62-9736  
FAX 0155-62-4599

HP [m-hasshin@memuro.net](http://m-hasshin@memuro.net)  
HP [memuro.net](http://memuro.net)

## ○ふるさと納税

農業王国の、チーズ、スイートコーン、じゃがいも、枝豆などのほか、めむろみらい牛、めむろ産ケンポロー豚、さらには絵画などの返礼品が揃っています。ふるさと納税は、まちづくりのために大切に使わせていただきます。

紙面を読み、少しでも芽室町に興味を抱き「芽室町 ふるさと納税」で検索していただくと幸いです。

## ○企業版ふるさと納税

企業さんの用途希望に応じて、町の課題解決や可能性を高めていくために活用しますので、企業版をお考えの場合は、ご連絡ください。

# 「芽室町 只今、魅力創造中」 観光スポット

○新嵐山スカイパーク

「リユラルイン」農村地帯の宿」をコンセプトに、本格的な改革を進めている新嵐山スカイパークの魅力が日に日に増えています。

青空と緑に囲まれた最高のロケーションの中、約88畝の広大な敷地内には、BBQテラス、ハンモックフォレスト、ファットバイク、四輪バギー、パークゴルフコース、焚き火ラウンジ、ドッグランなど多彩なアクティビティが充実しています。

キャンピングゾーンは、フリーサイト（ファミリ

ー限定ゾーンあり）のほか、手ぶらで楽しめるワンデイキャンプや、少し贅沢な時間を堪能いただくためのグランピングエリアと、利用者の楽しみ方に合わせたゾーニング

となっております。



で利用できます。レストランメニューもリニューアルが進み、芽室産食材の魅力を引き出す「めむろバーガー」や「ピザ」「パスタ」など、魅力的なメニューが

並びます。

夜には頭上に、満点の星空が広がり、焚き火ラウンジで、火を眺めながらゆっくりと家族・友人との語り合いの時間を楽しむことができます。

冬は、スノーフィールドに一変します。スキー場でのスキー・スノーボードをメインに、雪山を下るファットバイク、ダウンヒルや雪上バギー、そしてスキー場の麓での「冬キャンプ」は大好評です。

○展望台

新嵐山スカイパーク展望台は、標高340mの山頂に設置されており、車、徒歩、どちらでも行くことが

可能です。そこから見る景観は「THE十勝」。見事に広がる十勝平野には、パッチワークのように畑が組み合わさり、防風林や川がアクセントになり、農業王国が生み出す農村風景に心が洗われます。

日高山脈を背にしたアウトドアの拠点として、四季により魅力を変えながら、遊ぶ人のニーズに合わせた多彩なメニューは、自然に覆われた広大な敷地がおりなす、芽室町ならではのフィールドです。隣接するエリアには、めむろワイナリー（醸造所もオープンし、変わりつつある新嵐山エリアは、今注目の魅力創造基地になっています。



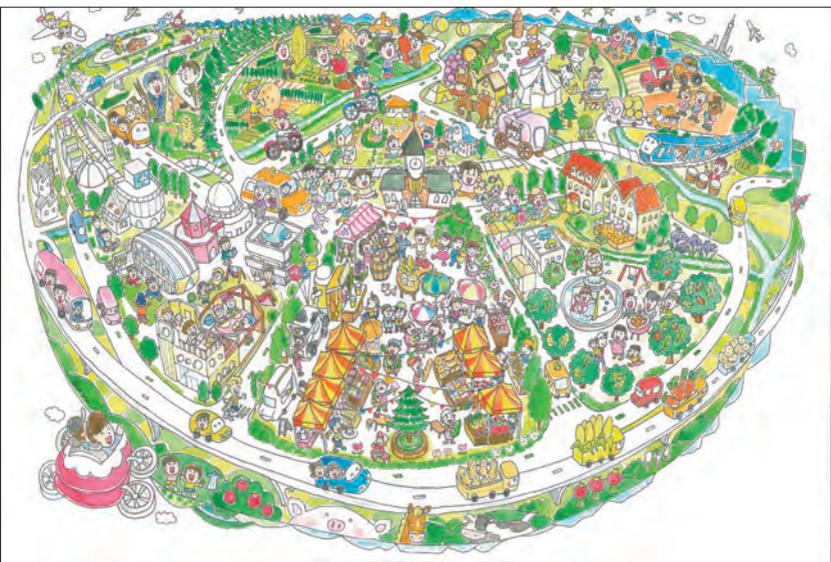
芽室町の魅力的なヒト・モノ・コトなどを洗い出し、それらを見える化し、20年後の芽室町のまちの未来図（理想像）を絵で表現しました。

芽室町にはこれといった有名なランドマークはありません、しかし元気な笑顔溢れる住民たちのハートマークがたくさんあります。その「人」を中心とした町の魅力づくり、どこに暮らしても安心安全に暮らせるまちづくり、町外の人たちとの交流をおした関係人口づくり実現などをメインにビジョンマップは完成しました。

このビジョンマップは、令和3年度に完成する芽室町シテイプロモーション計画のメインイメージ図として活用され、難しい文章で表現ではなく、イラストりを進め、住民自治を具現化されたまちの未来図で、現します。

## ビジョンマップ を実現させる

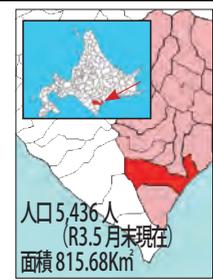
令和2年度、町民12人（うち高校生3人）、職員10人、地域おこし協力隊員6人、合計28人が「芽室魅力発見隊」を結成しました。全4回のワークショップ、延べ18時間をかけ、芽室町のビジョンマップ（まちの未来図）を完成させました。



# 大樹町とは

概要

大樹町は十勝平野の南部、南十勝地域の中央に位置し、西は日高山脈、東は太平洋に面し、町の中央を歴舟川が流れています。面積は815.68km<sup>2</sup>ですが、その7割は国有林を中心とする山林で、可住地面積は3割となっています。気候は大陸型で、四季を通じて快晴の日が多く、降水量は1100mm程度、降雪量も多くありませんが、年間の気温差が大きく、特に12月から2月の厳寒期には氷点下20度を下回ります。また、



春から夏にかけては、海霧の発生により気温の上がない日が見られます。

## 沿革

明治19年(1886年)に十勝開拓の祖依田勉三率いる晩成社が牧畜業を開始し、その後、主に本州からの入植者により町内各地で本格的な開拓が始まりました。昭和3年(1928年)に現在の広尾町から大樹村として分村し、昭和26年に町制が施行され現在に至っています。

## 宇宙への夢を育むまち

大樹町では将来的な航空宇宙産業基地誘致を目的に、延長1000m、幅30mの舗装滑走路を備えた「多目的航空公園」を整備しており、各種航空宇宙関連実験やスカイスポーツの



平成16年(2004年)には国のミレニアムプロジェクト、成層圏プラットフォーム計画による68mの無人飛行船を上空4000mの定点に滞空させる実験が行われ、この際に整備された飛行管制塔、飛行船格納庫などの実験施設が整備され、現在も各種実験に利用されています。

フィールドとして利用されています。

平成20年(2008年)からは、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所が行う大気球観測実験が実施されています。その他にも、民間・大学などによる様々な航空宇宙関連の実験が行われ、令和元年(2019年)にはインターステラテクノロジズ(株)による小型観測ロケット「宇宙品質」にシフト。MO3号機が民間企業が行うロケット打上げ実験として国内初となる宇宙空間到達を達成し、話題になりました。

なお、大樹町役場には「航空宇宙推進室」が設置されており、将来的には大樹町で航空宇宙産業が育つよう宇宙推進事業に力を入れています。

「誰でも手軽に楽しくスポーツを」との願いで、昭和47年(1972年)に大樹町でミニバレーが考案された。1チーム4人でバドミントンコートにネットを張り、オリジナルボールを使い1セット11点の3セットマッチのゲームを行います。ソフトバレーや類似のニュースポーツの元祖といえます。今や全国に普及し、北海道から沖縄まで「であい、ふれあい、わかちあい」のミニバレーネットワークが結ばれています。ジャパンカップ、全国フエスティバルなど、本格的なスポーツ大会まで開催されているほか、最近ではロシアのサハリン州立大学の紹介・実技指導など世界的な広がりも見せています。

# 町の取組み

「暮らしと明日を彩る清流の里」コスモスのまち大樹」をまちづくりのテーマとし、1.「やすらぎを生みだす」人と自然にやさしいまちづくり、2.「健やかに暮らす」安心と支えあいのまちづくり、3.「人が輝く」夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり、4.「活力を高める」資源を豊かさにつなげるまちづくり、5.「明日につながる」交流と協働を進めるまちづくりの5つを基本目標に設定し、取組みを進めています。

便性の高い生活環境を整備します。大樹町らしい環境共生型のライフスタイルを確立し、住み良さが実感できるまちづくりを進めます。

2.「健やかに暮らす」安心と支えあいのまちづくり  
支えを必要とする人、支える人が、ともに健やかに安心して暮らせる社会環境を整備します。保健、福祉、医療をいっそう充実させ、子どもから高齢者まで心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。



歴舟川清流まつりの様子

3.「人が輝く」夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり  
住民一人ひとりが日常のなかで、豊かな心と郷土愛を育み、夢と生きがいのもてる地域社会をつくりまします。学校教育や文化・スポーツ活動、交流を通じて、自らの意思で自己の充実や生活の向上のために、生涯にわたって学習し、課題に取り組む、学んだ成果を地域で生かせる環境づくりを推進していきます。

4.「活力を高める」資源を豊かさにつなげるまちづくり  
まちの自然や風土、歴史を生かした地域に根ざした産業の振興や新たな産業の芽を育てることにより、雇用を創出し、地域経済の活

力を高めます。産業間の連携を深め、広がりのある地域産業が育つまちづくりを進めます。

5.「明日につながる」交流と協働を進めるまちづくり  
住民や地域、企業等と行政の信頼を深めるとともに、今まで培ってきた交流

1.「やすらぎを生みだす」人と自然にやさしいまちづくり  
大切な財産である豊かな自然を守りながら、安全・安心な生活空間と快適で利

3.「人が輝く」夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり  
住民一人ひとりが日常のなかで、豊かな心と郷土愛を育み、夢と生きがいのもてる地域社会をつくりまします。学校教育や文化・スポーツ

4.「活力を高める」資源を豊かさにつなげるまちづくり  
まちの自然や風土、歴史を生かした地域に根ざした産業の振興や新たな産業の芽を育てることにより、雇用を創出し、地域経済の活

○ふるさと納税(寄附)  
皆様からの心あたたまるご寄附は、大樹町のまちづくりに活かすため「魅力あるまちづくりの推進に関する事業」、「航空宇宙産業基地の誘致促進に関する事業」、「農林水産業の振興に関する事業」、「地域振興の増進に関する事業」、「晩成温泉施設の整備に関する事業」の6つの事業に活用させていただきます。

# 「大樹(こ)から宇宙(そら)へ大樹町」

## 観光スポット

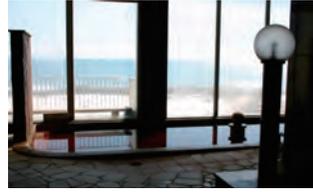
○大樹町宇宙交流センター SORA



めたパネルのほか、実験の様子を視聴できる映像コーナーを設置しています。

### ○晩成温泉

十勝で唯一海を眺めながら入浴できる温泉です。晩成温泉のお湯は、国内でも有数の濃度を誇る「ヨード泉」となっています。ヨードは人体に必須のミネラルであると同時に様々な性質を持っており、うがい薬や栄養補助食品、抗菌剤など様々な分野で幅広く活用されています。



大樹町では30年ほど前から「宇宙のまちづく

の海岸湖です。周辺には原生花園が広がり、6月から9月には色とりどりの花が咲き誇ります。冬期間はワカサギ釣りができ、多くの釣り人が訪れています。また、湖岸南北2kmには北海道指定文化財指定の「十勝ホロカヤントー」竪穴群遺跡があります。およそ千年前の擦文文化期を主体とする竪穴住居跡の群落で、出土品は擦文文化土器が中心です。

### ○晩成社史跡

「十勝開拓の祖」とよばれる依田勉三率いる晩成社は、明治16年(1883年)に現在の帯広市へ入植し、3年後の明治19年(1886年)に大樹町生花晩成地区で晩成社当縁(どうべり)牧場を開設し、牧畜業を始めました。晩成社は原生林を切り開き、不

### ○歴舟川

日高山脈に源をもつ歴舟川は、昭和62年(1987年)以降12回、環境省の水質調査により「日本一の清流」と認められ、平成8年には国土省から水の郷百選にも選ばれました。日方川ともよばれ、昔から砂金掘りが行われていることから『宝の川』と称されることからもあります。延長64.7km、中流域でヌビナイ川、中



樹町の春の風物詩とも言える、大樹町の幅員が広い泳がせ川

### ○歴舟川清流まつり

大樹町内を流れる歴舟川を環境庁が「日本一きれ

り」を進めており、これまで数多くの視察を受け入れてきました。より多くの方に、町で行われた航空宇宙に関する様々な実験や取り組みをもっと気軽に知っていただくため、平成26年(2014年)5月に展示施設としてオープンした「SORA」を、平成30年(2018年)4月にリニューアルオープンしました。新たに施設の南側に集客室を増築したことで、1学級40人ほどの子どもたちがモデルロケット等の製作体験などができるようになりまし。また、SORAに展示している展示品の多くは、大樹町で実験を実施している関係団体から提供いただいています。過去に打ち上げた小型ロケットの実機をはじめ、実験の概要をまと

います。温泉成分としては、抗菌効果や保温効果が高く、湯冷めしにくいといわれています。海が見える浴槽から、国内でも非常に珍しい泉質をお楽しみください。

### ○オйкаマナイト

晩成地区にある生花湖は、オйкаマナイト(生花苗沼)ともよばれる周囲12kmの海跡湖で、原生花園(ハマナスの群落・エゾキスゲ・ガンコウランなど)に囲まれた緑豊かな湖です。夏にはカヌー、ローボート、マリッジットなどのマリンスポーツが楽しめます。カヌーやヨットの少年団活動にも利用されており、希望される団体には有料で指導を行っています。

### ○カムイコタン公園キャンプ場

カムイコタン公園キャンプ場は、奇岩奇勝の地。カムイコタンにあり。清流と森に囲まれたキャンプサイトはオートキャンプ場スタイルになっており、家族やグループなどで野外キャンプの醍醐味を楽しめます。

また、キャンプ場の下段サイトに接する歴舟川は、

### ○町のキャラクター紹介

#### ・コスビー

大樹町の町花である「コスモス」の妖精で、語尾に「び」をつける癖があります。好きな場所は晩成温泉で、好きな食べ物は大樹チーズサーモン丼です。将来の夢は大樹町のロケットに乗り宇宙へ行くことです。町内外のイベントに出演し大樹町のPR活動に励んでいます。



# 更別村とは

## 概要

更別村は農家一戸当たりの経営面積が日本トップクラスの約7割が耕地の代表的な農業地帯です。畑作はジャガイモ、小麦、豆類、ビートの畑作物4品に加え、スイートコーン、アスパラガス、キャベツなどの野菜も栽培しています。十勝の空の玄関口、とかち帯広空港には車で約10分とアクセスが良く、羽田まではフライトで1時間半です。十勝で最も近い村で、首都圏から日帰りもできます。



## 特産品

つぶつぶでんぷん、更別農高カレール、イオンたまご、どんぐりむらのポテトチップス、すもものチーズケーキ、まるよロール(ロールケーキ)、酪佳(チーズ)など



選会、ゲーム企画など、子供から大人まで楽しめる内容です。



・全日本ママチャリ耐久レース



十勝スピードウェイを会場に全国から参加者が集うママチャリの自転車レースです。チームのメンバーで交代しながら、サーキットのコースを走ります。ゆんかいなコスチュームやパフォーマンスで会場を沸かせるライダーにも注目です。

・さらべつ大収穫祭



産物やご当地メニューの販売、ステーションなど盛りだくさんの内容です。  
・ときめきイルミネーション  
青や白、黄色の光のイルミネーションが農村公園周辺や村内の各店舗を温かく、華やかに彩ります。初日には点灯式を実施し、来場者とともにカウントダウンをして、一斉に点灯させます。



# 町の取り組み

## ○第6期更別村総合計画

第6期更別村総合計画で「住みたい、住み続けたいまち」ともにつくろう。みんなの夢大地」をテーマとしたまちづくりの力を入れており、医療費や住宅購入などの各種助成制度、子育て支援などが充実しています。

## ・新コム二団地の分譲受付中

新コム二団地は帯広市と広尾町を結ぶ国道236号線上に隣接し、市街中心部から徒歩5分程度です。近隣には診療所、福祉施設、福祉の里温泉などがあります。

・「スーパーシティ」構想の実現に向けて

更別村ではスーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に向け、提案書を提出しました。更別村「SUPER VILLAGE」構想は、100村」を実現します。



## ○ふるさと納税(寄附)

更別村では地域を応援・貢献したいという納税者の思いを活かす仕組みとして導入された制度として、「更別村寄付条例制度」(ふるさと納税制度)があります。この制度を通じて、更別村に想いを持ち、新しい村づくりに共感いただけの人たちからの寄付を、『さらべつふるさと応援寄付金』として募っています。

・掲載サイト  
ふるさとチョイス、さとふる、楽天ふるさと納税

・主な返礼品  
さらべつチーズ工房チーズセット、さらべつ和牛セット、どんぐりむらのポテトチップス、すももチーズケーキとスイーツセットなど

「空港10分広がる牧歌の里 更別村」

観光スポット

更別村は雄大な日高山脈を一望できる農業地帯で、春のスモモの花、夏のジャガイモ畑、秋の小麦畑、冬の幻想的な霧氷と四季ごとに美しい風景が楽しめます。大型遊具を備えた公園や、サーキット場、釣り堀など観光スポットも魅力的です。羽田空港と結ぶとちか帯広空港からは車でわずか約10分で、「The 北海道」の牧歌的な風景が広がります。首都圏から日帰りも可能なので、ぜひ遊びに来てください。

・道の駅さらべつ 観光と物産の館「ポパ」



トなコースで、2輪、4輪レースの他、全日本ママチャリ耐久レースなどを開催しています。



・ファミリーパークさらべつ  
一年中、楽しめる釣り堀です。日高山脈を源とする清らかな伏流水を利用し、オシロココマ、ヤマヘ、ニジマス、銀サケなどを養殖しています。釣り堀は4時間釣り放題で2000円（貸竿、えさあり）。釣った魚は無料で持ち帰ることができます。

・すももの里



約1000本のすももの木が植えられており、5月下旬には白い花が咲き誇ります。8月頃には実の収穫を行い、村の特産品として活用されています。

また、併設するプラムカントリーでは、日本PGA協会公認のパークゴルフ場でプレーを楽しめるほか、子どもに人気のアスレチック



・霧氷  
氷点下20度以下の厳冬の早朝、川の水面から立ち上る水蒸気が樹木に付着する現象です。勢雄地区の猿別川は有名な霧氷スポット。1月中旬から2月上旬のシーズンになると、幻想的な風景をカメラに収めようと、全国各地から写真家が訪れています。

地元の特産品を取りそろえ、南十勝の情報発信の拠点です。レストラン「ポテト」を併設し、各種イベントや、土日限定で新鮮野菜市を開催しています。



・sarapak (サラパーク) 宿泊施設やレストラン、ホールなど7つの施設からなる地域創造複合施設です。地域住民の憩いの場として、週末は各種イベントやコンサートなどを開催しています。施設内にはコワーキングスペースやサテライトオフィスを設置し、大学の研究機関や通信会社が入居しています。



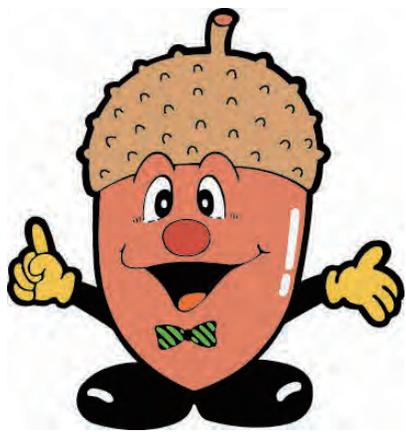
・農村公園大型遊具広場  
十勝管内でも屈指の規模を誇る大型遊具を備えた遊び場です。夏場は大勢の家族連れでにぎわいます。広場中央にはどんちゃん帽子をかぶったシンボルタワーがあり、30種類以上の遊具が楽しめるほか、大人の健康遊具も備えています。更別IC(インターチェンジ)から車で約3分です。ぜひお越しください。



コースも設置。今年はふわふわ遊具もできる予定です。

○更別村のイメージキャラクター「どんちゃん」

村の木の柏になるとんぐりをイメージしたキャラクターです。小さな実から大きな木に育つように、村も発展してほしいという願いが込められています。村の特産品のシンボルマークでもあり、村内のいたるところで可愛らしいどんちゃんが書かれた看板などを目にすることができます。



●お問い合わせ  
更別村役場 電話 089-1595 北海道河西郡更別村字更別南1線93番地  
電話 0155-52-2114 FAX 0155-52-2812

E-mail アドレス kikaku@sarabetsu.jp  
公式ホームページ http://www.sarabetsu.jp/

# 幕別町とは

十勝中央部よりやや南に位置し、気候は亜熱帯に属した内陸性気候です。日照時間が年間1900時間と全国的にも多く、晩秋から春にかけての晴天日数が多く続きます。冬季は道内でも降雪量が少ない地域ですが、冷え込みは厳しく1月中旬より2月中旬にかけては連日マイナス20℃を下回ることも多くあります。しかし、風が弱く晴れるため体感的には過ごしやすい地域といえます。

した。平成28年(2016年)には合併10周年を記念し、町の花・木・鳥・シンボルマークが制定されました。

## ・町の花「しばぎくら」

しばぎくらは、4〜5月にサクラに似た花を咲かせます。過去には、町内のスキー場の斜面に植栽され、ゲレンデ一面をピンクの花で彩る時期もあり、昭和60年(1985年)から平成7年(1995年)までの間、「芝桜まつり」を開催していました。



おおはくちようは、家族単位や群れで行動し、冬季にシベリアより飛来します。その姿は、旧途別川周辺をはじめ、町内の多くの場所で見ることができます。

## ・幕別町シンボルマーク

幕別町の「M」、忠類村の「C」、ナウマン象とパークゴルフを組み合わせ、親子みややく表現しています。水色は清らかな川、緑は豊かな自然、茶色は広大な土地、笑顔のマークは、幕別町がますます発展・繁栄する明るい元氣な町をイメージしています。



幕別町の基幹産業は農業であり、幕別・札内地区では畑作物、野菜生産、忠類地区では畜産を主体としています。中でも幕別町の特産品として有名なのが「和稔じよ」と「ゆり根」です。

海道においてもトップクラスといわれる自慢の一品です。ゆり根生産の歴史は昭和30年代半ばから続いており、ゆり根は、ホクホクとした食感とやわらかな甘み、たくさんの栄養素をぎっしりと詰めたのであり、特に胎児の発育に必要とされる葉酸が多く含まれているため、妊婦さんには嬉しい食材です。



和稔じよは毛の生えていない真っ白な長いもので、みずみずしいジューシーな食感と甘みのある上品な味わいが特徴です。表面がつるつるなので、皮はほどんどんにならず、調理もしやす



・イベントカレンダー  
・まくべつ夏フェスタ：7月中旬  
・まくべつ産業まつり：10月上旬  
・忠類どんとこいむら祭り：10月下旬

・ゆり根  
忠類地区のゆり根は、品質が高く、主産地である北会：2月中旬



幕別町は忠類村と合併し、今年で15年目を迎えます

# 町の取組み

全国的に少子化が進む中、幕別町では若い世代を呼び込み、人口減少に歯止めをかけようと次の事業に力を入れています。

## ○定住対策

・マイホーム応援事業補助金(平成27年度)

幕別町への移住促進と町内住居者の定住に資するため、住宅を新築または購入する者に対し、当該住宅の取得に要する費用の一部を補助することにより、人口減少の著しい子育て世代の本町への定住の促進と、本町全体の均衡ある発展に寄与し、活力ある地域社会を築くことを目的とした事業です。

## 【基本額】

住宅を新築または購入する場合……30万円

中古住宅を購入する場合……10万円

※その他、居住する地域や子どもの有無により加算条件があります。

## ○子育て支援

・子ども医療費の無償化(平成27年度)

子どもに対し医療費の一部を助成し、子どもの保健向上に寄与するとともに、児童福祉の増進を図ることを目的としています。

※平成23年10月から、小学生までの医療費無料化

※平成27年10月から、中学生までの医療費無料化および所得制限の廃止

・修学旅行費支援事業(平成29年度)

平成29年度から中学校の修学旅行費の一部を補助することにより、義務教育期間における保護者などの負担軽減および義務教育の円



滑な運営を図ることを目的としたものです。

※修学旅行に要する費用(上限7万円)に対し2分の1を補助

※特別支援教育奨励費補助対象者は、その補助金で支給した額を控除した2分の1を補助

また、今年度の大きな事業計画として、世帯数の多い札内地区にある老朽化した保育園の建て替えを行います。これにより保育の質の向上、受入定員数の増加をし、安心して子育てができるまちづくりを目指しています。

## ○ふるさと納税(寄附)

幕別町はふるさと寄附を通して、個性豊かで魅力ある町づくりを進めています。寄附金は次の9つの事業で活用し、幕別町に思いを寄せる人々の意向をまちづくりに反映させています。ひとりでも多くのおみなさんご協力をお待ちしています。

- 寄附金の活用事業
  - ・パークゴルフの振興に関する事業
  - ・ナウマン象記念館の整備に関する事業
  - ・頑張る農業を応援する事業
  - ・未来を担う子どもたちを守り育てる事業
  - ・地域で支えあう健康・福祉に関する事業
  - ・地球にやさしい行動を推進する事業
  - ・定住・移住を促進する事業
  - ・特に指定しない
- 記念品  
幕別町外在住の寄附者に対し、記念品を贈呈しています。町内で生産、加工、販売されている安心安全な食品や、パークゴルフの関連製品など多彩な記念品を備えています。詳細は次のサイトをご確認ください。

【ふるさと寄附に関するお問い合わせ】  
商工観光課 (0155-54-6606)

https://www.furusato-tax.jp/city/product/01643  
https://www.rakuten.co.jp/f016438-makubetsu/

# 「パークゴルフとナウマン象の町」 観光スポッポ

○パークゴルフ発祥の地  
幕別町はパークゴルフ発祥の地として全国にその輪を広げてきました。町内には12の町営パークゴルフ場(無料)があり、中でも「つつじコース」は発祥の地としても知られ、毎年多くのプレイヤーが訪れています。生涯スポーツとして今日も町民に親しまれています。



○パークゴルフの歴史  
昭和58年(1983年)に誕生したパークゴルフ

は、鳥取県東伯郡泊村(現在の湯梨浜町)で考案されたグラウンドゴルフをヒントに発案されました。当時、町の教育委員会で、「3世代が一緒に楽しめる町の新しいコミュニティスポーツ」を模索していました。その中である職員が倉庫からグラウンドゴルフのスティック(クラブ)と木のボールをもつて来ました。それが、パークゴルフ誕生の糸口となったのです。

早速、職員同士でグラウンドゴルフに挑戦してみました。乾いた土の上ではボールが転がりすぎてゴルフのように強く打つことができませんでした。そんな時、ある職員の目に入ったのは公園の芝生でした。「土の上ではなく、起伏のある公園の芝

生でやったらどうだろうか」そんな一声から誕生したのがパークゴルフです。最初のコースは、スコップで芝生に穴を掘り、塩化ビニール管を埋めて作り出した。それが、現在のつつじコースです。

○ナウマン象化石の発掘  
ナウマン象は約2、3万年前の新生代更新世後期まで、日本列島や東アジア大陸に生息していたと言われています。現代のアジア象と比べるとやや小柄で、2.5mほどの大きさです。氷河期時代の寒冷な気候に順応するため、全身は体毛に覆われていて皮下脂肪が発達していたと伝えられています。

ナウマン象化石の発掘を重点的に行う予定でしたが、一昨年の調査とは違う層に大きな動物が歩いた時に見えるくぼみ(荷重痕)のようなものを発見したのです。しかも、荷重痕は、一昨年の足跡化石が見つかった層のほかに2つの層で確認できたため、急ぎよ予定を変更して、浅い層のくぼみから順に調査を行うこととなりました。堆積物

ナウマン象の学術的価値と歴史を再確認し、さらなる文化発展と地域振興を目的として様々な記念事業を開催しました。



中でも一番注目を集めた発掘地の再調査では、一昨年の調査の続き「象の足跡化石」の調査の調・札内ガーデン温泉(幕別町札内北町55)



の雄大な自然を、夜は帯広市の夜景などをお楽しみいただけます。快適なリゾート空間、大地の恵みを贅沢に盛り込んだ旬の料理で、心休まるひと時をお約束します。

幕別の街並みや広大な畑や山々を一望することが出る幕別「シーニックカフェ忠類」(「シーニック」とは英語で「景観の良い」という意味で、忠類共栄牧場に設けられたカフェテラスからは、牛たちののんびりとしたのどかな風景を見ることが出来ます。夏季期間の土



が取り除かれたくぼみは、ナウマン象の足跡化石である可能性がさらに高まり、調査に携わった学芸員たちの期待も高まりました。現在、これらの標本は専門家に送られ鑑定を依頼しているところですが、

○アルカリ性単純温泉  
無色透明のやわらかい湯は、ナトリウムイオン、炭酸、水素イオンを多く含み、肌をつるつるにしてくれます。露天風呂にはヒカリゴケをイメージした発光石があり、夜は満点の星空で心地よい静寂を堪能できます。忠類特産のゆり根やどろぶたなど郷土料理を楽しんでいただくことも魅力の一つです。

○忠類ナウマン公園  
平成28年(2016年)に遊具を増設、翌年には親水滑り台を設置したことで、休日にはたくさんの親子連れで賑わうナウマン公園。隣接するキャンプ場(無料)や温泉施設もICを降りてすぐ



○美肌の湯「モール温泉」  
北海道遺産に指定される「モール温泉」を擁する温泉施設があることでも知られる幕別町。

○明野ヶ丘公園『ピラ・リ』  
アイヌ語で「偉大なる崖」と意味する『ピラ・リ』は、開基100年を記念する事業の一つとして平成8年(1996年)に建設さ

りてすぐの立地の良さから人気のスポットとなっています。



●お問い合わせ 幕別町役場 089-0692 北海道中川郡幕別町本町 130 番地 1

# 本別町とは

## 概要

十勝の東北部に位置し、東は浦幌町・釧路管内白糠町に、西は士幌町・上士幌町に、南は池田町、北は足寄町にそれぞれ隣接しています。町内には道東自動車道のインターチェンジとジャンクションを持ち、北見市方面や釧路市方面の分岐点として、道央・道東圏を結ぶ交通の要所となっています。十勝川水系の利別川と美里別川に沿って平地が形成されており、町名の由来(アイヌ語の「ポンペツ(小さい川)」にもなっている)



います。内陸性特有の気候で、夏は比較的高温になりませんが、冬は低温、乾燥した日が続きます。年間降水量、積雪量は少ないものの、二年の寒暖差が大きく、年間日照時間は全道的にみても多い地域です。

畑作のほか、畜産も多く行われています。良質な豆の産地として高い評価を受けており、生豆のほか、地元産の豆を使って町内の加工業者が製造する味噌や醤油などの調味料、羊羹や甘納豆などのお菓子、豆腐、納豆などの加工品も有名です。中でも、本別産中生光黒大豆を使った「キレイイマメ」ブランドの商品は、美容や健康に良いなどの理由から幅広い層に支持されています。

明治35年(1902年)に本別外五カ村戸長役場が本別村に置かれ、その後、昭和8年(1933年)の町政施行により本別町となり、令和3年(2021年)には開町120年を迎えました。

古くは林業で栄えた本別町ですが、現在の基幹産業は農業で、利別川沿いの沖積土地帯に広がる肥沃な土地と気候に恵まれ発展してきました。良質な豆、小麦、馬鈴薯を中心とした

祭りは、1万6千株のエゾムラサキツツジと2千本のエゾヤマザクラが咲き誇る春の本別公園で開催されるイベントです。1日目に行われる東十勝花火大会は、約5千〜6千発の花火を打ち上げ、初秋の十勝の夜空を色鮮やかに彩ります。2日目の夜に行われる歌謡ショーでは、毎回多彩なジャンルの有名歌手を迎え、会場

全体が盛り上がり、他にも趣向を凝らしたステージイベントが目白押しで、町内外を問わず、たくさんの人で賑わいます。また、広い会場内にはたくさんのお店が並び、町内の飲食店が本別産の食材を使った食べ物も多く販売するため、来場者は舌鼓を打ちます。1月下旬 ほんべつ豆まかナイト

イベント情報  
5月上旬 本別山溪つづじ祭り  
1万6千株のエゾムラサキツツジと2千本のエゾヤマザクラが咲き誇る春の本別公園で開催されるイベントです。

土日の2日間に渡って開催される本別町最大のイベントです。1日目に行われる東十勝花火大会は、約5千〜6千発の花火を打ち上げ、初秋の十勝の夜空を色鮮やかに彩ります。2日目の夜に行われる歌謡ショーでは、毎回多彩なジャンルの有名歌手を迎え、会場

土日の2日間に渡って開催される本別町最大のイベントです。1日目に行われる東十勝花火大会は、約5千〜6千発の花火を打ち上げ、初秋の十勝の夜空を色鮮やかに彩ります。2日目の夜に行われる歌謡ショーでは、毎回多彩なジャンルの有名歌手を迎え、会場



# 町の取組み

令和3年6月末の住民基本台帳登録者は6615人。ここ10年、毎年150人程の人口が減少しています。近年では、自然減数出生数と死亡数の差が社会減数(転入数と転出数の差)を上回り年間減少数も増加傾向にあります。そのような中、平成27年(2015年)の地方創生の始まりから、本別町においても、新たな人の流れをつくる動きとして、地域の担い手確保と移住推進施策を連動させた取り組みを進めています。

平成28年(2016年)には足寄町、陸別町との連携により十勝東北移住サポートセンターを設置(事務所・本別町役場企画振興課内)し、3町圏域における「ごと」や「空き家」等

の情報を専用ホームページにて発信し、首都圏等で開催される移住フェアへの出展や3町合同での移住セミナーの開催など積極的に移住希望者との関係性を築くための取り組みを推進しています。

また平成30年(2018年)には、旧本別町南保育所を部分改修し、本町での就労体験や交流、研修等を通じて、地域産業等の振興に必要な人材確保や育成に必要人材確保を図るための「本別町ごと体験交流館(宿泊施設)」を整備し、農業や介護人材確保のための助成支援や研修制度の創設など、将来に向けた産業の育成や

雇用を確保していくための仕組みづくりを進めてきました。首都圏でのフェアやセミナーによる相談者が本別町の移住に繋がったケースや町内での就労体験や研修等を行った方が本町へ移住されるケースも徐々に増えています。

「まずは一度訪れてみたい」という方には「お試し暮らし」住宅で生活体験をご案内しています。1週間程度の短期型、1か月以内の中期型、1年以内の長期型の3種の体験住宅を用意しており、実際に本町に住み生活を体験いただいた方も年々増加、体験住宅利用希望にお応えできないケースを多くあ

「ふるさと納税」を利用しお寄せいただいたご寄付を「本別町個性あるふるさとづくり寄付」と名づけ、下記の6つの事業に活用させていただきます。

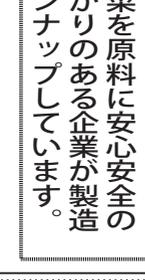
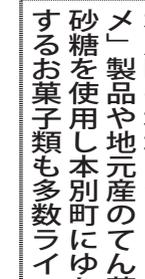
ふるさと納税  
本別町では、「ふるさと納税制度」を利用しお寄せいただいたご寄付を「本別町個性あるふるさとづくり寄付」と名づけ、下記の6つの事業に活用させていただきます。

1. 福祉でまちづくり推進事業
2. 消費者と生産者を結ぶ元気な農業推進事業
3. 自然との共存・環境保全推進事業
4. 平和祈念・平和教育に関する事業
5. 本のまち・夢プラン事業
6. 町長が必要と認める事業

寄付をさせていただいた方への返礼品には、本別町特産の豆や小麦などの加工品を中心に120品以上の返礼品をご用意しています。本別町の地域ブランド「キレイイマメ」製品や地元産のてん菜を原料に安心安全の砂糖を使用し本別町にゆかりのある企業が製造するお菓子類も多数ラインナップしています。



# 本別町



# 「日本一の豆のまち 本別町」

## 観光スポッポット

○義経の里本別公園  
ゴーカートやボート、大型遊具のほか、アスレチック施設なども備えた本別町自慢の公園です。春から秋にかけて、自然散策やキャンプ、コテージ宿泊など、多くの人で賑わいます。小さいお子様からご年配の方まで、四季折々の様々な楽しみ方ができる、本別町民憩いの場です。

ゴーカート  
公園内の南側にある交通公園では、信号機や踏切などを設置しています。子



ン遊具は、町内の子ども遊はもちろん、町外からも遊びに来るお子様がいくつらい大人気です。滑り台は傾斜が緩やかになっていて、小さなお子様でも安心して遊ぶことができます。周辺には芝生が広がり、園路も綺麗に舗装されていますので、ベビーカーでも楽々移動できます。



アスレチックス広場  
広大な芝生広場に、バラエティに富んだアスレチック施設があります。コンパクトサンエードやビニー

が感じられると好評で、畳の居間のほか、8畳と4.512畳の和室（または洋室）があります。キッチンには調理器具を揃えていますので、材料を持ち込んで自炊もできます。また、全室バリアフリーとなつているため、誰でもゆつくりとくつろぐことができます。



キャンプ村、バンガロー  
無料で利用できるキャンプ場です。水道を整備した炊事場、トイレ、駐車場を完備しています。有料のバンガローは30人用と16人用の2種類あり、大人数の宿泊に最適です。

でも登山を気軽に楽しめるという評判です。秋は紅葉も素晴らしい、四季折々で本別の雄大な自然を楽しむことができます。市街地側（道の駅「ステラ★ほんべつ」）と裏手（本別公園）のどちらからでも登ることができ



○道駅「ステラ★ほんべつ」  
中心市街地の国道沿いにあり、農家直送の新鮮野菜、味噌や醤油、お菓子など本別町の特産品を豊富に取り揃えているほか、陶芸品や手芸品などの手作りの小物も販売しています。施設内にはパン屋と中華レストランも併設しているので、おた「パロン西」こと西竹一が勤務した歴史があり、西氏が硫黄島で戦死した時に身に着けていたとされる愛馬「ウラヌス」のたてがみやお守りなども展示しています。また、資料館では1945年7月15日の本別空襲を題材とした企画展を期間限定で開催しています。



○本別町歴史民俗資料館  
本別町の歴史を物語る資料館です。本別町開拓の様子や、太平洋戦争の当時、本別町仙美里にあった軍馬補充部十勝支部に関する資料などが展示されています。軍馬補充部には、1932年のロサンゼルスオリンピックの馬術障害飛越競技で金メダルを獲得し

どもでも乗れるゴーカートやバッテリーカーに乗って、楽しみながら交通ルールを学ぶことができます。2人乗りのゴーカートもあるため、小さなお子様でも親子で楽しむことができます。

### ボート

公園内のかぶと池では、足こぎボートや手こぎボートに乗ることができます。池には元気な鯉もたくさんいて、ボート乗り場で販売されているエサをあげることもできます。



スポーツ施設（パークゴルフ場、テニスコート）  
義経山を望む全18ホールのパークゴルフ場では、初心者の方にも気軽に楽しんでもらえるよう、用具の貸し出しを無料で行っています。また、貸し出し可能なテニスコートもあり、日没までテニスを楽しむことができます。

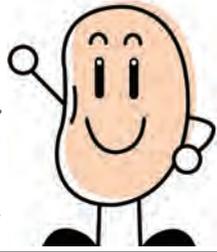
### 義経の里御所

平屋建て・中世書院風造りの趣あるコテージです。1棟で5人まで宿泊できます。地場産カラマツ材を使用し、室内は温かみと気品

義経の館  
本別公園の総合案内所を兼ねる休憩・売店施設です。施設内にはテーブル、椅子を用意していますので、散策に疲れたときにちよつと休憩するのに便利です。施設の1階展示室には源義経主従の像や資料等を展示しています。売店では本別の特産品やお土産などを購入できます。施設内にはレストランもあるため、お食事や軽食を楽しむことができます。

### 市街地はもろろん、晴れた日には遠く大雪山系まで望むことができます。比較的緩やかな山であることや遊歩道が完備されていることと、展望台まで20〜30分程度と手頃なことから、小学生くらいのお子様や初心者

○イメージキャラクター「元気くん」  
豆をモチーフにした本別町公式のゆるキャラです。町のコントリブサイにも登場し、来町者を笑顔で歓迎しています。道の駅「ステラ★ほんべつ」では、施設内で元気くんのストラップやピンバッジを購入できるほか、駐車場に元気くんの形をした車止めがあります。また、町内のお菓子屋で元気くんの形をしたお菓子を製造・販売するなど、開町100周年のときに生まれて以来、20年以上に渡って地元民に愛されているキャラクターです。



大型遊具  
本別公園自慢のカラフルな大型コンビネーション

本別町  
ほんべつ

お問い合わせ  
●本別町役場 TEL: 089-3392  
TEL: 0156-22-2141

北海道中川郡本別町北2丁目4番地1  
FAX: 0156-22-3237

E-mail: soumuk@town.honbetsu.hokkaido.jp  
公式ホームページ: https://www.town.honbetsu.hokkaido.jp

# 池田町とは

## ○町の位置と地勢



十勝平野の中央やや東寄りとなる東経143度27分、北緯42度56分に位置し、東西25km、南北32kmにわたります。地勢は平たんで、山岳地帯でも海拔1000、2000mを超える程度です。東は浦幌町、西は音更町および幕別町、南は豊頃町、北は本別町および士幌町に接しています。気候は、夏は30℃を超え冬は氷点下20℃を下回ることから、1年の寒暖の差は50℃以上になります。降雨量、降雪量共に十勝管内では少ない方

で「十勝晴れ」と呼ばれる爽やかな晴天に恵まれることが多いのも特徴です。

## ○町の沿革

池田町は明治32年5月「洞(シボ)寒(サム)外13カ村戸長役場」の設置に始まり、平成30年には開町120年を迎えました。池田町に和人として初めて入植したのは山梨県出身の武田菊平氏で、明治12年のことでした。明治29年には本格的に開墾が始まり、旧鳥取藩主家当主の池田伸博侯爵による「池田農場」として、池田町の名を一躍全国に広めた十勝ワインを製造・販売しています。中世ヨーロッパの古城を思わせる建物は池田町を見下ろす小高い丘に立っており、ワイン城屋上から見る夕日は絶景で「日本の夕日100選」に選ばれたほど。

## ○ワイン城と十勝ワイン

2020年6月に内装を一新しリニューアルオープンしました。

自治体初のワイナリーとして、池田町の名を一躍全国に広めた十勝ワインを製造・販売しています。中世ヨーロッパの古城を思わせる建物は池田町を見下ろす小高い丘に立っており、ワイン城屋上から見る夕日は絶景で「日本の夕日100選」に選ばれたほど。



## 「ワイナリーツアー」で

は、十勝ワインの歴史や、製造工程などをガイドの説明を聞きながら見学することができ、ワインやブランドの試飲も出来ます(事前予約制、試飲は別途料金発生)。

## ・十勝ワイン友の会

(ブドウ・ブドウ酒研究所



(秋のワイン祭りの様子)

015・572・2467  
札幌、宮古、東京、京都  
またぎの里、陸中山田、田  
沢湖 7ヶ所

## ○祭りと観光

- ・秋のワイン祭り  
10月第一日曜日
- ・池田町大物産展  
11月下旬
- ・夏まつり  
8月中旬

# 町の取り組み

## ○ワイン事業

昭和20年代後半、十勝地方は次々と自然災害に見舞われま



翌年からの2年連続の冷害による凶作となりました。この苦境からの脱却のため「ブドウ栽培」と「ワイン製造」への道が生まれまし

## 森構想

「秋には山野には山ブドウがたわわに実る。冬の厳しい池田でもブドウ栽培が出来るはず。農業所得のアップにつながり、町内に

再生するため、開町100年を迎えた平成10年に「100年の森構想」を策

## ○ふるさと会

- ・札幌池田会
- ・東京十勝池田会

(企画財政課 015・572・3112)

多い未利用の傾斜地も活用できる。まずは、町内の農村青年によって昭和35年にブドウ愛好会が結成され、ゼロからのブドウ栽培といった壮大な挑戦が始まりました。昭和38年には果実酒類試験製造免許を取得し、国内では最初の自治体経営によるワイン醸造を始めた。

## ○子ども夢事業

平成19年度閉鎖したレストラン事業の清算金とふるさと納税を財源とした「子ども夢基金」により、未来を切り開くたくましい人材育成を目的とする「子ども夢事業」に取り組んでいます。

○ふるさと納税(寄附)皆様から頂いた寄附は以下の事業に活用させていただきます。

- ・町政一般に関する事業
- ・ワインの研究開発事業
- ・子どもの育成及び教育、夢づくりなどに関する事業
- ・福祉及び医療などに関する事業

十勝ワインや食加工品、乳製品などを中心とした返礼品を80品以上用意しています。

町内限定発売の町民用ロゼが6本セットされた十勝ワインやローストビーフ、生ソフトクリームが人気となっていますが、地域に密着したユニークな返礼品として、就労支援センターが行うお墓周りの草取りと墓石の吹き拭き掃除を行う「池田町に眠るご先祖様☆お守り隊」などがあります。



担当課 企画財政課 015・572・3112

# 「ワインのまち池田町」

## 観光スポット

### ワイン城



ともに、温度、湿度、瓶熟成中にコルクに付着した自然のカビなどワイン造りをする五感で体感できます。地下1階には「シヨッピングフロア」があり、十勝ワインをはじめ、池田町の特産品などが豊富に取りそろえられているほか、大きな貯酒タンクの中をイメー

各種ドリンク、ワインに合うおつまみのほか、池田町産山幸果汁を使用したソフトクリームや各種スイーツなどが楽しめます。

ほかにも、十勝ワインやブランドーの製造施設を案内する「ワイナリーツアー(有料)」も開催しています。また、ワイン城東側にあるC倉庫では、瓶熟成やスパークリングワインの製造が見学できます。

### ○DCJ Garden IKEDA

池田町出身の DREAMS COME TRUE 吉田美和さんが、故郷に貢献したいとの想いから2005年10月に開館した、池田町全面協力、DREAMS COME TRUEプロデュースの施設です。これまでに発表された歌詞の中に隠れている北海道の原風景を吉田さん自身の解説付きで紹介



随一と言われています。9月〜10月頃にかけて、産卵のために回帰してきたサケの遡上を見ることが出来ます。

使われていた生活用具や農機具をはじめ、ふるさと銀河線や旧国鉄に関する鉄道資料、町内の遺跡から発掘された土器や石器、池田町や高島地区の歴史などがわかるパネルの展示など、子どもから大人まで楽しめる資料館になっています。

### ○ハッピーステイリイ

現在は採卵用サケの捕獲場としても重要な役割を果たしています。現在、無料でプレーすることが出来ます。

「青翔亭」は無料で使用できるバーベキュー施設となっており、どなたでも自由にご利用することが出来ます(混雑時は予約優先となります)。

### ○清見ヶ丘公園

樹齢300年を超えるカシワの大樹が生い茂り、春になると600本近くのエゾヤマザクラが咲きます。公園内には36ホルルのパークゴルフ場が設置されています。

店内にはイトインスパースがあり、ジェラートやピザなどをその場で味わ

1974年に建設された十勝ワインのふるさと、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所は、中世ヨーロッパ

ジさせる特徴的な曲面壁の一角に試飲コーナー(有料)が設けられています。また、1964年からブラン

ており、無料でプレーすることが出来ます。

パの古城に似ていること

からの「ワイン城」と呼ばれ、北海道・十勝を代表する観光地として多くの観光客に親しまれています。

うことが出来ます。

ワイン城は、本体の耐震化や設備の長寿命化、さらには魅力向上を図るため、2017年度にC倉庫をスパークリングワイン製造エリアのある見学施設へと改修したのを皮切りに、2018年度にはブランドー蒸留室、2019年度にはワイン城本体と外構の改修工事に着手し、2020年3月、15年ぶりの大改修事業を終え、同年6月20日にリニューアルオープンしました。

2階には、池田町のワイン造りのきっかけや歴史、寒冷地でのブドウ栽培の苦労を物語る8枚の大型パネルや文献を展示する「廊下ミュージアム」のほか、ワインやブドウに関する本を備え、ゆったりと座れる席が設けられた「ライブラリ」があります。

「青翔亭」は無料で使用できるバーベキュー施設となっており、どなたでも自由にご利用することが出来ます(混雑時は予約優先となります)。

地下2階の「地下熟成室」には、約170もの熟成樽が並ぶほか、貴重なオールドビンテージワインがご覧いただけます。

4階は「レストランフロア」。新生レストランのメニューは「プレミアム」と「カジュアル」が融合し、池田町や十勝産の食材を取り入れた料理がアラカルト(単品)で提供されます。レストラン前には、軽食を楽しめるフードカウンターコーナーがあり、ワインや

テレビや雑誌でも数多く取り上げられているバナナ饅頭を製造・販売しています。明治時代の末期に近い1905年、米倉屋の米倉三郎氏が池田駅の開業に伴い考案した商品で、当時高級で手に入りにくかったバナナをお菓子にし、手軽に食べてほしいとの思いから作られたのがきっかけです。その珍しさから、町内・外問わず人気を集め、100年以上がたった今でも、池田町の名物として愛され続けています。

また、バナナ饅頭だけではなく洋食レストランとしても人気が高く、池田牛ステーキをはじめとした豊富なメニューを楽しむことができます。

十勝川をせき止める役割を果たす千代田えん堤は、昭和10年に池田町千代田の水田灌漑施設として作られた長さ169.6m、高さ6.48mの取水えん堤です。農業用水のために作られたえん堤としては同規模のものの中でも道内最古の歴史があり、その規模は北海道



池田町郷土資料館 旧高島中学校校舎を再利用して作られた郷土資料館。池田のまちの歩みや昔のくらしを、見て・学んで・楽しめる資料館です。開拓期から昭和にかけて

十勝川をせき止める役割を果たす千代田えん堤は、昭和10年に池田町千代田の水田灌漑施設として作られた長さ169.6m、高さ6.48mの取水えん堤です。農業用水のために作られたえん堤としては同規模のものの中でも道内最古の歴史があり、その規模は北海道

池田町郷土資料館 旧高島中学校校舎を再利用して作られた郷土資料館。池田のまちの歩みや昔のくらしを、見て・学んで・楽しめる資料館です。開拓期から昭和にかけて

# 豊頃町とは

## 概要

豊頃町は、北海道十勝地方の東南端に位置する、農業と漁業を基幹産業とする人口3070人(令和3年4月現在)の町です。町名の由来はアイヌ語の「トエコロ」で、「大きなフキが生えていたところ」といわれています。

## 歴史

豊頃町は、明治13年(1880年)に大津外4郡戸長役場が置かれたのを開町とし、令和2年に



●豊頃町では、広大な土地資源を活かし、大規模で機械化された生産性の高い農業が展開されており、耕種部門は、畑作物(小麦・豆類・馬鈴しょ・てん菜)と野菜、畜産部門は生乳、肉用牛の生産が主になっており、地域的には茂岩を中心とする中央部では耕種の比率が高く、高台部や太平洋



●豊頃町の漁業は大津地域を拠点として営まれています。大津地域では漁業活動が盛んで、さけ定置網漁業の水揚げが多くなっています。水揚げされるサケの多くは釧路市の水産加工



沿岸部では酪農主体の経営場に出荷されています。近年ではサケ偏重型漁業形態から脱皮を図るため、つくり育てる漁業に取り組んでおり、陸上施設でのクロソイ及びマツカワ等の中間育成・放流事業を実施するなど、漁業経営の安定化を図る取組みを進めています。

# 町の取組み

## ●あたたか心がかよう豊頃(まち)づくり

今年4月には按田新町長が就任し、「あたたか心がかよう豊頃(まち)づくり」をテーマに、雄大な自然、豊穡の地、豊かな海、ここに育つ食べ物：開拓当時から受け継がれてきた豊かな土地でいつまでも安心して暮らせる、もっと住みやすい町となることを目指しました。まちづくりに取り組んでいます。町民はもとより、これまで移住をされてこられた方へ住みよくなるための支援を充実させてきました。現在、新たに豊頃町で生まれ育った若者へまた豊頃へ帰ってきてほしいとの思いから、Uターンする若者への支援をはじめました。このほか子育て世代を

中心に、ライフステージに合わせた様々な支援を行っており、特に次の世代を担う子どもへの支援に力を入れています。

## ●移住への取組に「農ある暮らし移住等体験用住宅」

当町には、十勝のイメージそのままの広い畑が眼前に広がる「農ある暮らし移住等体験用住宅」が2棟あり、多くの移住希望者が豊頃町の日常生活を体験するために訪れています。この住宅には小さな畑が備わっており、移住体験者自身でジャガイモやポトヤなどの収穫体験ができます。また、地域のお祭りや町のイベント等に積極的に参加していただき、町民との関わりを深めることで、豊頃町の様々な面に共感していただく大切な場となっています。現在は新型コロナウィ

ルス感染症拡大防止のため移住者の受け入れを制限していますが、また多くの方に、豊頃町の穏やかに過ぎる時間を季節と共に体験していただける日が来ることを願っています。

## ●ふるさとを身近に感じてもらうために

札幌豊頃会および東京豊頃会がそれぞれの土地で運営されています。豊頃会では年に一度、会員向けの会合が行われ、生まれ育った豊頃の思い出を語らうなどの交流が続いています。また豊頃町からは、豊頃町産の野菜を中心とした秋の味覚や大津でとれた海産物を会員に低価格で斡旋し、ふるさとの味を思い出していただく「ふるさとパック」を提供しています。豊頃町の出身で思い出を語らう仲間が欲しいと願う方、ぜひ

入会していただければ幸いです。豊頃会へ入会をご希望の方は、豊頃町役場企画課までお問い合わせください。E-mail: kikaku@toyokoro.jp

## ●ふるさと納税

豊頃町のふるさと納税で一番のおすすめは、株式会社EIZO社がお届けする「蝦夷鹿と蝦夷神豚のテリイヌセット」です。株式会社EIZO社は大津に拠点を置き、ジビエの狩猟、家畜家禽の生産から、それに伴う流通・加工・飲食まですべて自社で手掛ける食肉の「一貫生産管理体制」を運営する会社です。だからこそ提供できる高い品質と美味しさにこだわったこちらのテリイヌは、蝦夷鹿と蝦夷神豚のしっかりとった旨味を凝縮させた一品となっています。フランスパンに挟めたり、サラダ・ピクルスなどの付け合わせに、ワインと共に召し上がっていただく一層楽しめます。外出できない今だからこそ、少し贅沢なおうち時間をEIZO社のテリイヌで過ごしてみたいかがでしょうか。

このほか豊頃町の大麦で作った「豊頃町地ビール」やジャガイモなどの農産物、大津産の海産物もおおすすめです。豊頃町の返礼品は「ふるさとチョイス」(https://www.furusato-tax.jp)からご確認ください。

お問い合わせは、豊頃町役場商工観光課  
TEL: 015-578-7202 (二口コテラス内) へお願います。

# 「やちごと躍動のふれ愛タウントヨコロ」

## 観光スポット

### ○『はるにれの木』

左右いっぱい大きく枝を伸ばした大木のはるにれの豊頃町のシンボルです。実は2本の木が一体化して美しい形を作った珍しいものです。推定樹齢は約150年。雨の日も風の日も決して離れることなく寄り添ってきた2本の木は、まるで永遠の愛を誓い合った恋人たちのよう。春夏秋冬、それぞれの表情を見せてくれる、撮影スポットとしても人気の場所です。

### ○『長節湖』

大津市街から南西約4kmにある周約5kmに広がる湖です。海水が混じる汽水湖で、太平洋と幅の狭い砂丘で隔てられています。湖の砂丘一帯の植物群は、北海道の天然記念物に指定されており、春から初秋にかけてハマナス、エゾ

### ○『ジュエリーアイス』

十勝川を覆いつくす氷が太平洋に流れ出し、河口の大津海岸に打ち上げられる氷の塊が太陽の光を受け美しく輝く自然現象で、十勝の厳しい寒さと、母なる大河「十勝川」が生み出す自然の神秘です。

似たようなものに流水があります。流水は大きな氷の塊が層になって押し寄せたもの。流水は白い色をしています。ジュエリーアイスは透明さが特徴です。



クリスタルのような透明な氷が太陽の光を受け輝く姿は、まるで宝石のような美しさ。時間とともに変化する輝きにも注目です。

### ○『湧洞湖』

湧洞湖(ゆうどうこ)は、茂岩市街から、南に約30km離れた太平洋岸に位置する周約19kmの湖。周辺には美しい原生花園が広がっており、町の文化財(記念物)に指定されています。周辺にはまだまだ手つかずの自然環境が残っており、静寂なひとときと北海道らしい雄大な自然が味わえます。

### ○『湧洞湖』

湧洞湖(ゆうどうこ)は、茂岩市街から、南に約30km離れた太平洋岸に位置する周約19kmの湖。

○『十弗駅』  
十弗(とおふつ)の「弗」の字がドルとも読めることから、別名「10ドル駅」とも呼ばれている駅です。駅舎にも味があり、鉄道ファンに人気の駅となっています。

### ○『交流拠点施設ココロコテラス』

豊頃町や連携都市の物産品販売、観光案内を行っていき、レンタルオフィスとしても利用できる「交流拠点施設」です。

### ・物産販売

豊頃町の特産品やジュエリーアイスグッズ、贈答品などを販売中です。「互産互生コーナー」では、静岡県や山口県秋市、茨城県筑西市の商品も扱っています。

互いのエリアにないモノ・コトを消費し合い、生かしながら「互産互生」に取り組んでいます。お互いにあるもの・ないもの、を認め合い、求め合い、生かしながら新たな地域間交流を、「食」【フード】の交換を皮切りに、「観光」【ツーリズム】の交歓、「生活」【ライフスタイル】の交感へとすすめていきます。

### ・観光案内

豊頃町の観光を中心に、まちの魅力をご紹介・ご案内いたします。各種パンフレットも取り揃えており、話題のジュエリーアイスのパンフレットや、外国語対応のパンフレットもありますので、ぜひお立ち寄りください。

### ・サテライトオフィス

町内外の方を対象に、どなたでも利用できるレンタルオフィスです。また、「いきなりオフィス」を構えるのはハードルが高い」という方におすすめなのが、ココロコテラスのサテライトオフィス利用です。



### ・互産互生プロジェクト

「ないものを、あるものに。」

同じ日本の中でも、緯度や気候・地勢・風土の違いから、その土地でとれるモノ・コトには違いがあります。

私たちは自分たちの地域でとれた食材による「地産地消」を基軸としながら、

ことなく味わうことができます。毎年9月第2日曜日に開催されています。観て、食べて、遊べる、豊頃の秋を堪能できる、風物詩ともいえる催しです。



秋あじ(鮭)のつかみ取り、野外ゲーム、歌謡ショーなどなど多数の催し物

半個室なので自分の空間で集中して仕事をしたい人におすすめ。電子機器が使用できることはもちろん、無線LAN完備でストレスのないネット環境を実現しました。

自然豊かで空気のきれいな豊頃町で仕事してみませんか?きつと「アタラシイ働き方」と「ビジネスチャンス」に出会えるはずですよ。

○イベント情報  
『海と大地の祭典』とよこる産業まつり  
海と大地に恵まれた豊頃町。豊頃の秋の味覚を余す

### ・「とよこる夏まつり」

毎年8月中旬に行われている、十勝川に打ち上げる花火大会を中心とした、豊頃の夏を代表するイベントです。1000発の花火が豊頃の空を彩り、豊頃町のみならず周辺市町村からも来場者が集まります。ゲーム大会、ふわふわジャンボコーナー、出店コーナーなど、家族みんなで楽しむことができるお祭りです。

# 広尾町とは

十勝管内の最南端に位置する広尾町。東は北海道有数の漁業資源を有する太平洋、西は日高山脈の山並みがそびえ立ち、豊かな自然を活かした漁業を中心に農業を基幹産業として発展してきました。



漁業は、親潮と黒潮が混ざり合う恵まれた条件のもと、鮭や毛がに、昆布など、北海道を代表する海の幸が水揚げされています。

農業では、冷涼な気候を活かした酪農業を中心に、てん菜、馬鈴薯などの畑作物も行われています。

## ○町名の由来

広尾とは、アイヌ語の「ピルイ」が語源といわれ、「ピ」は石が転がる、「ルイ」は砥石（といし）がとれる地という意で、この言葉が変化し、明治2年の国郡制定で広尾郡茂寄村が誕生するまでの間、「ピロー」、「ピロウ」などと呼ばれていました。

## ○重要港湾「十勝港」

十勝港は、十勝で唯一の海の玄関口であり、北海道と首都圏を最短距離で結ぶ港湾です。

また、輸入原料の保管から配合飼料の製造までを一貫して行う、北海道内最大級の飼料コンビナートが操業しています。

今後も、農業王国・十勝に必要不可欠な「アグリポート」をテーマに、十勝

の特性を生かした飼料用原料などの安定供給を目指し、更なる発展を続けます。

○ししゃも水揚げ量日本一  
ししゃもは、キウリウオ科に属する日本固有の魚で、北海道の太平洋沿岸にしか生息していないため、「幻の魚」ともいわれています。

広尾町のししゃも漁は、10月から11月中旬で、産卵のために川に遡上する前の本ししゃもを沖合で漁獲します。遡上する前の栄養が蓄えられた身は、柔らかく脂が乗っていて絶品です。水揚げから加工までの時間を極限まで短縮し、新鮮なまま一夜干ししているのも美味しさの秘訣です。黄金に輝く「広尾町の本ししゃも」ぜひ一度味わってみてはいかがでしょうか。

## ○イベント情報

・毛がにまつり

例年、12月上旬に開催される、広尾町の新鮮な海の幸をたっぷり食べて楽しむイベント「毛がにまつり」。当日は、会場内に設置された大釜で茹であげられる毛がにや、漁協女性部による毛がに汁など、早朝から行列ができるほどの大人気です。その他にも、ししゃもや新巻鮭、イクラなども、広尾産の上質な特産品が販売されます。毛がにの朝食の競争など盛りだくさんの内容で、毎年多くの来場者でにぎわいます。

## ・十勝港海上花火大会

十勝で唯一、港で開催される花火大会です。約6000発の花火が夜空と海面を彩り、多様な演出で魅了させます。目の前で打ち上げられる花火は迫力満点です。最大の目玉は、導火線に火をつけて花火を航行中の船から海に投げ入れる「水中花火」で、海上に光の扇を描くように花開く華やかな様子は、海上花火大会だからこその演出です。



# 町の取り組み

○広尾町活き生きプロジェクト

平成27年（2015年）に設立された「広尾町活き生きプロジェクト」では、広尾町の資源や魅力を活かした持続可能な地域を目指すため、各産業団体等と協働で様々なまちづくり活動を行ってきました。

今年度新たな取り組みとして、都市部の若者が地域に滞在し、働いて収入を得ながら、地域住民との交流を通じて地域の暮らしをまわると体験する「ふるさとワーキングホリデー」を実施します。

旅行では知ることでできない、リアルな地方での暮らしを体験することで、広尾町のファンを増やすとともに、魅力あふれる地域産

業のPRにつなげていきます。

## ○「サンタランド・ウッド」

何十年もかけて大切に育てた木々を町民共有の財産として次の世代に引きついでいくため、町内の森林を「サンタの森」と名付け、森林の循環利用の推進を目指します。

今年度から新たに、町産木材を使用した品質・性能の確かな製品を「広尾サンタランド・ウッド」としてブランド化しました。町産材の良さを伝えるとともに、将来的には地域全体で山づくりをすることで、担い手の育成や木育推進にも取り組んでいきます。

## ○広尾会

広尾町のふるさと会は、帯広、札幌、東京の3団体

が活動しており、各地域の近郊に住む広尾町出身者やゆかりのある方など、3団体で総勢約230人が加入しています。各広尾会の総会には広尾町から町長ほか各関係者が出席し、町にまつわる思い出話から近況報告まで、色々な話を花を咲かせています。

また、町で実施する行事を役場から各広尾会へお知らせするなど、総会以外でも近況を知ることができる取り組みも行っています。

残念ながら、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響もあり、行事を実施できていない状況が続いています。会員の高齢化などで会員数も年々減少傾向にありますので、興味がある方はぜひ新規会員になっていただければと思います。

## ○ふるさと納税（寄附）

サンタランドの街にちなんだクリスマスグッズ、水揚げ日本一に輝いたししゃも、人気ナンバーワンのシーフードミックス5、サンタランド限定パッケージのカマンベールチーズのほか、これからの季節は毛がに、うに漁が盛んになり、ふるさと納税返礼品として登場する予定です。

いただいた寄附はサンタランド事業などのまちづくりのために活用させていただきます。



公式ツイッター※



ふるさとチョイス※



※QRコードをクリックもしくは読み込み

# 「サンタランドのまち 広尾町」

## 観光スポット

○大丸山森林公園  
 広尾町は、昭和59年(1984年)にサンタクローズの故郷ノルウェーのオスロ市から日本で唯一の「サンタランド」の認定を受けました。大丸山森林公園は、そのサンタランドのシンボルゾーンです。園内では春から秋までいろいろな草花が咲きます。



クリスマスカードを届ける「ひろおサンタカード」の

雪が消える4月下旬にはクリスマスローズの可憐な花が咲き始め、5月上旬にはエゾヤマザクラ、5月下旬には約1万2000本のエゾヤマツツジが鮮やかに咲乱れます。園内が朱色に染まる景色は圧巻です。



園内にある観光案内所「サンタの家」は今年10月リニューアルオープンし、アイスクリームやドリンク類の提供ができるようになりまし。園内を自由に散策した後、2階の

休憩スペースでゆっくりと過ごすこともできますのでご利用ください。また、「サンタの家」では一年中クリスマスグッズを多数展示・販売しています。キーホルダーやクリスマスオナメントなども人気で、ここでしか手に入らないものもありクリスマスシーズンには多くの人でにぎわいます。

受付も行っています。ご両親からお子様へ、おじいちゃんおばあちゃんからお孫さんへ、仲の良いお友達など大切な方へメッセージを添えて贈ることができます。

日本一早いクリスマス点灯式である「サンタランドツリー点灯式」は毎年10月第4土曜日に行われ、1月3日までの間、園内が約15万球のイルミネーションで光に包まれます。令和2年(2020年)にはメイソツツリーとなる赤エゾ松が植樹され、より一層華やかになりました。「サンタの家」へと続くイルミネーショントンネルも見どころの一つ。プロポーズにふさわしいロマンチックなスポットとして「恋人の聖地」にも認定されているので、カップルにもおすすめです。願い事をしながら「サ

ンタの鐘」を鳴らしてみたいかがでしょうか。



### ○フンベの滝

フンベの滝は国道336号(通称・黄金道路)の広尾橋から入りも方面へ車で5分程走ったフンベ地区の国道沿いにあります。「フンベ」とは、昔このあたりに鯨が打ちつけられたことからアイヌ語で、「鯨の獲れる浜」という意味で名づけられました。滝の流れは地下水が湧き出たものが、直接道路脇に落下している



珍しい滝で、夏は涼を呼び、冬は美しい氷柱が目を楽しませてくれます。

### ○黄金道路

国道336号の一区間で広尾町から入りも町庶野までの約28km。昭和初期、当時はまさしく黄金の如く巨費を投じられ莫大な建設費用がかかったことから黄金道路と呼ばれるように、「日本百名道」に選ばれており、快適にドライブが楽しめます。沿岸は道内有数のサイ

フスポットで、春から秋にかけてサーファーでにぎわっています。

### ○十勝神社

前身は戸賀知(トカチ)明神社といわれ、十勝最古の神社で1600年代に創建されたと言えられていますが、詳しい年数については明らかになっていません。明神社は何度か場所を移し、一度焼失するも再建され明治9年(1876年)に十勝神社と称しました。現在の社殿は昭和17年(1942年)に完成しました。東北から運んだヒノキ材で改築され、拝殿に入るとヒノキの良い香りが漂います。この神社再建を記念して、境内にエゾヤマザクラ65本を植樹。その後もたびたび植樹が行われ、昭和26年(1951年)公園

として整備されました。広尾町での桜の開花は例年ゴールデンウィーク頃ですが、十勝神社の桜が満開になる頃には、お花見を楽しむために多くの人が訪れます。

寛政10年(1798年)に幕府の探検家・近藤重蔵が、蝦夷地で最初の道路開削を行った顛末が彫られた、貴重な北海道指定文化財「東蝦新道記彫字板」を所蔵しており、蝦夷地として開拓されたところから今も変わらず、十勝を見守り続けています。

また、十勝神社には「吉十勝」という勝守りがあります。縁起の良いお守りにあやかり、呼び名を「きつ」としています。勝負に勝つ、受験に勝つ、商いに勝つ、など願い事にご利益があると人気です。

○町のキャラクター紹介  
「さーたちちゃん」



「ツリーくん」



私はサンタクローズの孫の「さーたちちゃん」です。素敵なサンタクローズになるために広尾サンタランドで修業中なの。普段は広尾町のPR活動をしているよ。サンタランドツリー点灯式に「ツリーくん」と参加するのを楽しみにしているの。イベント大好き!みんなと一緒に記念写真を撮りたいな。広尾町を走る移動図書館車とかカントリーサインにも登場しているよ。サンタの家で買える缶バッジにもいるんだよ。探してみてね。

僕は丸山森林公園に住む森の妖精ツリーくんです。1995年生まれの26歳で結構お兄さん。町役場の人がサンタランドのマスケットに!と業者に発注してくれたよ。普段はダンボール箱の中で10月のツリー点灯式のためにエネルギーチャージ中だよ。さーたちちゃんと一緒に広尾サンタランドを盛り上げていくよ。

# 足寄町とは

○沿革  
明治12年(1879年)、

中足寄に移住した細川繁太郎、エン夫婦が初めて永住者とされたのが足寄町の開拓の始まりです。その後道路の開削および鉄道の開通によって団体移民が入植し、次第に人口が増加しました。そして、昭和30年(1955年)4月に、西足寄村と足寄村が合併し、広大な行政面積を擁する足寄町が誕生しました。

○位置と地勢  
十勝の東北部に位置し、地形はおおむね山麓をもつ



人口: 6,578人 (R3.8月現在)  
面積: 約1408.04Km<sup>2</sup>

から絞った牛乳を使ったチーズづくりが盛んで、令和2年(2020)



さらには、足寄町の行政面積の約82%を占める森林資源を有効活用する方法に



約8千発の花火が夜空を



楽しむ場を創造します。



進のまちを宣言して、全国各地から新規就農者を受け入れています。健康に飼育されている町内の牛から絞った牛乳

選定されています。アクが少なくミネラルが豊富、食繊維も多く含まれている、特産品の一翼を担っています。

足寄町の特産品であり、北海道遺産にも登録されている、見て美しい、食べて美味しい、そんなラワンぶきの魅力を全国に届けるイベントで、長いままのラワンぶきの販売や飲食店による出店が行われます。

足寄町の森林資源であるカラマツ材を有効活用したウッドキャンドルやアイスキャンドルを点灯し、幻想的な風景や焼きマッシュマロ体験などで、冬に楽しむ場を創造します。

# 町の取組み

○移住・定住促進

①お試し暮らし

足寄町での暮らしを実際に体験することができ「移住体験住宅」を設置しています。自然に囲まれ都会にはない静けさを体験できます。希望者には、就農体験などの相談も対応させていただきます。北海道への移住を検討している方はぜひご利用ください。

【利用期間】4日〜3ヶ月

【利用料】15000円/日(光熱費込み)

※冬期は暖房料としてプラス5000円/日

②子育て支援

「子育てするなら足寄町」をキャッチフレーズとし、足寄町で暮らす人たちが安心して結婚・出産、子育てができるための様々なサポート

・子育て応援出産祝い金贈呈(第1子・第2子10万円、第3子以降20万円)  
・保育料完全無償化(学童保育・家庭の保育を含む)  
・学校給食費完全無償化(町内の小中学校・高校の児童生徒対象)  
・足寄高校通学支援  
・足寄高校生対象の公設民営塾(受講料無料)  
・中学生以下の子ども医療費無料など

③新規就農支援等

足寄町では、意欲ある就農者を歓迎しています。新規就農するための研修や資金面での支援制度をご利用ください。また、就農以外でも補助金や支援制度など仕事面のサポート体制があります。

・新規就農志向者営農実習奨励金

・新規就農者経営開始奨励金

④暮らし(住環境・店舗等整備補助金)

町内の建設業者により施工される住宅及び店舗・事務所等の新築、増改築中古住宅の購入費用などを補助します。(条件付き、上限150万円)

○ふるさと納税

足寄町では、町を応援していただいている皆さまからのふるさと納税寄附金を財源として各事業を実施し、魅力ある個性豊かなまちづくりをすすめています。

例年、全国各地からの心温まるご支援、数多くの応援メッセージをいただき、厚くお礼申し上げます。いただいた寄附金は、皆さまの意向に沿って、様々なまちづくり事業に活用させていただきます。

○ふるさと納税寄附金の使い道  
・地域産業の振興を支援する事業  
・次代を担う子どもたちを育む事業  
・観光の振興に関する事業  
・高齢者の安心な暮らしを守る事業など、全10事業から使い道を選択することができます。

○町の特産品

足寄町では、平成26年(2014年)6月から町外に在住している方からの寄附額に応じて、農畜産物や加工品など、お礼の品として町の特産品を贈呈しています。  
日本一大きなフキである「ラワンぶき」、足寄の自然でのびのびと育った牛の生乳から作られたチーズ、町農家が丹精込めて育てた甘いトウモロコシやほくほく食感のジャガイモなどの農産物。通年栽培されているイチゴを使ったスイーツ、全国でも希少な和牛「短角牛」など、足寄町ならではの特産品がそろっています。

○申込方法

町に直接ご連絡いただくか、各ふるさと納税ポータルサイトからお申込みください。(ふるさとチョイス、ふるなび、楽天ふるさと納税、セゾンふるさと納税)  
※詳細は町ホームページまたは担当までお問い合わせください。

## <ふるさと納税返礼品の一例>



焼肉セット



チーズセット

# 「緑の大地にあふれる幸せ 安全で安心なまち あしよろ」

## 観光スポッポット

足寄町の観光は、四季折々に豊かな自然が織りなす美しい景観を望めるのが最大の魅力です。

### ○オンネット

別名「五色沼」と呼ばれている雌阿寒岳の西山麓にある周囲2.5kmの湖で、北海道三大秘湖の一つです。ミシュランの旅行ガイドブックで十勝管内の観光地では初めて二つ星に選ばれたオンネットは、季節はもちろん時間によっても美しい色合いに変化する神秘的な湖で、その圧巻の景色は訪れた人々に感動を与えてくれます。



い花が特徴的なメアカンキンバイは、どちらも雌阿寒岳で初めて発見された植物で、特に雌阿寒岳と阿寒富士の間には美しい花の草原が広がります。雌阿寒岳に登った方は、上から見るオンネットと手つかずの原始林、森林限界を超えた岩の世界、噴気を上げる火口など、生き生きとした地球の一部を体験できます。

また、麓にある「山の宿野中温泉」では日帰り入浴

な「白藤の滝」、湧水口から細かい筋となって流れ落ちる水の様子が繊細な「白糸の滝」、巨大な岩で滝が二つに分かれている「巨岩（おおいわ）の滝」などがあります。

### ○里見が丘公園

令和元年（2019年）に完成した「延長51mの巨大滑り台」、「ふわわドーム」、噴水や水路などの



「水遊びコーナー」、乳幼児用の「小型遊具」があり、お子さんを遊ばせることができるほか、隣接して「パークゴルフ場」や「十勝最大級の温泉足湯」、「バーベキューガーデン」、「温泉水プール」もあるので、ご家族で一日楽しめる公園と

があり、新鮮で旬な野菜を販売しているほか、足寄産のいちごやチーズを使ったメニューを食べることもできます。

### ○足寄動物化石博物館

足寄動物化石博物館では、足寄町茂足寄（もあしよろ）地区で発見された、絶滅した海洋哺乳類の「アシヨロア」と「ベヘモトプス」の骨格標本を中心に、同じく足寄町で発見された「歯のあるヒゲクジラ」を始めとする様々なクジラの骨格標本を展示しています。地球の歴史を学ぶことができます。



から大人まで楽しむことができる博物館となっています。期間限定のイベントや特別展なども開催しています。

### ○ネイパルあしよろ

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄（通称「ネイパルあしよろ」）では、子ども達が大自然に親しみ、仲間とともにのびのび活動する中で青少年の健全な育成を図ることを目的とした施設です。1年を通して様々な体験実習を行っており、夏はテント泊や野外炊飯、ナイトウォーク、冬はスノーシューやスノーラフティング、歩くスキーなどで自然体験を満喫することができます。小学校、高校の宿泊研修や部活動の合宿に限らず、仲間連れやサークル、ご家族での利用もできます。

あり、6月～10月末まで営業しています。オンネット周辺の散策や雌阿寒岳登山の拠点としても利用できます。



### ○雌阿寒岳

日本百名山の一つに数えられる標高1499mの雌阿寒岳は、麓から往復4～6時間程度で登山することが可能で、近年の登山ブームもあり、訪れる方が非常に増えてい

もでき、登山やオンネットの散策で疲れた身体を癒やしてくれます。

### ○滝

おおむね山麓をもつて構成されている足寄町には多くの滝が存在していて、多様な形の滝を楽しむことができる隠れた観光スポットとなっています。



オンネット湯の滝



白藤の滝

代表的な滝としては、マンガン酸化物生成地としての天然記念物に指定されている「オンネット湯の滝」を始め、落差があり豪快に流れ落ちる水の勢いが壮観

なっています。  
○道の駅あしよろ銀河ホール21  
足寄町は北見・網走圏と釧路圏、十勝圏を結ぶ国道241号と242号が市街地の中心で交差している、その交差点にあるのが観光拠点となる「道の駅あしよろ銀河ホール21」です。



銀河ホール内には足寄町出身のシンガー松山千春さんのギャラリィや廃線となった鉄道「ふるさと銀河線」の再現、特産品販売&ベーカリーショップ、レストランなどがあります。敷地内には、JAあしよろの直売所寄って美菜（みな）

### ○ゆるキャラ「アユミちゃん」

足寄町をPRするキャラクターとして平成元年（1989年）に公募により350点の中から選ばれた、時代を先取りし過ぎてしまった足寄町公式マスコットキャラクターが「アユミちゃん」です。現在は初代アユミちゃん（右足）と二代目アユミちゃん（左足）の2人で活動しています。

気で、活発な性格をしています。  
二代目アユミちゃん（左足）  
初代アユミちゃんが行方不明になった足寄町で、およそ10年前に救世主として現れて以降、町内外の様々なイベントに出没し、第4回ほんえい十勝ゆるキャラ選手権はんばりレースでは見事優勝して足寄町のPRに一役買いました。気さくで優しい性格で、可愛らしい容姿から足寄町内の子ども達に大人気です。



（初代：写真右、二代目：写真左）

・初代アユミちゃん（右足）  
平成2年（1990年）頃から足寄町のために活動していましたが、可愛くない容姿のために子どもたちから人気がなく、里見が丘の倉庫の中で、ふて寝をしていました。近年、キモカワが人気になったり、個性が尊重されたりするという時代の変化を察知して、永い眠りから目覚めました。ずっと寝ていたため人との接し方が下手になっていますが、本当は明るく元

※足寄町公式ホームページ「アユミちゃんの部屋」があり、2人の動画を見ることができたり、無償の画像がダウンロードできますので、是非ご覧下さい。

# 陸別町とは

平成30年に開町100周年を迎えた陸別町は、平均気温が日本で一番低く日本が一番寒い町として有名です。地域の中央を流れている利別川によって高原性の大地をなす酪農中心の西部と、標高500m前後の高原地帯の東部に分かれています。



盆地になっており放射冷却現象によって冬の最低気温が低く平成31年2月にかけての最低気温はマイナス31・8℃、一方令和元年5月には観測史上最高の37・8℃を記録し寒暖差ははず

か3ヶ月で70℃近くもあります。非公式ではありますが、町内の観測所ではマイナス38・4℃を記録したこともあります。運が良いとオーロラをみることもできます。基幹産業は一次産業で酪農と林業が町を支えています。北海道東部のほぼ中央に位置し、女満別、釧路、帯広の各空港からもほど近く、道東の各観光地へ至る道路網も整備され、道東観光の拠点としては最適な地にあります。町名はアイヌ語のリクンベツに由来し、意味は高く上がった川、または危ない高い川という意味です。

産自動車北海道陸別試験場内に特設コースを設け、歩くスキーを楽しめます。  
 ・5月中旬「オフロドバトル」、全長1.3kmのコースに最大傾斜30度、ヘアピンを含む15カ所のコーナーを有し、自然の起伏を生かした国内最大級のオフロド専用コースです。  
 ・5月下旬「町民植樹祭」、各年異なる苗木を植樹します。

・7月下旬にはイベントが3つあり、1つ目は「リ・クリエーションサマーinりくべつ」、陸別のこどもたちと本州のこどもたちとのアウトドア交流会です。2つ目は「ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり」、お笑いステージショーや大抽選会等、1日中楽しめます。3つ目は「屋台村」、商工会青年部主催による夏の風物詩で、子供から大人まで楽しめる。3つ目は「リ・クリエーションサマーinりくべつ」、陸別のこどもたちと本州のこどもたちとのアウトドア交流会です。2つ目は「ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり」、お笑いステージショーや大抽選会等、1日中楽しめます。3つ目は「屋台村」、商工会青年部主催による夏の風物詩で、子供から大人まで楽しめる。

・8月上旬「道新オフロドレースin陸別全日本選手権大会」、全国から多数の選手が参加しチェッカーフラッグを目指し熱いバトルが繰り広げられます。  
 ・8月13日は、「りくべつ夏祭り」、道の駅前の多目的広場で開かれ、仮装盆踊りには町内外から多数の踊り手が参加し、真夏の一夜を盛り上げます。  
 ・9月中旬「フリー北海道陸別ステージ」では、スリリングなレースを間近で見ることが出来ます。  
 ・10月上旬「北稜岳町民登山会」、北稜岳はナキウサギ・オシロコマ等が生息する自然豊かな山です。頂上からは、東大雪の山々が一望できます。  
 ・10月下旬「日産カップ陸別歩くスキーの集い」、日



# 町の取り組み

陸別町では第5期陸別町総合計画で「空・森・土と共に町民の絆をつくる」をおいあふれるきらり☆ひかる町「陸別町」を町の将来像として掲げ、その実現に向けたまちづくりを進めてきました。しかし、本町では、出生率の低下や進学・就職等を契機とした若い世代の町外転出等を背景に、人口減少、少子高齢化が進行しています。

将来にわたって本町が存続し続けるためには、避けることのできない人口減少を受け入れつつも、その抑制に取り組むことが重要です。次代を担う子どもたちが「ずっと住み続けたい」、進学や就職で一度は町外に転出した若い世代が「いつかは帰りたい」、町外の方

が、「一度は行ってみたい、訪れてみたい」と思えるような魅力を感じるまちづくりを、町民と行政が一丸となつて進めていく必要があります。第6期総合計画（令和2年度～11年度）では「人と自然が響きあう 日本一寒い町 りくべつ」と将来像を設定しました。新たな将来像の実現に向け「1. 自然と溶け合う豊かな地域産業のまち」、「2. 支え合

いで心と身体の幸せをつくるまち」、「3. 快適に暮らせる心地よい生活環境のまち」、「4. 豊かな心を育む学びと人づくりのまち」、「5. ふれあいと交流で創るあたたかなまち」の5つの基本目標を設定し、新たなまちづくりの基本目標として定めています。

陸別町では第5期陸別町総合計画で「空・森・土と共に町民の絆をつくる」をおいあふれるきらり☆ひかる町「陸別町」を町の将来像として掲げ、その実現に向けたまちづくりを進めてきました。しかし、本町では、出生率の低下や進学・就職等を契機とした若い世代の町外転出等を背景に、人口減少、少子高齢化が進行しています。

## 陸別友好町民の会

陸別のファンクラブである「陸別友好町民の会（愛称・大好きりくべつ）」は、陸別町と陸別町を応援してくださる皆様の交流をお手伝いし、交流の輪を育てていくため、平成10年に発足しました。現在までに累計会員数は2300人を超え、毎年多くの方に新規入会をしていただいています。会費は年間1000円で、入会すると会員カード・オリジナルグッズ・情報誌等が届きます。特典として「銀河の森コテージ村使用料3000円割引、銀河の森天文台入館料無料、関寛齋資料館入館料無料、日産レンタカー特別割引（女満別・北見・帯広・釧路・各営業所）」とさまざまな割引でお得に陸別を楽しめます。

## ふるさと納税（寄附）

陸別町へいただいた寄附金は、まちづくり全般・福祉の推進・産業の保護・町有林の整備・町民スポーツの振興・ふるさと銀河線跡地の活用・給食センターの管理運営と大切に活用させていただきます。

お礼の品では、美味しい乳製品や牛肉・鹿肉・ソーセージ、旅館で人気の混ぜご飯の素や山間地域ならではの山の幸、地域の資源を活かした加工品などいさなまちですがたくさんのお礼の品があります。毎年たくさんの方からふるさと納税を通じて陸別町と関わっていただき、陸別町を応援してくださることを深く実感し、心から嬉しく思い大変感謝しています。

陸別町を日本中のかたに知っていただくために、担当一同励んでいく所存です。お問い合わせは、陸別町役場総務課企画財政室



↑おあつけプリン  
↑鹿シシギスカン  
りくべつ ↓低温殺菌牛乳  
↑びすちやのジュ  
↑えかボス

# 「星空と緑、日本一寒い町 陸別町」

## 観光ス・ポット

### ○銀河の森天文台



広場があります。また、2階総合観測室には、名古屋大学宇宙地球環境研究所の「陸別観測所」と国立環境研究所の「陸別成層圏総合観測室」が併設されており、主に成層圏・対流圏の気象やオーロラ等の研究をおこなっております。

開館時間 4月～9月  
14:00～22:30、10月～3月 13:00～21:30 入館料 昼間・大人300円、小人200円 夜間・大人500円、小人300円 年間パスポート・大人1000円、小人600円です。

陸別町は、環境庁(現・環境省)より昭和62年度に「星空の街」に認定され、平成9年度には「星空にやさしい街10選」に認定されました。

この自然環境豊かな特性を活かし、星空を通して、自然に親しんでもらうよう「りくべつ宇宙地

※休館日は毎週月・火曜日、12月30日、翌年1月5日の年末年始は休館です。



しており、国道沿いには2019年4月に放映開始した連続テレビ小説「なつぞら」で使用された赤い屋根のサイロがあります。道の駅の近くにはポケモンマインホールもあるので是非見つけてみてください。

### ○ふるさと銀河線 りくべつ鉄道

2006年4月21日、明治43年国鉄網走本線開通(池田陸別間)から95年間走り続けてきた「ふるさと銀河線」が廃止されました。その2年後の2008年4月20日、今度は観光鉄

で体験できる「Lコース」2000円、北見方面へ1.6km構外運転ができる「銀河コース」3000円、北見方面へ2.8km構外運転ができる「新銀河コース」3500円、そして令和3年(2021年)4月30日より始まりました「分線コース」(6000円)では運転体験国内最長である7kmを運転することができ

### ○関寛齋資料館

陸別町開拓の父、関寛齋(せきかんさい)は、文政13年(1830年)、上総国山辺郡中村(千葉県東金市)に生まれました。西洋医学を学び徳島藩の侍医や戊辰戦争で奥羽出張病院頭取として活躍したのち、徳島で開業し地域医療に尽くしました。そんな寛齋が北海道の開拓を志し、十勝国

### ○その他の観光スポット

トマム地区はたくさん

球科学館(愛称:銀河の森天文台)は建設され、平成10年7月7日にオープンしました。当天文台は一般公開型天文台としては日本最大級の115cm反射望遠鏡(愛称:りくべつ)をはじめ、30cmクラスの小型望遠鏡4基、15cm大型双眼鏡、4連太陽望遠鏡等を備える公開天文台です。1階展示室には、銀河の森、オーロラ、南極、宇宙のパネル展示、宇宙についての体験学習ができるコンピュータや70インチモニタ、プラネタリウム、人工オーロラ発生装置、陸別しばれ模型、南極ライブモニター等、があります。2階には大型望遠鏡望望室(ドーム)、屋上には小型望遠鏡観測室(スライディングルーフ)や、大勢の方が星空を楽しめる屋上

○道の駅「オーロラタウン93りくべつ」  
道と鉄道の交流点が道の駅「オーロラタウン93りくべつ」として誕生しました。国道242号沿いにあり、旧ふるさと銀河線の駅と道の駅を兼ねた道と鉄道の駅でした。



現在 道の駅として「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」に生まれ変わりました。陸別駅構内では、銀河線で活躍した列車を10分程度2往復する「乗車体験」や実際に運転できる「運転体験」、足こぎ式の「トロッコ」で駅構内のコース400m程乗ることもできます。気動車運転体験では、駅構内を15分程度運転できる「Sコース」2000円、簡易な講習が必要ですが出区前点検・ポイント切替等もご自身



斗満(とかちのくにとまむ)をいろいろな景色とともにの地に入植したのは、明治35年(1902年)のことです。72歳の高齢になってからでした。関寛齋資料館では、寛齋の生涯と、その時代背景を詳細に展示しています。

### ○町のキャラクター紹介

・まちのゆるキャラ「しばれ君・つらちゃん」

「しばれ君」はロシアのアムール川から流水に乗ってやってきた男の子です。防寒着に身をかため、防寒靴を履き、大きな寒暖時計を持った少年がイメージです。しばれに絶対欠かせない寒暖計は真冬のマイナス35℃に設定しています。しばれフェスティバルのシンボルマークとして第2回のしばれフェスティバルから登場しました。「つらちゃん」はカナダから地球温暖化の危機に警鐘を鳴らすためにやってきた妖精で2人は恋人同士です。町のイベントのお手伝いやPR活動で活躍しています。



# 浦幌町とは

## 概要

十勝総合振興局管内の最東端にあります。地形はゆるやかな丘陵地と河岸段丘からなり、東は丘陵山脈、南は太平洋に面した南北に長い町で、山林が7割を占める行政面積は全国市町村で91番目の729.85km<sup>2</sup>です。

町の中央部を延長90・2kmの浦幌川が流れ、十勝静内川・浦幌十勝川と合流し、地味良好な耕地をつくって太平洋に注いでいる自然豊かなまちです。



## 町名の由来

浦幌町とは、アイヌ語の「オーラポロ」が転訛して浦幌となり、「オー」は川尻。「ラ」は草の葉。「ポロ」は大きいという意味で、「川尻に大きな葉が生育するところ」といわれています。

## 産業

浦幌町は、十勝の中心である帯広市から東方向へ車で約60分に位置する農業や漁業を中心とした第一次産業の町です。冷涼で、日射量(4・41結時毎平方メートル・日)は、全国でもトップクラスです。十勝晴れとも呼ばれる晴天が多い気候のもと、畑作や畜産、漁業が営まれており、「十勝ブランド」とも称される優れた農産物や漁獲物を産んでいます。

## イベント

【ふるさとのみり祭り】毎年9月の第4日曜日「うらほろふるさとのみり祭り」を開催しています。うらほろふるさとのみり祭りは、3万人以上が来場する秋の五穀豊穡を祝うイベントです。見どころは、日本最大級のダイナミックな餅まき。他にも、秋鮭のつかみどりや人気歌手・お笑い芸人のステージショーなど催しがいっぱい一日中楽しめます。

また、会場内では、農林水産業が揃う浦幌町ならではのうらほろ和牛・秋鮭・新鮮野菜などが販売されており、浦幌町の味覚を満喫できます。今年が残念ながら中止となりましたが、来年は第46回として盛大に開催いたしますので、ご家族、ご友人

お誘いあわせの上、浦幌町へお越しください。

ふるさとのみり祭り



# 町の取り組み

## 「十勝うらほろ創生キャンペーン」

令和2年度からスタートした事業で「みんなでワクワクしながら 新しい地方創生モデルで 持続可能な地域をつくる」を目標としています。



## 「うらほろスタイル」

「うらほろスタイル」とは、浦幌町が官民協働で立ち上げた「教育プログラム」とも呼べるもので、2007(平成19)年にスタートしました。

地域に住む大人が、過去から受け継いだ地域を未来(次世代「子どもたち」)へ引き継ぎ、「持続可能な地域」を作ることを目指して活動をしています。

主な事業として福業ボランティアで関わりを持つ町内・町外の社会人とのコラボレーションで地域課題を解決できるゼロイチを創出する「ワークキャンプ事業」。都会の企業人との関わりで田舎の価値・魅力のパワーアップさせていきます。

子ども達は町内魅力発見バスツアー、民泊体験など、我が町の資源を体感しながら愛着を育みます。



## ふるさと納税

浦幌町では、未来を担う子どもたちの健全育成や、次世代に引き継ぐべき地域資源の保全・活用などを図るために寄附金を募り、個性あるふるさとづくりに役立てることを目的としています。

次の事業を推進する資金として活用してまいります。

- ① 幌町第4期まちづくり計画重点プロジェクトに関する事業
  - ② うらほろスタイルに関する事業
  - ③ 観光振興に関する事業
  - ④ 町長が目的達成のために資すると認める事業
- 特段のご希望がなければ、町政全般に活用いたします。浦幌町のふるさとづくりに共感していただける皆様からの応援をお待ちしております。
- ふるさと納税ポータルサイト「楽天ふるさと納税」「ふるさとチョイス」に設置した申込フォームからお申込みいただけます。また、お電話にて口頭でもお申込みいただけます。

担当：浦幌町役場まちづくり政策課ふるさと寄附担当  
電話：015・576・2221

# 観光スポット

○【昆布刈石展望台】



昆布刈石展望台は国道336号線の終点である浦幌町十勝太から海岸線に向かう砂利道を進んだ

○【十勝オコッペ遺跡】

浦幌町字昆布刈石に所在する擦文集落跡です。太平

○【オタフンベチャシ跡】  
浦幌町字直別に所在するアイヌ期の遺跡です。「オ

タ・フンベ」とはアイヌ語で砂・クジラの意味です。「チャシ」はアイヌ語で柵・柵囲い・砦を意味しています。

十勝と釧路の支庁界近く、白糠丘陵が細長く馬の背状に伸びる太平洋沿岸の半独立丘陵上にある、お供山型の典型的なチャシ跡です。チャシの存在は古い記録などにも見られ、昔、厚岸アイヌが夜中に砂で鯨の形を作り、その陰に兵を伏せさせ、夜明けに白糠アイヌ軍が近寄ったところを不意打ちしたという伝承が言い伝えられています。

○【うらほろ森林公園】  
国道38号線沿いに広がるうらほろ森林公園は、総面積120haの広大な自然あふれる冒険王国です。オートキャンプ場、パークゴルフ場、フィールドアスレチック、遊歩道などがあり、子どもから大人まで、一日遊んでも遊びきれないほどです。豊かな緑に包まれた夢とロマンいっぱい公園です。

で冬期間により閉鎖しています。

○【うらほろ留真温泉】

道内トップクラスのPH10・0という高いアルカリ性の泉質を持ち、美肌によく、良質な温泉として評判です。

○【道の駅うらほろ】

浦幌産の特産品や採れた野菜、道の駅うらほろ限定「うらほろ大福」「濃厚シュークリーム」・「きなこソフトクリーム」などたくさん美味しメニューを取り揃えています。

○【豊北原生花園】

太平洋沿岸の砂浜に広がる自然の花畑です。6月から9月にかけて、「町の花」であるハマナスや、ユケモモやガンコウランなどの高山植物、ノハナシヨウブや

「カー」が必要ですのでご注意ください。



○【デジタル森林浴】

「フォレストデジタル」が、北海道浦幌町の施設「Urakaa park urahoro」(うららパーク浦幌)にオープンした森林浴空間。5面の大型マルチスクリーンに、北海道十勝の森林や屋久島の天然杉などを映し出し、森の風や木々が揺れる音をスピーカーから流しま

場所(位置する浦幌町のビュースポットです。標高約90mの崖の上から太平洋を望むことが出来る絶景はスリル満点。晴れた日には襟裳岬も望むことができます。



洋に臨む標高20m〜30mの段丘上にあり、東西180m、南北200mの範囲に20基の竪穴が分布しています。

○【十勝太遺跡群】  
浦幌町十勝太にある遺跡の総称をいいます。総数500基以上の住居跡からなり、うち十勝太河岸段丘遺跡に約240基とほぼ半数を占め、そのほとんどは擦文時代のもので推定されます。

○【ふるさとみのり館】  
うらほろ森林公園内にあります。浦幌町の観光レジャーの拠点で、野外パーティーに便利なテラスを完備しています。バーベキューハウスも隣接されています。

○【うらほろ森林公園】

11月1日から4月28日まで冬期間により閉鎖しています。

○【うらほろ森林公園】

11月1日から4月28日まで冬期間により閉鎖しています。



うららパーク浦幌にオープンした森林浴施設

北海道倶楽部のあゆみ	
昭和 2 年	「北海道倶楽部」の創設（新渡戸稲造などが会員として結成）
昭和 23 年	戦後、新生「北海道倶楽部」の設立総会。会報「北海道倶楽部」を創刊
昭和 37 年	北海道人交歓パーティー開催参加者400人（現在の交流イベント「WeLove Hokkaido」）
昭和 41 年	社団法人北海道倶楽部正式認可
昭和 42 年	北海道倶楽部所有の不動産を処分し北海道開発庁の職員寮寄付 開道 100 年と冬季札幌オリンピックにあたり北海道に国際空港を設置運動
昭和 43 年	北海道倶楽部特別基金募集、北海道東京事務所 4 階増築整備および開道 100 年記念事業の費用拠出
昭和 44 年	北海道勤労青少年センターが発足
昭和 46 年	旭川国立医科大学の誘致運動展開、真駒内屋外スケート場前に札幌オリンピック・モニュメントを建設、寄贈（雪華の像 本郷新制作）
昭和 47 年	第 1 回北海道産業視察ツアーで道内政財界人と交流（平成元年まで 1 4 回実施）
昭和 52 年	有珠山被害義捐金街頭募金 543 万円
平成 2 年	北海道開発庁より 4 0 周年で開発功労表彰
平成 7 年	「北海道開発に関する提言 11 項目」堀北海道知事へ提出
平成 8 年	「北海道・ゆめプラン」提言募集倶楽部は東京事務局として論文募集を担当
平成 9 年	ふるさと活性化フォーラム開催 北海道自然体験学校」開催倶楽部は東京事務局として参加者募集を担当
平成 10 年	創立 50 周年。シンポジウム「北海道を考える」経団連会館で開催
平成 11 年	北海道の自立をめざす提言書「いま、北を考える」を道知事、北海道開発庁長官に提出
平成 12 年	有珠山被害義捐金を募金
平成 14 年	「北海道倶楽部を語る会」を立上げ、倶楽部活性化策などにつき検討
平成 15 年	台風 1 0 号による日高被災者支援募金
平成 20 年	創立 60 周年を記念してロゴマーク制作。ふるさと北海道応援大使、大使館活動開始。ふるさと納税キャンペーン開始公益事業の強化。「ふるさと納税キャンペーン」ギフト制度開始。「北海道情報ラック」開始
平成 21 年	秋葉原で情報展示イベント。広報紙「北海道 Now」増刊号刊行 北海道で提案募集コンテスト開始「北海道のためにわれわれはなにをすべきか」
平成 22 年	北方領土返還推進ブラウンリボンバッジ・早期実現新幹線バッジ頒布開始 北方領土返還ノサップ岬マラソン大会協力開始 代々木北海道フェアに出展開始、情報展示、北方領土返還運動署名
平成 23 年	C D「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」頒布開始。1972 年札幌五輪「雪華の像」（本郷新）補修
平成 24 年	ふるさと納税寄附者に感謝状贈呈（交流イベント時）
平成 25 年	新事務所完成・移転。北方領土返還「千島桜」シンボルバッジ 配布開始
平成 26 年	公益社団法人移行、寄附のお願いはじめる（寄附税制適用）
平成 27 年	ふるさと納税制度開始から行っていたギフト制度を役割満了のため終了
平成 28 年	「北海道 NOW」に「北海道自治体の紹介」と「information」を追加
平成 29 年	寄附金の「税額控除に係る証明書」を内閣総理大臣より交付される
平成 30 年	創立 70 周年
令和元年	倶楽部が支援していた夕張市の市長が北海道の知事に就任し、「挑戦の大地・北海道」（鈴木直道北海道知事）と題して講演した。
令和 2~3 年	新型コロナウイルスの影響で、対面のキャンペーン集会、交流イベントが中止となり、WEB 講演会を開催するなど公益事業に多大な影響が出た。

## ○北海道倶楽部の事業概要

当倶楽部は、昭和 2 年新渡戸稲造ら北海道に縁を持つ首都圏在住者を中心に北海道の開発と発展を目的として東京に設立された任意団体「北海道倶楽部」から始まり、昭和 41 年に社団法人化し、平成 26 年 1 月 6 日に、公益社団法人に移行しました。

北方領土返還、ふるさと納税等寄附の推進及び北海道新幹線早期実現の 3 大運動を柱とし、北海道及び北海道内の市町村（関係の団体を含む。以下「北海道等」という。）の健全な発展を目的として下記のような公益事業を行っています。

### 公益目的事業

北海道及び北海道内の市町村など（地域社会）の健全な発展を目的とする事業

#### （1）北海道等のための広報活動

・広報誌「北海道 NOW」の発行、「北海道の市と町と村をご紹介」の発行。北海道情報ラックの設置、ホームページなどによる広報活動を行っています。

#### （2）北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動

・北海道等からの要望を取りまとめ、倶楽部が実施しているキャンペーン集会等の場で市町村等の地域活性化に資する事業を支援しています。  
・倶楽部の広報誌「北海道 NOW」でも関連する記事を掲載し、地域活性化に資する広報事業を行っています。

#### （3）北方領土返還運動

・北方領土隣接地域振興対策協議会への支援、北方領土返還の各種イベントへの協力を行っています。  
・シンボルバッジ「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」  
「CD ちぎれ千島に雲が飛ぶ」等の頒布を行っています。

・キャンペーン集会の開催を行っています。

#### （4）北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動

・ふるさと納税、寄附等推進のために広報誌及びイベントなどを通しての広報活動を行っています。

#### （5）北海道新幹線早期実現運動

・「早期実現『新幹線』バッジ」の頒布を行っています。  
・キャンペーン集会の開催を行っています。

#### （6）講演会の開催

・当倶楽部の目的と深い関係のあるテーマの講演会等を一般を対象に無料で行っています。



入会希望の方は定款（HPにあります）をご了承の上、  
下記申込書をA4にコピーし、ご記入の上郵送下さい。

**入会案内のページ**

上記ページを参照し、ホームページ上からも、各申込書のダウンロード及び入力送信が出来ます。(QRコードを読みとるかクリックも可)

正会員の入会申込後、直近の理事会での入会承認後、入会のご連絡と入会金（5千円）年会費（15千円）納入のお願いを差し上げます。

## 正会員

公益社団法人北海道倶楽部

入会申込書 登録事項変更申込書

申込年月日	西暦	年	月	日	印
ふりがな					
氏名					
生年月日 ○大 ○昭 ○平 年 月 日					
新規登録、変更は下記に記入／会員抹消は氏名のみ記入					
連絡先は <input type="checkbox"/> 勤務先・ <input type="checkbox"/> 自宅とします。 会報、郵送物の送付先を指定。(左記 <input type="checkbox"/> にチェック)					
勤務先	会社名(ふりがな)				
	役職名				
	住所 〒( )				
	電話	-	-	FAX	-
業種					
連絡用mail @					
自宅 <small>はチェック 名簿非掲載希望</small>	住所 〒( )				
	電話	-	-	FAX	-
出身地	<input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 町 <input type="radio"/> 村	最終学校	北海道との関係		
関心分野	支援 <input type="checkbox"/> 総務 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> 北方領土返還 <input type="checkbox"/> 地域活性化・ふるさと納税 <input type="checkbox"/> 新幹線延伸				
	事業 <input type="checkbox"/> 新年交礼会 <input type="checkbox"/> 交流の夕べ <input type="checkbox"/> 北海道フェア <input type="checkbox"/> 交流イベント				
趣味 <input type="checkbox"/> ゴルフ <input type="checkbox"/> 囲碁 その他( )					
紹介会員 (1)			(2)		
事務局使用欄 会員ID					
理事会承認日		年	月	日	入力完了日
		年	月	日	

## 年間の公益事業・行事など

### 新年交礼会開催（1月）

北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン  
「千島桜」シンボルバッジキャンペーン  
「北海道新幹線早期実現」「新幹線バッジ」キャンペーン  
「ふるさと納税推進」キャンペーンなどの年初スタートを実施。

### 「北方領土返還要求全国大会」に参加（2月7日 北方領土の日）

### 「北方領土返還要求中央アピール行進」に参加（12月1日）

### 交流の夕べを開催（8月4日）

キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。

### 交流イベント「We Love Hokkaido」の開催（旧道産子の会、10月）

北海道関係者、北海道ファン、一般参加者300名、有料1万円  
キャンペーン、公益事業の広報、地域活性化イベントなどを実施。

### 講演会、シンポジウムを開催（無料、12月1日 WEBで開催）

当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般の参加歓迎（講演テーマ、行政との協調などにより公益性のあるものとし、一般参加を呼びかける。）

### 情報紙「北海道 "NOW"」の発行・配布

倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道 "NOW"」本紙・増刊号（年12回）を発行。一般配布（有料 月額80円）有り。

### 「北海道の市と町と村をご紹介（WEB版）」の発行・配布

本誌

### 北海道情報ラックに北海道情報を配布（毎月、無料）

### ホームページで倶楽部公益事業を広報（適時）

### その他

倶楽部内交流の同好会の活動に協力。(独立運営・会計、北星会(ゴルフ))

※青字記載の対面型の事業は新型コロナウイルスの影響のため2020～21年は中止となった。  
(新年交礼会:2020年は開催)



「摩周湖」(弟子屈町)